

佐賀県がん登録

平成25年度登録事業報告

—平成21年（2009年）統計—

平成26年3月

佐賀県健康福祉本部健康増進課

公益財団法人佐賀県総合保健協会

佐賀県がん登録 平成25年度登録事業報告 一平成21年（2009年）統計一

本報告書における留意事項	2
第Ⅰ章 登録方法と資料	
佐賀県地域がん登録事業の概要	4
用語の定義・解説	6
人口統計と死亡	8
悪性新生物の分類と病期分類	9
罹患数の集計方法と登録精度指標	13
罹患数の動向	16
第Ⅱ章 統計編	
II-1 最新がん統計	
罹患の概要	18
年齢別に見たがんの罹患	19
佐賀県におけるがんの罹患の特徴	24
発見経緯	25
病期	26
初回治療の方法	27
死亡の概要	28
年齢別に見たがんの死亡	29
佐賀県のがんの死亡の特徴	33
II-2 年次推移	
罹患率と死亡率の年次推移（年齢調整率）	36
第Ⅲ章 集計表（標準集計表1-A～付表5-B）	
標準集計表掲載一覧	40
標準集計表1-A～付表5-B	41
第Ⅳ章 事業報告	
佐賀県の二次医療圏とがん診療連携拠点病院	74
年次別各種登録（票）情報の受領・収集状況	75
医療機関種別・所在地別自主届出件数（2009-2013年）	76
医療機関所在地区別・年別自主届出状況（2009-2013年）	78
二次医療圏別自主届出件数（2013年）	80
死亡小票処理件数（2009年死亡）	81
第Ⅴ章 佐賀県地域がん登録	
佐賀県生活習慣病情報解析事業（がん登録特別強化事業）実施要領	84
別紙2「第11条関係（情報セキュリティ対策）」情報セキュリティ対策特記事項	86
佐賀県成人病情報調査解析事業（がん登録事業）の業務処理及び資料の利用に関する規程	88
佐賀県がん対策等推進協議会がん登録評価部会運営要領	96
佐賀県地域がん登録室における個人情報取扱に関する要綱・規程等	98
佐賀県悪性悪性新生物患者届出票	102
佐賀県悪性悪性新生物患者届出票送付用専用封筒	103

本報告書における留意事項

佐賀県における地域がん登録の歴史は、1978年に「佐賀県悪性新生物調査」に始まり、その後は老人保健法制定に伴い 1984 年に「佐賀県がん登録事業」へ移行した。佐賀県は、佐賀県医師会と国立佐賀病院・佐賀医科大学（現、佐賀大学医学部、）、佐賀県総合保健協会また県内の医療機関や全保健所、他県地域がん登録の御協力を得て、がん登録の精度向上に向けたがん罹患情報収集に取り組み、その間、厚生省がん研究助成金による地域がん登録研究班に分担・協力研究者として参加し、罹患データ等の提出及びデータを利用した疫学的研究も実施してきた。集積されたデータを解析するために、これまでに以下の様な登録システム・プログラムの開発を行ってきた。

1989年：「成人病情報調査解析事業」として、佐賀医科大学疫学研究者の指導のもと、佐賀県が大型電算機によるデータ解析システムを開始。1990年度には県に依って、がん死亡・罹患、がん検診状況、生存率・治療成績などを解析した「佐賀県がん白書」を編集し発行。以後、「佐賀県のがんの実態」なども発行した。

1992年：登録室移転（佐賀県総合保健協会へ）に伴い、新たに登録室内用のシステム開発に着手。品質管理プログラムも実装した。解析、集計等は県庁内の大型電算システムを併用利用。

1995年：登録室移転（佐賀医科大学へ）の為、パーソナルコンピュータ 1 台で検索・集計・一般統計・生存率・罹患率などの作業ができるシステムを開発。これにより、「佐賀県がん登録統計年報」作成が可能となり、毎年度発行し、届出協力医療機を含めた関係機関への送付を始めた。疾病分類コードの変更、県内届出協力医師の要望等に対応し、届出票の改訂とシステムの改修を少しずつ行い、現在の旧データベース（DBS）に至る。

しかし、1995年から県内市町の合併が始まり、がん登録における原発部位の利用コード等の変更もあり、システムの更なる改修が急務となった。そんな中、厚生労働省第3次対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究」班において、日本における地域がん登録の標準化を図るために取り組みが本格的に始まり、届出票や登録項目、登録手順・集計方式等の標準様式が提唱され、併せてがん登録の専門家の意見を基に標準登録システムも開発された。日本の地域がん登録は各都道府県が各自の目的に応じて県独自の体制・項目・方式などにより実施されてきた経緯があり、また登録精度の格差が大きかった。一部の精度が良い府県を除いては、全国や他県との比較が困難であったが、研究班では、日本におけるがん罹患を把握し、登録データの比較可能となる様に標準化の推進をしている。

そこで、佐賀県では標準システム開発当初から導入を検討していたが、2011年になり導入申請し、同年7月から運用を開始した。佐賀県では旧 DBS のデータ約 16 万件を標準 DBS へ事前移行せずに導入を開始したため、旧 DBS を併用し登録と年報作成を行い、旧データの移行を実施しているところである。

旧 DBS と標準 DBS の大きな違いは、旧 DBS が「がん患者」の診断時から一連の診療・経過を収集し、登録・集計を行うのに対し、標準登録方式では、「届出票提出機関」における初回診療をベースに登録し、集約・マスター化がされる。届出提出機関での診療情報をベースとした場合、がん患者が初回治療のため受診した全ての医療機関からの届出が無ければ、当然診療情報が抜け落ちてくることになる。

現在、旧 DBS のデータ移行中であり、本報告書における 2009 年症例・集計は、その移行期にあたるもので、集約・集計方法が異なることによる統計値の解釈に注意が必要である。また、罹患数の増加については、「がん対策基本法」や、診療連携拠点病院の整備に伴う院内がん登録の推進などが要因として考えられる。実際の増加と捉えるより、精度向上による見かけ上の増加とも言える。過去の登録との比較（推移）において、「真の増加」かどうかの判断には、十分に慎重を期さねばならない。今後、届出協力機関の増加に向けた、佐賀県の取組みも重要課題である。



第Ⅰ章　登録方法と資料

佐賀県地域がん登録事業の概要

1. 目的

佐賀県ではがんによる死亡が 1978 年から県内の死亡原因の第 1 位であり、死亡率では 1970 年代に日本国内でワースト 1 となり、現在まで国内高位にあるという誠に憂慮すべき状況が続いている。

この現状を鑑み、本県におけるがんの実態を把握するために、佐賀県全域をカバーするがん患者の登録を行い、蓄積した科学的データを基に、「がん死半減対策」のための資料として活用する。

2. 登録事業の体制と経緯

[図 A]

1) 現体制

事業主管：佐賀県健康福祉本部健康増進課

中央登録室設置：（公財）佐賀県総合保健協会

2) がん登録の経緯・変遷

1973 年度：佐賀県が「悪性新生物実態調査」開始し、中央登録室を県保健環境部に設置。又、「地域がん登録研究」班に分担研究者・協力研究者として参加。

1981 年度：佐賀医科大学にて、がん登録（業務全般）を開始。県内外公的医療機関にてカルテ採録を実施。地域がん登録研究班へ罹患データ提出、疫学的研究論文を研究会・学会等で発表。

1984 年度：「がん登録事業」へ移行。県医師会・佐医大の協力を仰ぎ、がん登録精度向上を推進。

1989 年度：「成人病情報調査解析事業」として、コンピュータによるデータ解析に取り組む。

1992 年度：佐賀医大担当研究者の異動に伴い、佐賀県総合保健協会に事業委託し登録室を移転。以後、事業委託変更・登録室移転を数回実施。

2001 年度：がん登録事業が『佐賀県個人情報保護審査会』（倫理審査）にて審査・承認される。

2003 年度：事業委託を保健協会へ全面委託。

2005 年度：「がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究」班に参加、罹患データ提出継続中。

2011 年度：標準データベースシステム（DBS）を導入。旧 DBS データ移行中にて現在も併用稼動。

3. 登録（届出票提出）の対象と方法

1) 届出対象：佐賀県内の居住者※で、悪性・上皮内・良性・性状不詳の新生物罹患全患者を、外来・入院に関わらず届出対象とする。

※県外居住者の受診もあれば届出とする。

2) 主な収集項目：「個人識別項目」（漢字姓名・生年月日・性別・住所）、「腫瘍情報」（診断日・部位・病理組織型・病期）、「治療情報」（治療方法・転帰・死亡日）等である。

3) 届出時期：入院患者＝退院時又は転院時、死亡情報判明時。外来患者＝診断時又は転院時。

4) 届出方法：所定の届出様式により専用返信用封筒にて、記録扱い等郵便で保健協会へ提出。

5) 死亡情報：県内保健所は、移送分を含む全ての「人口動態調査死亡小票」※を一月毎に複写し、県健康増進課を通じて保健協会へ提供する。

※厚生労働省へ『目的外使用申請』し承認済み。

6) 収集情報処理：保健協会では、収集した届出票・死亡小票（写し）の記載内容を確認・データ化し、登録 DBS へ入力・整理し、登録する。

7) 遷り調査：集約・登録データのうち、死亡票のみで把握されている腫瘍を抽出し（限り調査対象者）、死亡診断書作成医療機関に届出票と同様式に依る罹患情報の届出を依頼、結果を登録する。

8) 出張採録：必要に応じて県内（外）の公的医療機関へ出向き、入院台帳・病理台帳等を閲覧し、症例調査・採録を実施する。近年は、休止中。

4. 集計・解析及び報告

1) 届出集計：保健協会にて医療機関自主届出件数を毎月及び年間集計し、健康増進課へ報告。

2) 事業報告書：保健協会にて作成、県へ報告。届出協力機関・関係団体等へ配布し情報還元。

5. 情報の提供

1) 集計結果：健康増進課は、集計・解析結果を、県ホームページ等により公表し配信。

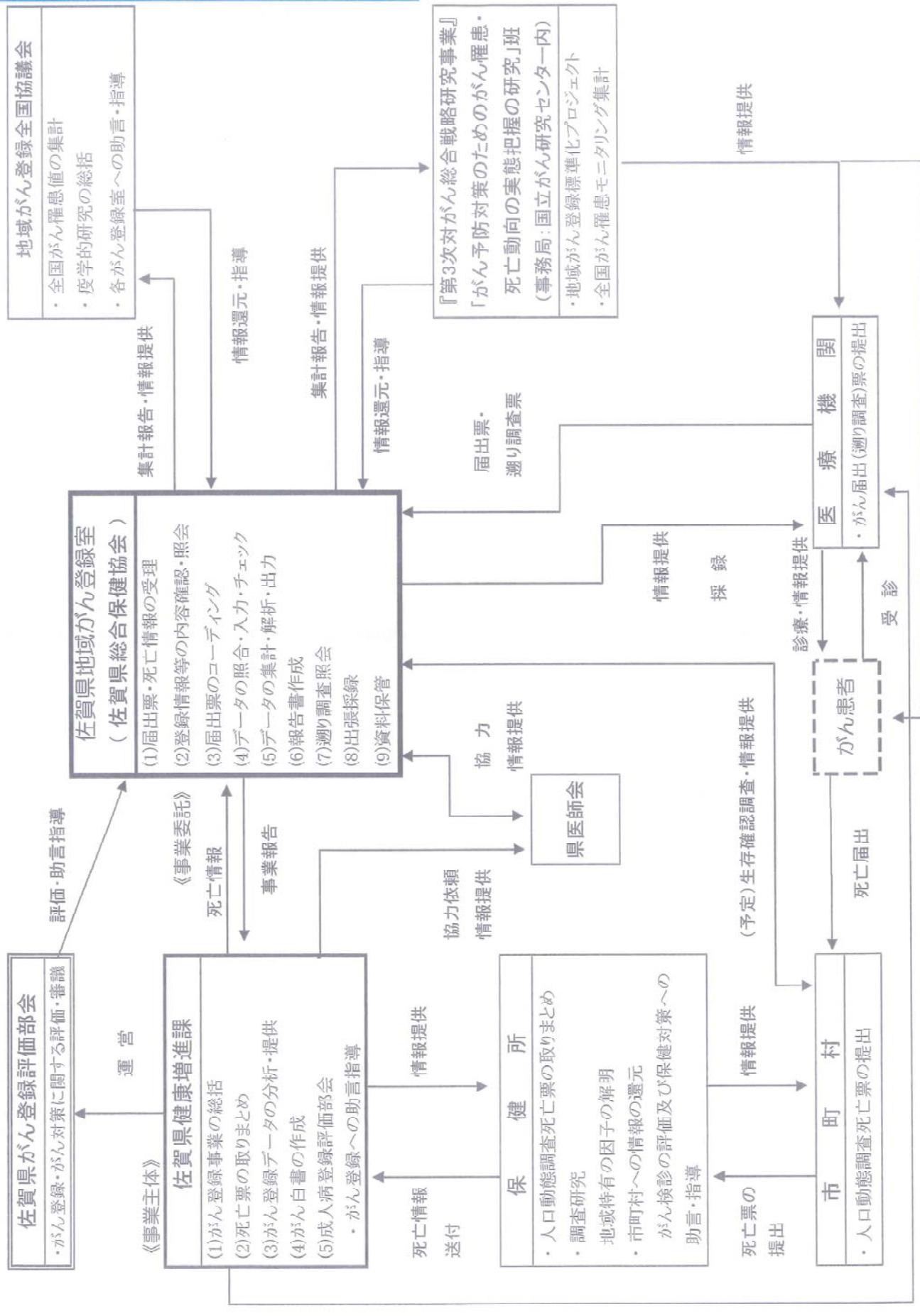
2) データ利用：登録データを利用・提供を希望する場合は、所定の「申請書」に記入し、健康増進課へ提出。同課で審査し、承認後に保健協会からデータを提供する。

6. 各種問い合わせ・照会

・統計情報：佐賀県健増進課 がん対策推進担当
TEL : 0952-25-7074

・登録全般：佐賀県総合保健協会 がん登録担当
TEL : 0952-25-2320

図4 佐賀県地域がん登録事業体系



用語の定義・解説

1. がん登録

がん登録とは、がん対策を実施するために必須となる正確ながんの実態把握の中心的な役割を果たすものであり、「目的」・「対象とするがん患者の範囲」・「収集する情報」が異なる以下3種類のがん登録がある。

◆地域がん登録（県単位）

特定の地域に居住する住民に発生した全てのがんを把握対象とし、がんの罹患率と地域レベルの生存率を計測する仕組みのこと。

目的：地域のがん実態把握（罹患率・生存率等の計測、受療状況の把握）

実施主体：都道府県

登録対象：対象地域の全がん罹患症例

◆院内がん登録（施設単位）

当該施設でがんと診断・治療を受けた全患者を把握対象とし、患者毎にがんの診療（診断・治療・予後等）情報を登録して、がん診療の質の向上、がん患者の支援を目指す仕組みのこと。

目的：医療施設の対がん医療活動評価、患者のフォロー

実施主体：医療機関

登録対象：当該施設で診断・治療の全がん患者

◆臓器別がん登録（臓器単位）

臓器別学会・研究会が中心となり、当該学会・研究会所属医師が在籍する比較的大規模病院から学会・研究会の中央事務局にデータを提出・集約し、全国規模の登録を実施する仕組みのこと。

目的：全国のがんの詳細情報を収集し、適切な治療指針の確立・進行度分類の在り方等を検討

実施主体：学会・研究会

登録対象：全国臓器別がん登録協力医療施設で治療を受けた患者

2. がん罹患数・がん死亡数

1) 罹患数

対象とする人口集団から、一定期間内（通常1年間）に新たにがんと診断された人数^{*1}のこと。地域がん登録では、がん患者数というより、原発性悪性腫瘍の数を数える^{*2}ものである。

※1. 再発は含まない。

2. 一人の患者が複数の原発悪性腫瘍に罹患した場合（多重がん）は、その各々のがん毎に独立して登録・集計する。〔1腫瘍1件〕

2) 死亡数

対象とする人口集団から、一定期間内（通常1年間）にがんが死因で亡くなられた人数^{*1}のこと。

3. がん罹患率・がん死亡率

がん罹患及びがん死亡は、共に“がん”という事象の発生率である。したがって、以下罹患率・死亡率等の計算方法は同じである。

1) 罹患率・死亡率（対人口10万人）

罹患（死亡）数を対象とする登録対象集団の観察人数（人口）で割ったものである。通常は1年間の10万人あたりの罹患数で表現される。罹患（死亡）率は、当該人口集団のX年におけるがん罹患・死亡のリスクを表し、人口規模が異なる地域・期間を考慮し、がんの問題の大きさを比較可能とする。

2) 観察人数（地域がん登録罹患率計算時）

罹患（死亡）率を計算する際の分母となる観察人数とは、罹患（死亡）数を実測した登録対象地域の人口であり、その地域の年中央人口^{*}を分母とする。

※1. 登録対象に外国人を含む場合=総人口

2. " 含まない場合=日本人人口

罹患率：通常は分子となる罹患数に在日外国人を含むので、総人口を用いる。

死亡率：日本人人口を用いる。

3) 粗罹患率・死亡率

全罹患（死亡）数をその期間（年）の全人口で除したものをいう。

※年齢構成の異なる地域・期間の比較に用いない。

・全年齢のがん罹患数÷全年齢の人口×10万

4) 年齢階級罹患率・死亡率

診断（死亡）時年齢がその年齢階級のがん罹患（死亡）数を、対応する年齢階級別人口で除して

計算。年齢区分は、通例 5 歳区分 18 階級(0-4, … 85+歳)とするのが多いが、集計目的に応じて区分を変更^{*1}。がんの多くの部位で、高齢者ほど罹患率が高くなり、がんの特徴を明らかにするためには、年齢別罹患率の計測が重要である。

※ 1. 小児がん罹患率計測：0 歳、1-4 歳、…
・年齢階級別のがん罹患者数÷その年齢階級の人口×10 万

5) 年齢調整罹患率・死亡率

人口の年齢構成が異なる集団で罹患（死亡）率を比較、又は同集団・地域内での罹患（死亡）率の動向・推移を観察するために、「基準（標準）とする人口」^{*1}と同じ年齢構成であれば、人口 10 万人あたりの罹患（死亡）数はこの程度になる」と人口年齢構成を調整し推測^{*2}した値。

※ 1. 基準人口に用いる人口 [図B]

- ①「1985 年日本人モデル人口」=国内比較利用
高齢者に重みがかかり、日本の現状をよりよく反映した数値が得られ国内比較時に用いる。
- ②「Doll らの世界人口」=国際比較利用
世界で最も高い頻度で用いられる。

2. 年齢調整罹患率・死亡率計算方法

- ①直接法=計算したい地域の人口構成が基準（標準）人口と同じであると仮定して算出す方法。
- ②間接法=基準（標準）人口集団での年齢階級別罹患率・死亡率を用いて計算する方法。

6) 累積罹患・死亡リスク

他の疾患で死亡しないと仮定した場合の、ある年齢区間（通常 0-74 歳）において、個人ががんに罹患（がんで死）するリスク。

7) 累積罹患率・死亡率

年齢階級別罹患（死亡）率に、その階級に含まれる年数を掛け、特定の年齢まで足し合わせたもので、個人が一定年齢内にがんに患う（がんで死）する危険度を表す「割合」であり、罹患（死亡）する確率である。通常「%」で表す。

4. 登録精度の指標

1) DCN (Death Certificate Notification)

罹患者中、死亡情報で初めて登録室が把握した患者のこと。死亡情報が登録された時点で届出

のない患者（DCN）については、生前の医療情報を遡及調査（遡り調査）することが推奨されている。DCN が存在することは、届出が漏れており、生存しているために登録室で把握されていない患者が存在することを示唆し、登録の完全性の指標^{*}となる。DCN が高いと登録の完全性が低い（届出漏れが多い）ことが推察される。

※国内精度基準の目標値=20%未満

2) DCO (Death Certificate Only)

罹患者中、死亡情報のみで登録された患者のこと。DCO が高い場合も登録漏れが多いとみなされる。しかし、遡及調査に力を注いだ場合、DCN が高くて、DCO を低くすることは可能なため、「DCO が低いこと=登録漏れが少ないと」の保証^{*}にはならない。

※国内精度基準の目標値=10%未満

国際水準精度値 =10%以下

3) I/M 比 (Incidence/Mortality 比)

一定期間におけるがん罹患者数とがん死者との比。通常、罹患・死亡共に同年の統計値が用いられる。I/M 比は生存率が低い場合、あるいは届出が不十分な場合に値が低くなり、生存率が高い場合、あるいは患者情報同定過程に問題があり 1 人の患者を重複登録している場合に高くなる。また、部位分布に著しい偏りがあることが推測される。現在の地域がん登録資料の全がん患者生存率より、登録の良好な場合には、I/M 比は高くなり、全部位で I/M 比=2 以上になると推測され、同比=1 に近くなると、登録漏れが多いことが示唆される。

※国内精度基準の目標値=2.0 以上

●「用語の定義・解説」に関する引用・参考文献

1. 参考文献

「地域がん登録の手引き」改訂第 5 版 2013 年版

特定非営利活動法人地域がん登録全国協議会 2013.

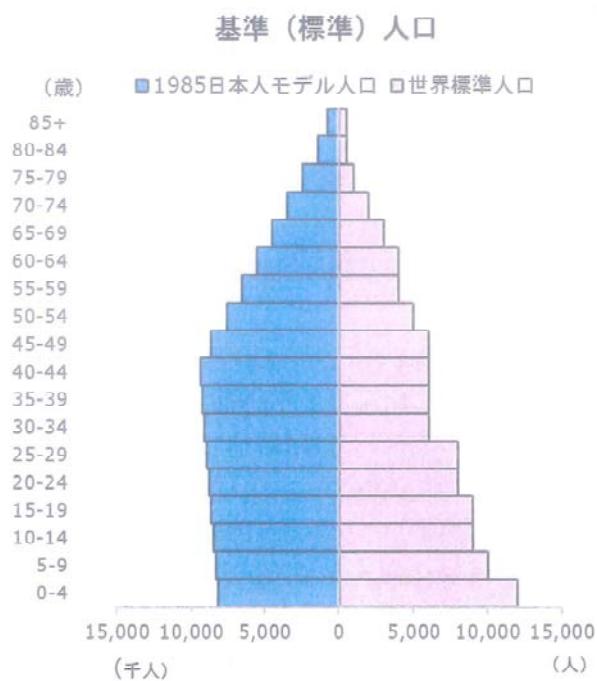
（参照：4 章 2 節）

2. 地域がん登録に関する WEB サイト

「特定非営利活動法人地域がん登録全国協議会」

<http://www.jacr.info/>

図B 基準（標準）人口（重み）



人口統計と死亡統計

1. 人口

[図C]

率の算出には国立がん研究センターがん対策情報センターが作成した都道府県別人口データの日本人人口を用いた。この人口データは、5年毎の国勢調査人口及び毎年の人口動態統計出生数を用いて、都道府県別・性別に同一出生コホートを内挿及び外挿して求めたものである。

なお、下記データ^{*1}より罹患率の計算には総人口を、死亡率の計算には日本人人口を用いた。

*1 地域がん登録研究班「地域がん登録集計用人口ファイル」

2. 死亡

死亡情報については、下記データ^{*2}を用いた。

なお、この死亡データは日本における日本人死亡である。

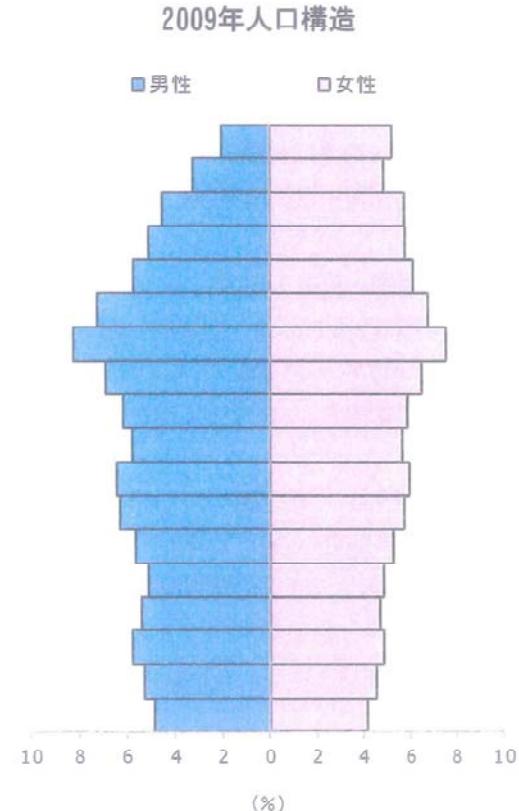
*2. 厚生労働科学研究補助金第3次対がん総合戦略研究事業

『がん罹患・死亡動向の実態調査把握に関する研究』

平成22年度個別報告書 都道府県別がん死亡追加集計(2007年)』

図C 佐賀県人口と構造(2009年:日本人人口)

年齢階級	男性	女性
0-4	19,592	18,693
5-9	21,409	20,420
10-14	23,354	21,874
15-19	21,780	21,135
20-24	20,568	21,814
25-29	22,763	23,673
30-34	25,317	25,864
35-39	25,897	26,838
40-44	23,308	25,538
45-49	24,861	26,481
50-54	27,771	29,329
55-59	33,091	34,087
60-64	29,158	30,551
65-69	23,123	27,701
70-74	20,458	26,116
75-79	18,198	26,039
80-84	13,065	21,974
85+	8,148	23,525
不明	0	0
合計	401,861	451,652



悪性新生物の分類と病期分類

1. 情報収集と集計対象

情報収集と集計対象・集計については、利用する登録システムにより異なるため、集計・統計年報を閲覧・比較等をする際は、注意が必要である。

◆1995年～2008年罹患統計（旧DBS処理）

情報収集：腫瘍の性状に関わらず、提出された届出票及び死亡票は、全てICD-10「第Ⅱ章 新生物」のC・Dコードで登録。

集計対象：

- ①原則、悪性新生物（Cコード）を集計対象とした。
- ②大腸がんにC21（肛門及び肛門管）を含めた。
- ③大腸がんのm癌については、悪性新生物として集計に含めた。
- ④上皮内がんについては、乳房と子宮の2部位に関して、「悪性新生物＝浸潤がん」・「上皮内がん」・「合計」を各々集計し掲載した。
- ⑤良性及び性状不詳については、集計に含めていない。
- ⑥死亡票のみで集計されるものは、記載欄に関係なく悪性新生物のものは、集計に含めた。

◆2009年罹患統計（標準DBS処理）

情報収集：悪性新生物・上皮内がん、及び頭蓋内の良性・性状不詳新生物を含む。

集計対象：

- ①原則、悪性新生物（ICD-10th:Cコード※）を集計対象とする。
- ※標準DBSでは、ICD-0-3T（部位）とICD-0-3M（病理形態）の組合せに基づき、IARC※¹の変換テーブルを利用して、原発部位をICD-10に変換。
- ②大腸癌にC21は含めない。
- ③大腸がんのm癌については、「上皮内がん＝性状コード/2」として対応。
- ④上皮内がんについては、全部位を集計対象とし、「上皮内がんを含む」として別集計。
- ⑤死亡票のみで集計されるものは、以下「統計ファイルセット1」として集計対象に含まれる。死亡票の
 - ・I欄に悪性新生物、又はその疑いの記載のあるもの、頭蓋内に良性腫瘍の記載のあるもの。
 - ・I欄に性状不詳の新生物の記載のうち、部

位が脳・肝・肺・肺・腎・膀胱であるもの。

- ・I欄以外に、悪性新生物の記載、頭蓋内腫瘍の記載のあるもの。

2. 部位区分と組織区分

罹患登録は、旧DBS（～2010年罹患・死亡登録）では部位区分はICD-10と、組織区分はICD-O（International Classification of disease for Oncology：国際疾病分類-腫瘍学）の形態分類を適用している。標準DBSでは、部位区分はICD-0-3Tを、組織区分はICD-0-3Mを各々適用している。今回、2009年罹患集計は標準DBSによる。

ICD-0-3の適用にあたり、日本独自に汎用されている組織診断名称に対応するために、「日本独自コード」がいくつか追加され、日本の地域がん登録及び院内がん登録ではそれを適用する。

3. 多重がんの判定基準

[表A・D]

多重がんとは、一人の患者に発生した複数の原発性悪性腫瘍のことをいう。地がん登録では、原発性悪性腫瘍を別々に登録し、各々を罹患数として計上する。罹患数は、患者数ではなく、原発性悪性腫瘍の数である。重複がんともいう。

そのために、共通の多重がんの判定基準が必要となる。2004年、IARC/IACRから多重がんの判定規則の改訂版が出され、我が国でもこのルールを、地域がん登録の標準方式に採用することが決まった。IARC/IACRの判定規則は、以下の規則からなる。

- 同一患者に複数件存在する届出票・死亡票を原発性悪性腫瘍単位にまとめる集約時における多重がんの判定規則
- 異なる集団（他地域の登録データ）における発がんリスクや予後を比較するための罹患・生存率集計時に適用される規則

1) 集約時における多重がんの判定規則（Recording rule）

- ①多重がんを判定する際、時間の関係は問わない。すなわち、同時性・異時性を考慮する必要はない。
但し、我が国の固有ルールとして、ルール7に示す例外を設ける。
- ②一方が他方の進展・再発・転移によるもので

はない。

③一つの臓器、あるいは組織に発生した腫瘍は、一腫瘍とみなす。多重がん判定の目的上、幾つかの部位群に関しては、単一部位とみなす。

[参照：表B]

多発がん（同一部位に発生し、明らかに連続性を欠く複数の腫瘍：膀胱がんなど）は、一つの腫瘍としてカウントする。

④以下の場合は、ルール3を適用しない。

④-1. 多くの異なる臓器を侵す可能性のある全身性（多中心性）がんでは、1個のみカウントする。カポジ肉腫や造血臓器の腫瘍がこれに該当する。

④-2. 組織型の異なる腫瘍は（たとえそれらが同一部位に同時に診断された場合でも）多重がんとみなさるべきである。

同一部位に発生した複数の腫瘍の組織型が【表C】の一つの組織型群に属する場合は、高い数字のICD-O-Mを用いて单一腫瘍として登録する。

複数の組織型群に属する場合は、たとえ同一部位であっても異なる組織型と考え、複数の腫瘍としてカウントする。非特異的な組織型（組織型群5, 12, 17）に関しては、特異的な組織型の腫瘍が存在すれば、非特異的な組織型は無視し、特異的な組織型を登録すべきである。

⑤乳房など両側臓器の左右に別々に診断された同じ組織型の複数の腫瘍は、一方が他方の転移であるという断りがない限り、各々独立して登録すべきである。

但し、下記腫瘍が左右に診断された場合は、両側性の单一腫瘍として登録する。

- ・卵巣腫瘍（同一組織型）
- ・腎臓のウィルムス腫瘍（腎芽腫）
- ・網膜芽細胞腫

⑥大腸（C18）と皮膚（C44）の異なる4桁部位に発生したがんは、各々独立して登録すべきである。

多重がん登録に関する我が国の独自ルール

⑦同一部位、同一組織の上皮内がん（CIS; Carcinoma in Situ）から、一定期間経過した後に浸潤がんとなった場合、

- ・1年未満であれば单一がんとして浸潤がん

のみを登録する。

・1年以上の間隔がある場合は、上皮内がんと浸潤がんの重複がんとして別々に登録する。子宮がん・膀胱がんなどでよく観られる。

注意点：後発の浸潤がんが再発がんと診断された場合にも適用される。

4. 罹患率・生存率集計時に適用されるIARC/WHOの判定規則（Reporting rule）

基本的に、集約ルールと同じであるが、以下の点で集約ルールと異なる。

1) 左右臓器に発生した同一組織型の腫瘍：1腫瘍とみなす。

2) 大腸（C18）と皮膚（C44）の異なる4桁部位に発生したがん：同一組織型であれば一腫瘍とみなす。

3) 上記集約ルール⑦の関係より、同一部位、同一組織の上皮内がんと浸潤がんの重複症例：後発の浸潤がんのみとする。

5. 病期分類

進行度の記載には種々の規約があるが、地域がん登録では、米国カリフォルニア州腫瘍登録室と米国国立がん研究所、遠隔成績課 End Result Section が作成した分類を参考に、「地域がん登録」研究班が、以下4病期に改変したもの（「進展度」）を用いる。

- ・進展度：「限局」・「所属リンパ節転移」「隣接臓器浸潤」・「遠隔転移」

但し臨床上は、UICC^{※2}によるTNM分類や各学会・研究会による『がん取扱い規約』の進行度分類が用いられるので、「進展度」とTNM分類、「がん取扱い規約」による分類との関係を中央登録室にてチェックしている。

なお、いずれの病期でも、治療前に得られた情報（臨床的検索、画像診断、内視鏡検査、生検、外科的検索、等）に基づき実施するもの=「治療前臨床分類」と、手術後の病理組織学的検索で得られた知見により補足修正するもの=「術後病理組織学的分類」の2つがあるが、地域がん登録では、術後の病理組織学的分類を優先して登録する。

表A 部位、組織、時期の定義

表B 多重がんの判定において、1つの部位と
考える部位群

集約時 (Recording)			集計時 (Reporting)	ICD-O 部位 コード	部位	※
部位	ICD-O3T の 前 3 衍部位	同じ	同一部位とする。 結腸(C18)と皮膚 (C44)について は、4 衍目が異なる 場合には、異なる 部位とする。	同一部位と する	C01 舌基底部	
					C02 舌のその他及び部位不明	C029
					C00 口唇	
					C03 齒肉	
					C04 口腔底	
		異なる	ICD-O3T の前3 衍部位が異なる 場合でも、一定 の部位の組み合 わせであれば同 一部位とする。	同左	C05 口蓋	
					C06 口腔、その他及び部位不明	C06.9
					C09 扁桃	
					C10 中咽頭	
					C12 梨状陥凹(洞)	
組織			1. Berg の組織型群で、同じ群であれば同一組織型 とする。 2. Berg の組織型群の、「5」「14」「17」について は、以下の「我が国の組織型群」と同一とする。 5=1~4と同一組織型 14=8~13と同一組織型 17=1~16と同一組織型	同左	C13 下咽頭	
					C14 その他及び部位不明の口腔、口腔及び咽頭	C14.0
					C19 直腸S状結腸移行部	
					C20 直腸	C20.9
					C23 胆囊	
時期			同時・異なる区別はしない。	同左	C24 その他及び部位不明の胆道	C24.9
					C33 気管	
					C34 気管支及び肺	C34.9
					C40 四肢の骨、関節及び関節軟骨	
					C41 その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨	C41.9
					C65 腎孟	
					C66 尿管	
					C67 膀胱*	
					C68 その他及び部位不明の泌尿器	C68.9

※診断時期が異なる=最初に診断された部位をコードする。

診断時隕肋(同じ時)=ここに書かれたコードを用いる。

*我が国では、集約時の多重がん判定に於いて、膀胱は部位群から
独立

● 「多重がんの判定基準」に関する引用・参考文献

1. 参考文献

「平成25年度 地域がん登録実務者研修」テキスト
国立がん研究センターがん対策情報センター 2013.
(参照:【3 多重がんの登録と集約】)

表C Bergの組織型群(多重がんの判定において、異なる組織型と考える組織型群)

IARC/IACRによる組織型群	我が国の 組織型群※	ICD-03M
癌腫		
1. 扁平上皮癌	01-01	8051-8084, 8120-8131
2. 基底細胞癌	02-01	8090-8110
3. 腺癌	03-01	8140-8149, 8160-8162, 8190-8221, 8260-8337, 8350-8551, 8570-8576, 8940-8941
4. その他の明示された癌腫	04-01 04-02 04-03 04-04 04-05 04-06 04-07 04-08	8030-8035, 8040-8045 8046 8150-8157 8170-8175, 8180 8230-8255 8340-8347 8560-8562 8580-8671
(5). 詳細不明の癌腫	05-01	8010-8015, 8020-8022, 8050
6. 肉腫及びその他の軟部組織の腫瘍	06-01	8680-8713, 8800-8921, 8990-8991, 9040-9044, 8120-8125, 9130-9136, 9141-9252, 9370-9373, 9540-9582
7. 中皮腫	07-01	9050-9055
造血系とリンパ組織の腫瘍		
8. 骨髄性	08-01	9840, 9861-9931, 9945-9946, 9950, 9961-9964, 9980-9987
9. B細胞性新生物	09-01	9670-9699, 9728, 9731-9734, 9761-9767, 9769, 9823-9826, 9833, 9836, 9940
10. T細胞、NK細胞性新生物	10-01	9700-9719, 9729, 9768, 9827-9831, 9834, 9837, 9948
11. ホジキンリンパ腫	11-01	9650-9667
12. 肥満細胞性腫瘍	12-01	9740-9742
13. 組織球及び副リンパ球様細胞	13-01	9750-9758
(14). 詳細不明の血液腫瘍	14-01 14-02	9590-9591, 9596, 9727, 9820, 9832, 9835 (リンパ腫、リンパ性白血病) 9760, 9800-9801, 9805, 9860, 9960, 9970, 9975, 9989
15. カポジ肉腫	15-01	9140
16. その他の明示された悪性腫瘍	16-01 16-02 16-03 16-04 16-05 16-06 16-07	8720-8790 8930-8936 8950-8983 9000-9030 9060-9110 9260-9365 9380-9539
(17). 詳細不明の悪性腫瘍	17-01	8000-8005

※我が国の組織型が異なる組合せは、以下の例外を除いて別の組織とみなす

- 1) 05-01: 01-01～04-08と同一
- 2) 14-01: 09-01, 10-01と同一
- 3) 14-02: 08-01～14-01と同一
- 4) 17-01: 全てと同一
- 5) 肺の04-02: 01-01, 03-01, 04-07と同一

表D 多重がんの判定基準

部位	組織	集約時 (Recording)	集計時 (Reporting)
同じ	同じ	1. 単一の腫瘍 側性のない部位 2. 多発のがん(同一部位に発生し、第一がんとは明らかに連続性のない複数の腫瘍:膀胱がんなど)の場合も、同じ粗組織型であれば単一の腫瘍とする。	同左
		一方が他方の転移によるものでなければ、多重がんとする。 但し、下記の両側性腫瘍は単一の腫瘍とする。 卵巣腫瘍・腎臓のウィルムス腫瘍(腎芽腫)・網膜芽細胞腫	両側性腫瘍 は単一の腫瘍とする。
	異なる	1. 1年未満であれば単一がんとして浸潤がんのみを登録。 2. 1年以上の間隔がある場合は、上皮内がんと浸潤がんの重複がんとして別々に登録する。 3. 後発の浸潤がんが再発がんと診断された場合にも1. 又は2. が適用される。	同左
		多重がん	同左
異なる	同じ	1. 一方が他方の腫瘍の進展、再発、転移によるものでなければ多重がんとする。	同左
		2. 多くの異なる臓器を侵す可能性がある全身性(多中心性)がんでは、単一の腫瘍とする。 例(カポジ肉腫、造血器の腫瘍)。	同左
異なる	異なる	多重がん	同左

罹患数の集計方法と登録精度指標

1. 罹患数の集計方法

地域がん登録では、医療機関からの報告・登録情報に、人口動態統計（死亡診断書）で把握されたがん死亡情報を照らし合わせて、医療機関からの報告・登録漏れ（DCN）を把握する。

DCNについては、死亡診断医療機関に報告を依頼する（遡り調査）。

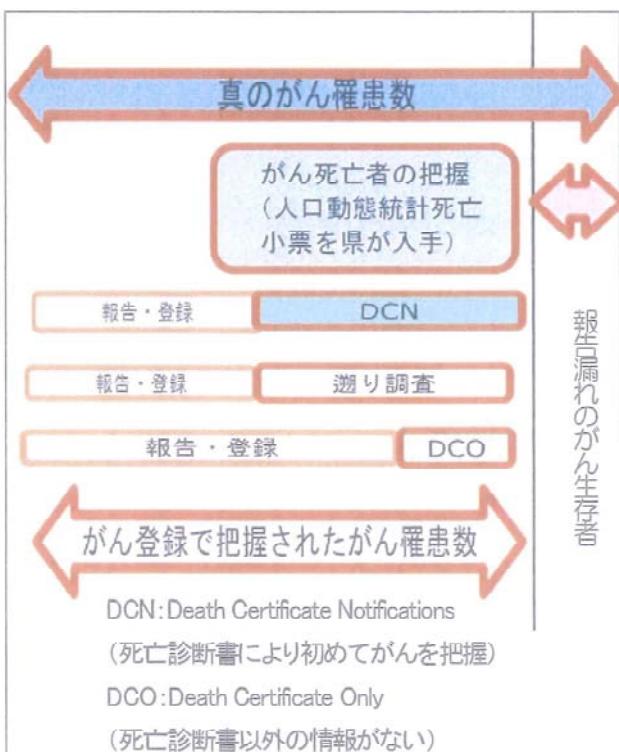
遡り調査で回答が得られなかったがん死亡の数（DCO）と、報告により把握されなかつたがんの数とを合わせて、罹患数とする。

国際ルールでは、罹患年として、報告・登録分では診断年、DCOでは死亡年を用いる。DCNが多い場合、遡り調査により診断年が死亡年と異なることが確認された報告・登録分を診断年で集計すると、集計可能な罹患年と暦年の差が大きくなる。我が国では適時性に配慮し、慣習的に、DCNでは死亡年を罹患年として罹患集計する。

罹患集計の実施時期より3年以上過ぎると、DCNについて“死亡年を用いた罹患数”と“診断年を用いた罹患数”との差がほぼなくなる。

※佐賀県がん統計年報に於いては、「2008年統計年報」までは遡り調査実施を早期（死亡の翌年）に実施して、DCNは診断年を用いて集計していた。

図D 罹患数の計測方法



2. 罹患数と精度指標

地域がん登録が医療機関からがんの診断情報の報告を得る仕組みは千差万別であり、報告・登録された情報の質や患者の網羅性には大きな開きがある。報告漏れや報告間違いが多いと、集計された罹患数は、「真の罹患数」を少なく見積もるのみならず、真実からかけ離れた部位分布や年次推移を示す危険が高い。

そのため、罹患数には、ここに示す精度指標を必ず一緒に示すことになっている。精度が低い場合、罹患数の解釈に注意を払う必要がある。

地域がん登録の登録精度の評価は、

- ①完全性 (completeness : 届出精度の指標)
 - ②妥当性 (validity : 診断精度の指標)
- などを用いて行われる。

3. 届出（量的）精度の指標

“対象地域の実際の罹患数のうちのどれだけが登録されているか”、すなわち登録の完全性を計測する指標として、

- ①死亡診断書の情報により初めて把握されたがん (DCN : death certificate notification) の割合
- ②死亡診断書の情報のみで登録されているがん (DCO : death certificate only) の割合
- ③罹患数と死亡数との比 (I/M 比 : incidence/mortality ratio)

が採用されている。

死亡転写票からがん罹患を把握した者で登録票がない者について、遡り調査により診断・治療情報を医療機関に求めるが、その返答の無かった者は「死亡情報のみ (DCO)」となる。但し、死亡診断書には、病理組織の情報が記載されていることがある。このような場合は、死亡診断書に記載された死亡時の臨床診断のみで「がん」として登録される場合と比べて情報量が多いので、区別されるべきである。

実際、国際がん研究機関（IARC）による「診断の根拠」の定義では、死亡診断書に病理組織所見がある場合はDCOに含まれない。そこで今後の標準集計では、従来のDCO（国内DCO）とは別に、死亡診断書に病理組織所見がある登録例を除外し、死亡時の臨床診断のみの場合を「国際DCO」とし

て区別することとした（国内DCO≥国際DCO）。がんに罹患し、生存中である報告漏れ患者は、罹患数の計上より欠落する。DCNが多い場合、報告・登録漏れの多いことが類測され、特に生存率の高い（よい治療法のある）部位では、罹患数の過小評価が示唆される。生存率の低い部位では、報告・登録漏れがあっても、死亡により人口動態統計で把握されるため、計測された罹患数と真の罹患数の差は小さいと推測できる。

DCOが多いと、DCNはそれ以上に多く、完全性は低い。逆に、DCOが少ないと、それで完全性が高いと評価できない。DCNに対して熱心に遡り調査を実施すると、DCOは少なくなるが、報告漏れのがん生存者の把握には直結しない。

I/M比について、がん患者の生存率の逆数（例えば、生存率50%では、2）と比較して、I/M比が低ければ、罹患の把握漏れが示唆される。逆にI/M比が高すぎる場合、照合の漏れ（同一人が別人として登録されている）、あるいは、多重がんの判定違い（同一腫瘍が多重がんとして登録されている）可能性を検討しなければならない。

国際水準として、各精度として以下の値が望ましいとされている。

- ・全部位のDCO = 10%未満
- ・全部位のI/M比 = 我が国の全がん生存率を考慮すると、全部位で1.8～2.0程度が適切と推測される。

4. 診断（質的）精度の指標

がんの診断は、最終的には病理組織診断による。そこで、「組織診の裏付けのある患者の割合」(HV: histologically verified cases)を以て、がん登録の診断（質的）精度の一指標とする。

「顕微鏡的に確かめられたもの(MV: microscopically verified cases)の割合」という場合には、組織診の他に、細胞診で裏付けられた例も含まれる。

組織診実施の有無は、がんの原発部位のみならず、転移部位について実施された場合も含めて算出する。また、造血組織のがんの場合には、骨髄像の検査を組織診とし、末梢血液の検査を細胞診として扱う。

届出票の無い患者は、組織診が行われているかどうか明確でない。従って、届出の精度が不十分

な時は、届出票のあるものを分母として観察する。罹患者を分母とする場合には、死亡診断書の情報のみのがんについても、死亡診断書の記載内容から組織診の行われたことが明らかな場合には、これを計上する。

5. 本報告書の精度指標

図E・図Fに、各々指標を示した。

[図E]

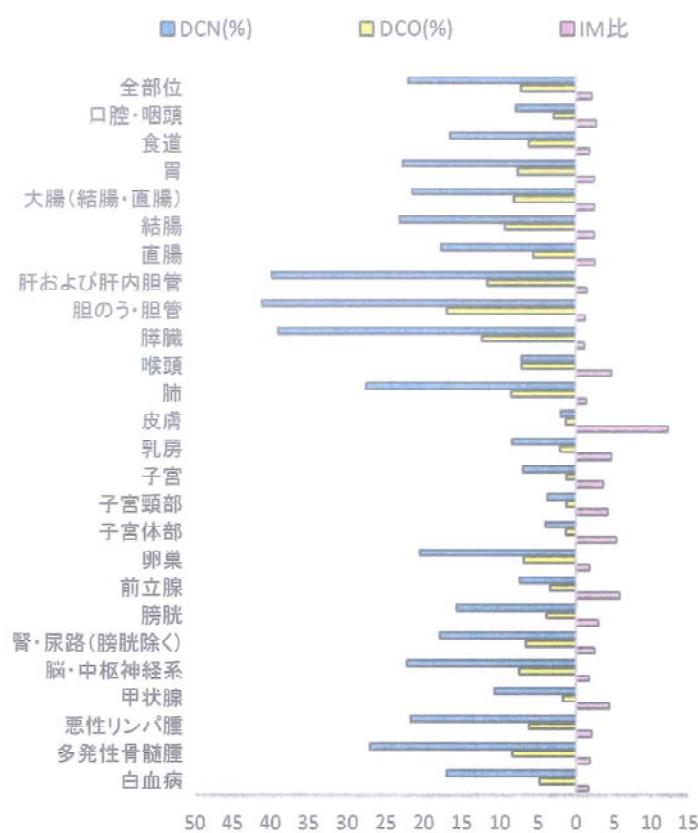
- ・部位別のDCNの割合 (%)
- ・国内DCOの割合 (%)
- ・I/M比

[図F]

- ・部位別のMVの割合 (%)

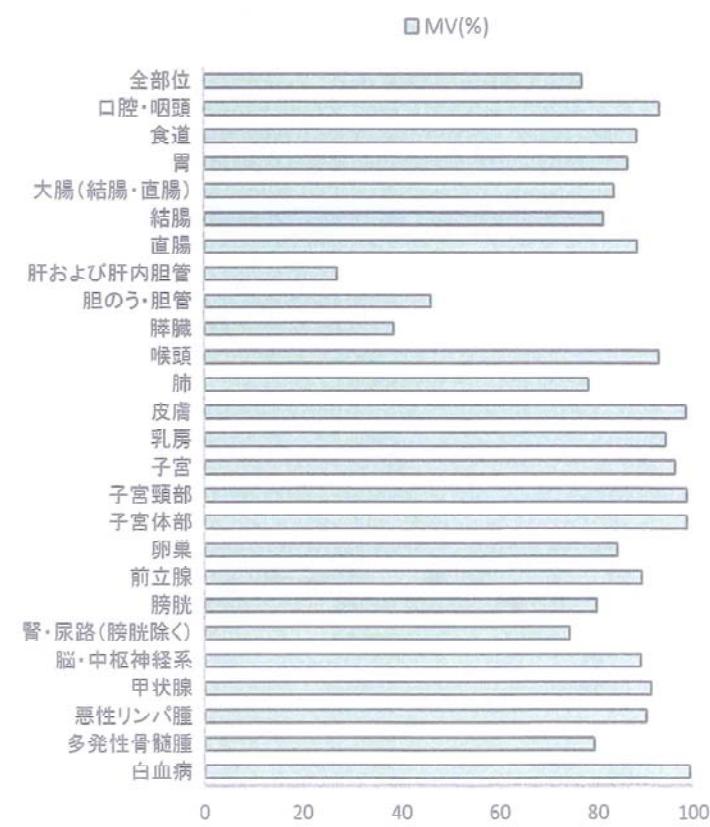
図E 2009年部位別登録精度（基データ：表8-A）

部 位	DCN(%)	DCO(%)	IM比
全部位	22.0	7.2	2.05
口腔・咽頭	7.8	2.9	2.68
食道	16.4	6.2	1.76
胃	22.7	7.6	2.42
大腸(結腸・直腸)	21.5	8.1	2.44
結腸	23.2	9.3	2.43
直腸	17.7	5.6	2.47
肝および肝内胆管	39.8	11.6	1.45
胆のう・胆管	41.0	16.9	1.16
膵臓	39.0	12.3	1.10
喉頭	7.1	7.1	4.67
肺	27.5	8.5	1.29
皮膚	2.0	1.4	12.25
乳房	8.3	2.1	4.67
子宮	6.9	1.3	3.61
子宮頸部	3.8	1.3	4.16
子宮体部	4.0	1.3	5.36
卵巣	20.5	6.8	1.76
前立腺	7.4	3.5	5.77
膀胱	15.6	3.9	2.91
腎・尿路(膀胱除く)	17.9	6.6	2.40
脳・中枢神経系	22.2	7.4	1.69
甲状腺	10.7	1.8	4.31
悪性リンパ腫	21.7	6.2	2.01
多発性骨髓腫	27.1	8.3	1.78
白血病	16.9	4.8	1.55



図F 2009年部位別MVの割合（基データ：表8-A）

部 位	MV(%)
全部位	77.1
口腔・咽頭	93.1
食道	88.4
胃	86.4
大腸(結腸・直腸)	83.5
結腸	81.3
直腸	88.4
肝および肝内胆管	27.1
胆のう・胆管	46.1
膵臓	38.5
喉頭	92.9
肺	78.2
皮膚	98.6
乳房	94.3
子宮	96.2
子宮頸部	98.7
子宮体部	98.7
卵巣	84.1
前立腺	89.1
膀胱	79.7
腎・尿路(膀胱除く)	74.2
脳・中枢神経系	88.9
甲状腺	91.1
悪性リンパ腫	90.1
多発性骨髓腫	79.2
白血病	99.2



罹患数の動向

近年について、初回罹患統計報告時における罹患数と最新のデータによる年別罹患数の関係を示す。

地域がん登録では、罹患年から時間が経つてからの届出も受理することや、情報の追加による登録内容の変更・修正を隨時行っているため、データベース内は日々変動し、更新されている。

また、年次によっては、情報収集の方法にも

以下の様な状況の変化があり、[表E]で示す罹患数の変動の大きな要因となっていることに留意されたい。

(状況変化の2大要因)

- ・がん診療連携拠点病院院内がん登録届出協力
(2007年～：県内外当該機関)
- ・DPC係数の地域がん登録届出協力計上
(2010年～：DPC機関)

表E 罹患数の変動

※がん登録届出状況及び登録室体制・登録システムの変更が罹患数の変化に大きく影響を及ぼし、がん罹患の実態と捉えるには問題があり、罹患数の年次推移を観察するには、注意が必要です。

罹患数 ^{*1}	罹患年										報告書作成年度
	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005 ^{*2}	2006	2007	2008	
報告年	1995	3699									
	1996	3791	3827								
	1997	3532	3599	3627							
	1998	3,591	3,677	3,725	3,773						
	1999	3,454	3,648	3,719	3,816	3,861					2002
	2000		3,634	3,789	3,921	4,003	4,047				2003
	2001			3,634	3,892	3,989	4,073	※2			2004
	2002				3,847	4,016	4,119	※2	4,262		2004
	2003					4,045	4,267	※2	4,438	4,460	2007
	2004						4,160	※2	4,410	4,430	2008
	2005							※2	4,422	4,440	2010合冊
	2006								4,494	4,561	2010合冊
	2007									4,830	2011
	2008									5,158	2012
	2009										5,479
											2013

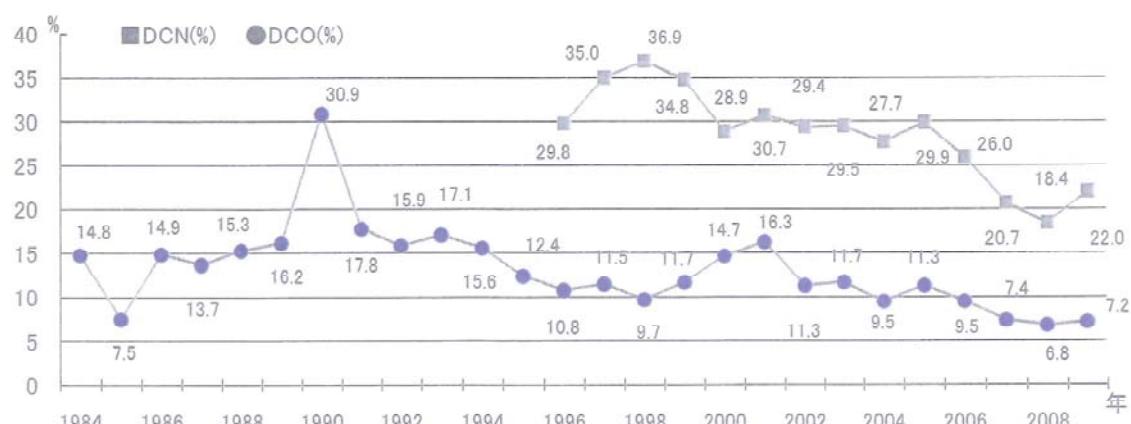
※ 1: 罹患数: 全部位の悪性新生物(C00-C96)

2008年報告書まではIDBSから集計、2009年は標準DBSから集計のため、比較には注意を要する。

2: 2005年集計は2006年報告書作成時に「2005-2006年統計」として合併報告 3: データベース移行期にて、計測不能

図G 登録精度の年次推移

※登録精度は概ね向上・改善傾向にあるが、がん登録室実施体制・情報収集作業量及び登録システムの変更(集計方法の違い)等により、登録精度値に変化・影響(精度値悪化)が観られる。



DCO/I、DCN/I: (~1999年)『地域がん登録研究班』*の罹患率協同調査時数値

(2000年～)『佐賀県がん登録事業報告書』罹患数集計値 (～2008年迄: IDBS集計・2009年: 標準DBS集計)



第Ⅱ章 統計編

Ⅱ-1 最新がん統計

罹患の概要

1. 最新集計について

1) 集計の期間

罹患年月日:2009年1月1日～12月31日の間の1年間

2) 集計の時期

2013年12月29日現在

3) 罹患日の決め方

- ①届出による登録例:初めて当該がんと診断された年月日を罹患日とする。
- ②届出が無く、死亡小票の写しに依りがん罹患が判明した例:死亡年月日を以て、がん罹患年月日とする。

4) 集計対象

- ①ICD-03M分類の性状/2(上皮内がん)、性状/3(悪性、浸潤性)で示される新生物
- ②DCO例については、①に加えて、ICD-03M分類の性状/1(良性・悪性の別不詳:例 悪性の明示のない○○腫瘍)で示される新生物による死亡で、部位が脳・肝・肺・腎・膀胱・肺

5) 精度指標

※全部位(C00-C96):上皮内がんを除く

- ・DCN : 22.0%
- ・国内DCO : 7.2%
- ・国際DCO : 6.8%
- ・I/M比 : 2.05

6) 罹患の概況

①2009年佐賀県において、新たにがんと診断された件数は以下の通り。

のべ件数(上皮内がん含む)

- ・男性: 3,208件(3,408件)
- ・女性: 2,271件(2,507件)
- ・合計: 5,479件(5,915件)

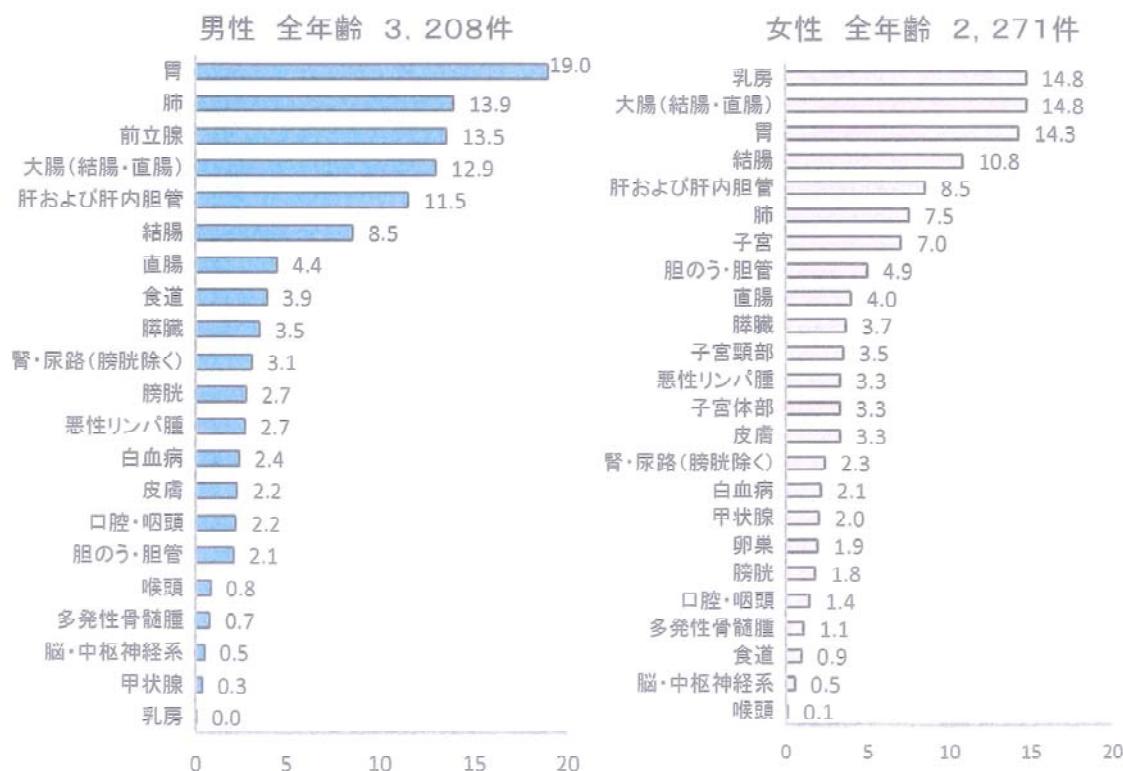
②発生部位の状況は、男女で各々上位5部位は以下順の通り。

[図1]

但し、届出票提出機関や診療科の専門性により数値は影響を受けるため、留意されたい。

- ・男性: 胃・肺・前立腺・大腸・肝及び肝内胆管
- ・女性: 大腸・乳房(乳と同割合)・胃・肝及び肝内胆管・肺

図1 部位別内訳(%) (基データ:表1-A)



年齢別に見たがんの罹患

2009年に新たに診断されたがんについて、年齢別※に見ると、65歳以上は男性では3/4弱、女性で2/3以上を占めている。

働き盛りの40-64歳の年齢層では、男性で1/4弱、女性では1/4超であった。 [図2]

ほとんどの年齢層及び部位のがんで、男性が女性より割合が高いが、15-39歳では女性が男性より多く、これはこの年齢層の子宮頸がんと乳がんが多いためで、また女性で40-64歳のがんが多いのは、この年齢層の乳がんが突出して多いことに依る。 [図3]

男女とも年齢が高くなるほど罹患しやすく、男性では大体50歳台から増加しはじめているが、女性では、子宮がん（特に子宮頸がん）が20代、乳がんが30代で罹患率が上昇し、がん罹患発症の若年化傾向が女性の方に観られる。

[図4]

※年齢別がん罹患観察の注意

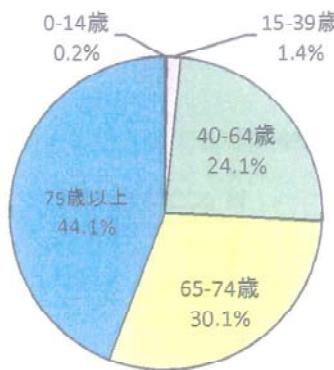
標準方式では、死亡情報で初めて登録室が把握した患者について（DCN）は、診断年は死亡日を採用し年齢計算する。佐賀県はDCN割合が多く、予後が良い部位などでは診断時年齢が高齢者層に増えてくる可能性がある。

依って、本報告書では必ずしも発症年齢状況を現していないこと、また旧DBSでは、DCNは診断日で年齢計算しているので、年齢別がんの罹患状況を経年経過で観察する際には留意が必要。

図2 年齢別内訳(%) (基データ:表2-A)

男性

	男性(件)
0-14歳	7
15-39歳	45
40-64歳	773
65-74歳	967
75歳以上	1,410
合計	3,208



女性

	女性(件)
0-14歳	6
15-39歳	71
40-64歳	632
65-74歳	461
75歳以上	1,101
合計	2,271

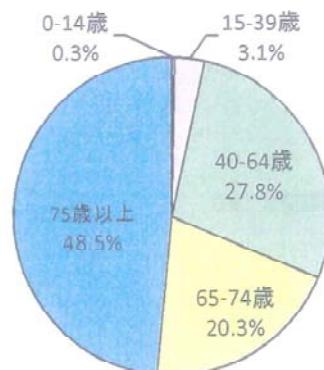


図3 年齢別部位内訳(%) (基データ・表2-A)

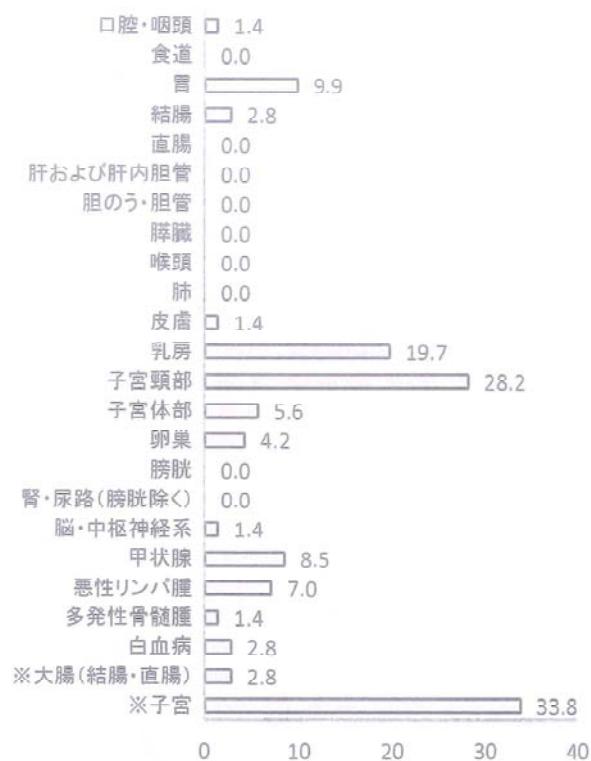


図3 年齢別部位内訳(%) (基データ:表2-A)

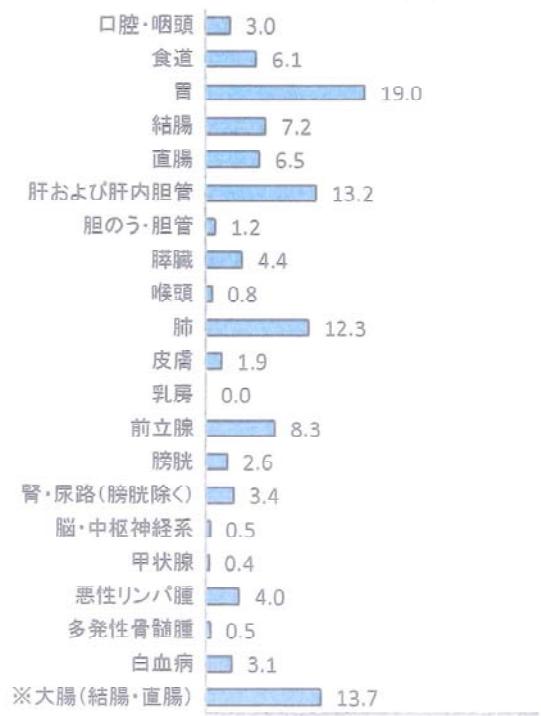
男性:15-39歳(%) 45件



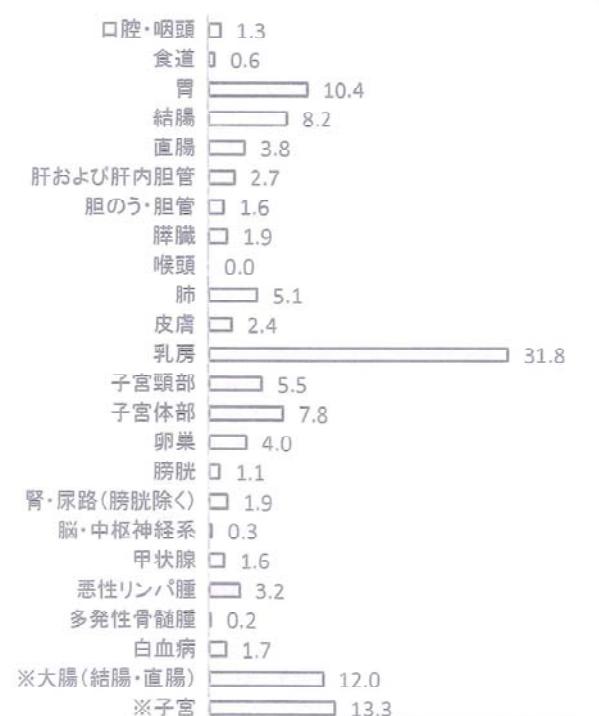
女性:15-39歳(%) 71件



男性:40-64歳(%) 773件

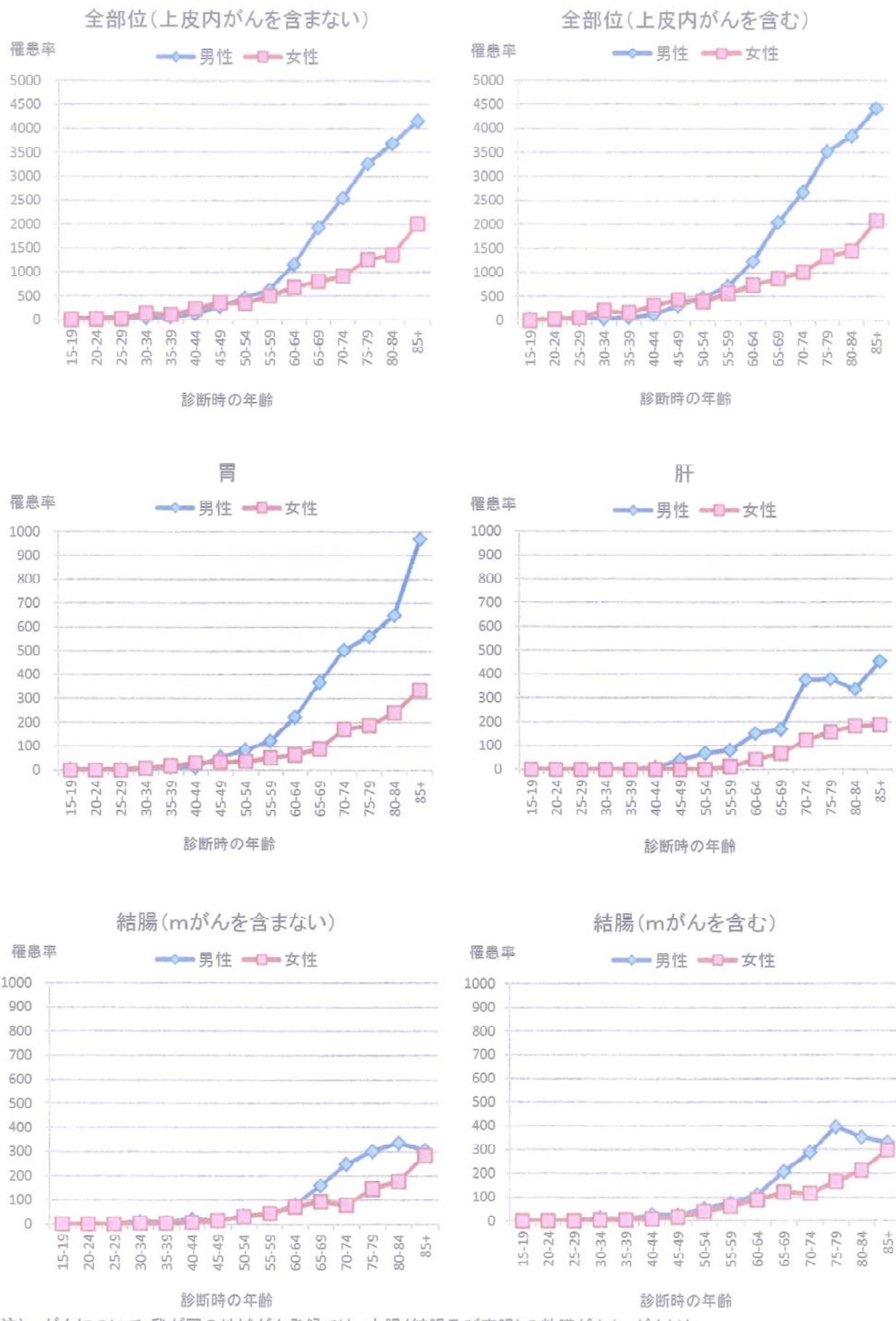


女性:40-64歳(%) 632件



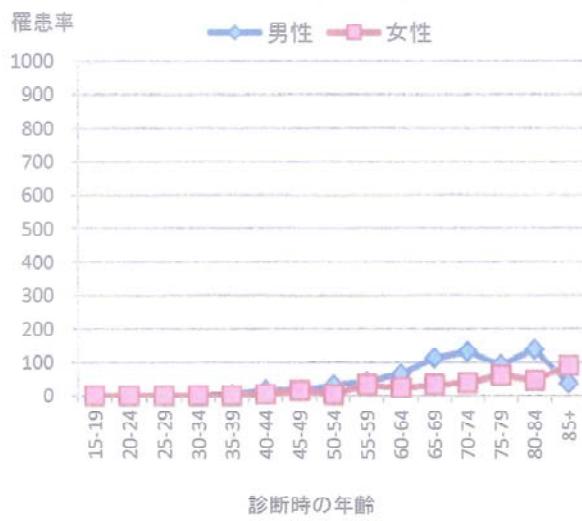
※大腸・子宮:再掲

図4 部位別年齢階級別罹患率・人口10万対 (基データ:表3-A、B)

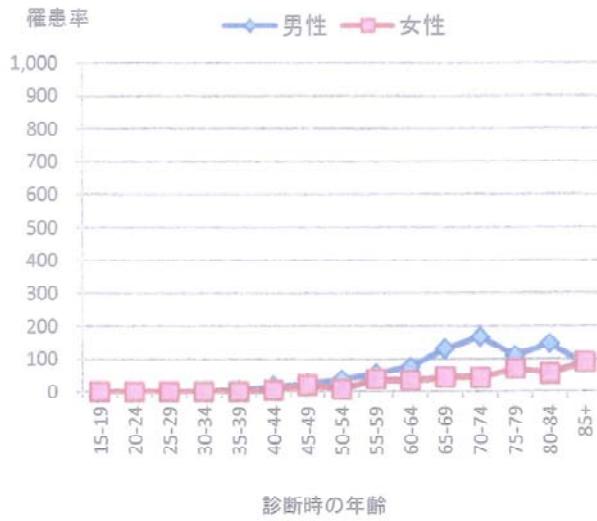


注)mがんについて:我が国の地域がん登録では、大腸(結腸及び直腸)の粘膜がん(mがん)は上皮内がんとして扱う

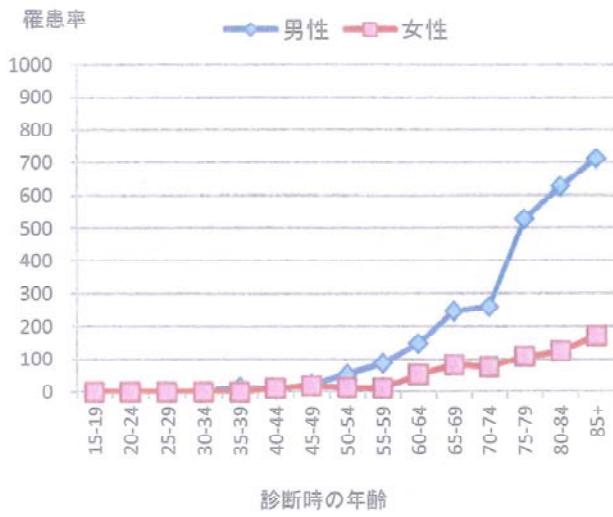
直腸(mがんを含まない)



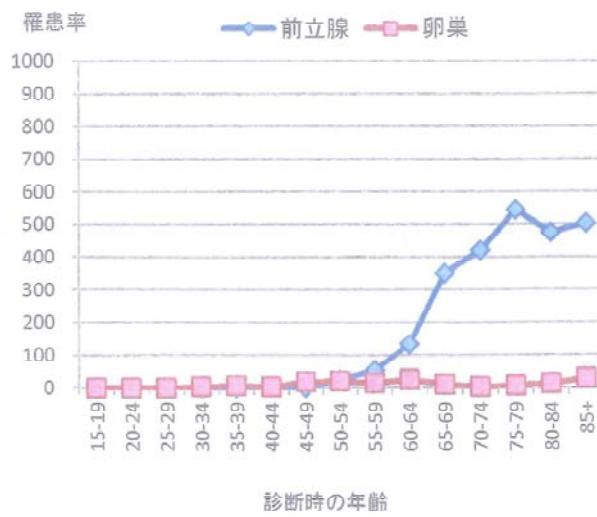
直腸(mがんを含む)



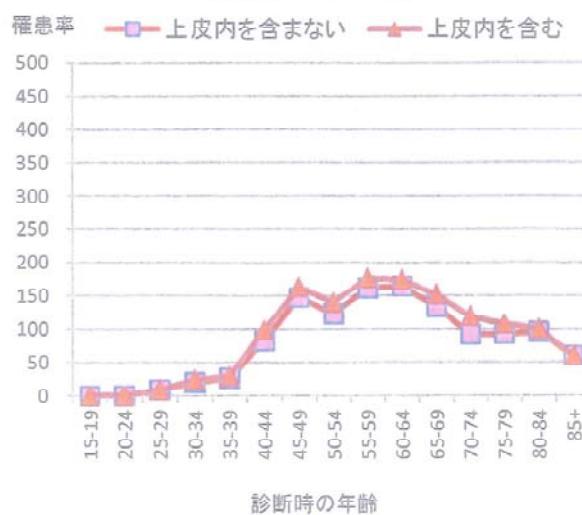
肺



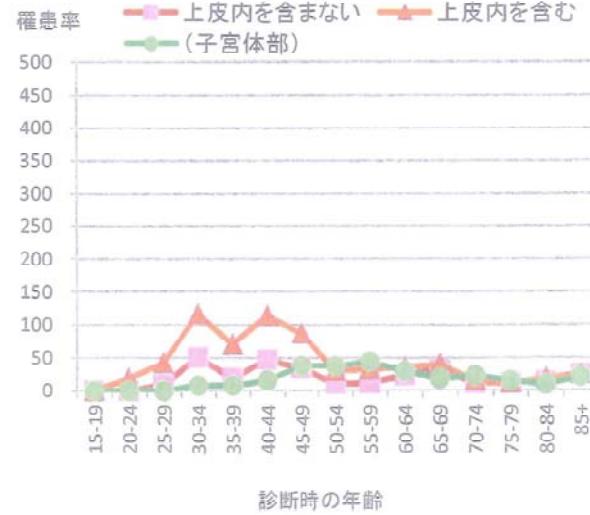
前立腺・卵巣



乳房(女性のみ)



子宮頸部



佐賀県におけるがんの罹患の特徴

佐賀県の年齢調整罹患率は、2009年の全部位で男性=445.9、女性=258.2で、日本全体の推計値と比較してみると、男性の同全国値=425.1より高く、女性では、同全国値=282.6より低くかった。佐賀県内の動向では、2008年の全部位罹患率^{※1}と比較してみると、男性は4.3%、女性も4.4%増加している。[図5]

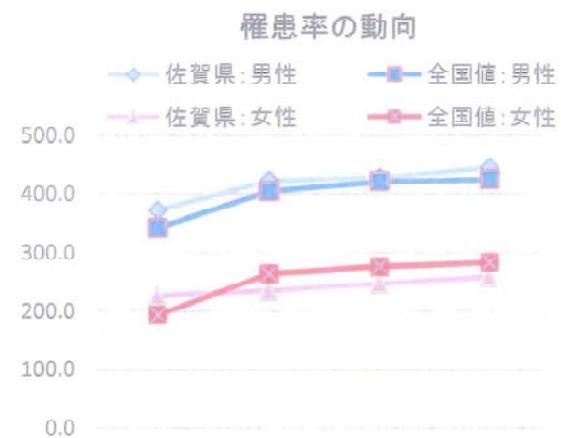
但し、値の変化については、情報収集の変化・集約作業等の人為的な影響が反映され易く、がん罹患が継続的に増加傾向にあると捉えるには問題があり、慎重を期す必要がある。

部位別では、男女ともに全国値と比較してほぼ同じ様な傾向である。[図6]

罹患率の上位5部位は、男性では、胃、大腸、肺、前立腺、肝の順で全く同じ、女性では、佐賀県は乳房、胃、大腸、子宮、肺で、全国値では、乳房、大腸、胃、子宮、肺と順序に若干違はあるものの同じがんが上位を占めていた。

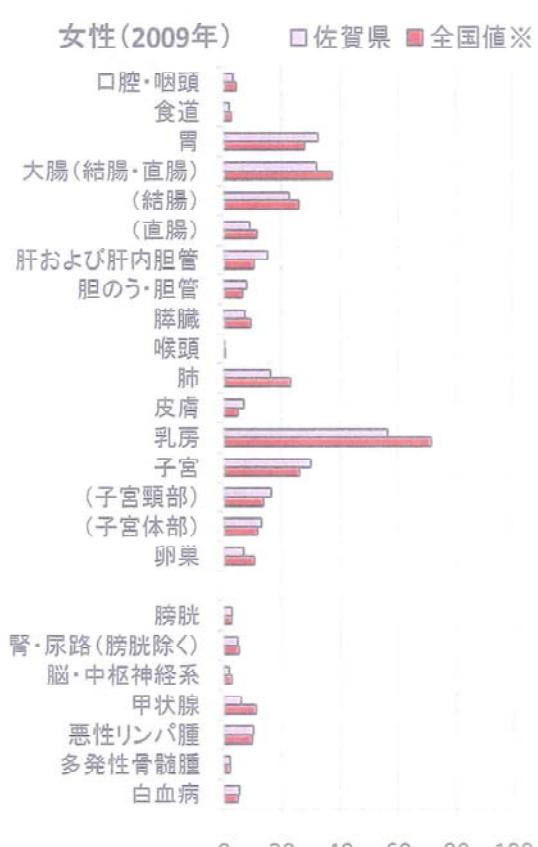
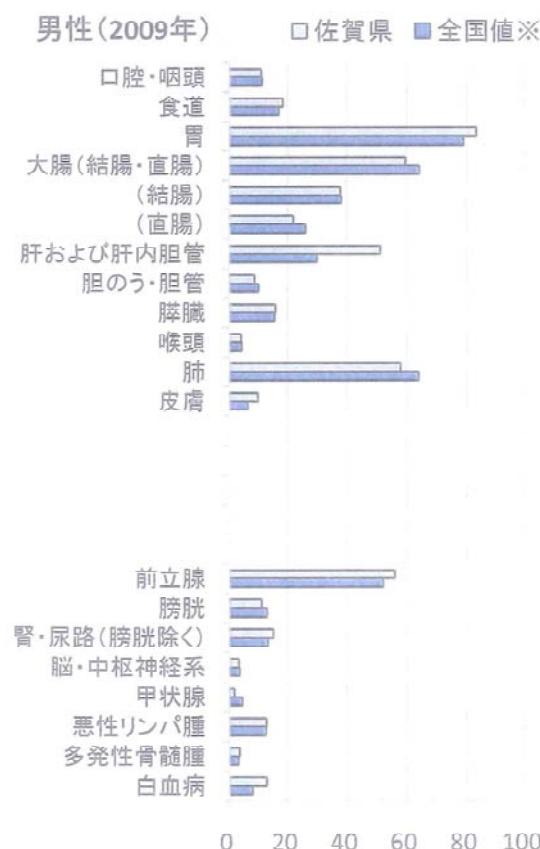
全国値より高く大きな差があったのは、男性では肝で、全国の1.7倍、白血病と皮膚が約

図5 がん罹患率の動向:人口10万対
(基データ:表1-A)



1.6倍だった。肝は国内で突出して最も罹患率(51.1)が高かった。全国値より低く、最も差があったのは甲状腺で全国値の0.4倍弱である。女性では、やはり肝(15.3)が全国値の1.5倍弱で国内3位、皮膚は1.4倍、胆のう・胆管で1.2倍であった。全国値より低く、最も差があったのは喉頭で全国値の0.3倍弱であった。

図6 部位別がん罹患率:人口10万対 (基データ:表1-A)



*全国値=引用:『全国がん罹患モニタリング集計 2009罹患数・率報告』(国立がん研究センターがん対策情報センター)の推計値

発見経緯

がんの発見契機として、「検診由来群」と「その他」とに大きく分類^{※1}、着目した。[図7]

- ・検診由来：がん検診・健康診断・人間ドック
- ・その他：他疾患経過観察・自覚症状・その他・不明

がん登録票情報で集計された一般に住民検診が実施されている5部位における「検診由来群」の各割合は、胃=14.1%、大腸^{※2}=11.2%、肺=8.9%、乳房^{※2}=25.5%、子宮頸部^{※2}=31.2%であった。

前年と比して、乳房・子宮頸部で大幅に増加しているが、2009年に乳がん・子宮がん検診無料クーポン配布が開始され検診受診が増加したことなどが要因として考えられる。

発見経緯の割合を地域がん登録全国集計値(上皮内がんを除く)と比較すると、検診由来群では乳房を除く4部位で低く、特に肺の検診由来割合は全国値の1/2程度だった。前立腺では21.8%と、昨年に続き20%を超えていた。

発見経緯の「その他」を観ると、「他疾患の経過観察中」で、肝が25.4%と唯一20%を超えていた。これは、肝炎・肝硬変等の治療・経過観察中に発がんする症例によるものと推察される。佐賀県では、肝がん死亡が長らく全国ワースト1位であり、1992年度から肝炎ウイルス検査制度を導入し延べ約60万人が受検されているものの、未だ多くの未受検者がいる。

また、2009年佐賀県内市町のがん検診において、要精密検査とされた方の精密検査未受診者率は子宮を除き全国平均値よりも高い。

がん発見経緯としては、がん診療連携拠点病院の院内がん登録開始に伴う院内がん登録標準登録様式の項目定義の明確化により、検診由来とする記載が増えたが、がんと診断に至る経過の中で、検診由来にも係わらず「その他・不明」に含まれている症例も多いのではないかと推察される。発見経緯の区分ごとの増減観察には注意が必要である。また、検診等情報収集が不十分であり、今後は県内の検診による発見がん全情報を収集することなども検討してみる。

※1：検診等情報は、届出票項目及び検診機関1施設のみの採録情報。「がん検診」と「健康診断」の判別もあり正確ではない。「その他」は明確な分類定義に依る情報がない可能性もある。治療開始後症例では、診断・初回治療施設での詳細情報がなく、「その他」・「不明」の記載となるケースも多い。

※2：上皮内がんを含む。

■検診由来 □他疾患観察中 ■剖検発見 □その他・不明

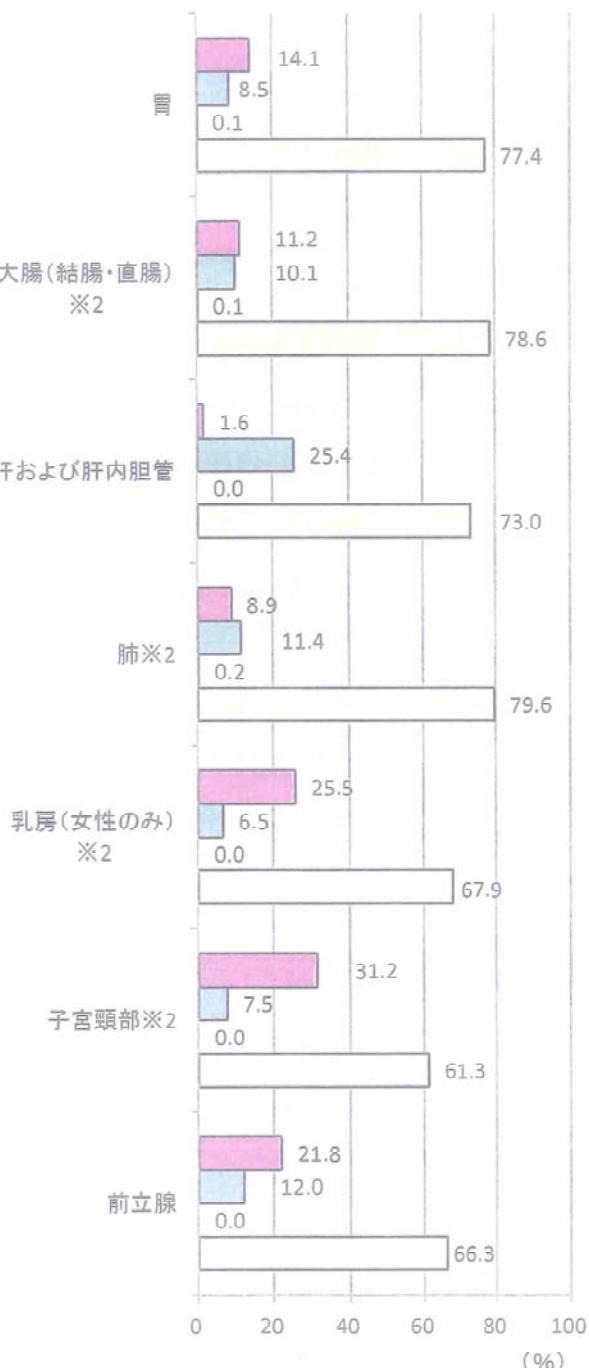


図7 部位別発見経緯(%)：対象はDCO(死亡票のみ症例)を除く届出患者(基データ:表4-A,B)

病期

一般的にがん検診が実施されている胃、結腸、直腸、乳房、子宮、前立腺などの部位においては、発見時の病期（がんの進行度）が上皮内がん・当該臓器限局の割合が高い。一方、肺もがん検診が実施されている部位ではあるが、発見

時に遠隔転移があった割合が高かった。

腫瘍が比較的大きくなるまで自覚症状が出にくい胆のう・胆管、脾臓などの部位では、発見時に進行している割合が高かった。【図8】

図8 部位別発見時の病期(%)：対象はDCOを除く届出患者(基データ：表5-A、B)



初回治療の方法

胃及び大腸などの消化管、膀胱及び腎・尿路の泌尿器、乳房、子宮、卵巣、皮膚、甲状腺で外科的治療割合が60%を超えていた。放射線治療割合では脳で高く、口腔・咽頭、食道、喉頭でも比較的高かった。

初回治療の方法は、複数回答のため、外科的治療、放射線療法、化学・免疫・内分泌療法等を組み合わせて実施されていることが考えられる。届出患者のみの集計^{※1}のため偏りも否定はできないが、初回治療の部位別傾向が観察される。

※1：標準登録様式の届出票では、提出施設における初回治療実施のみを登録するため、一部治療情報が反映されない場合がある。

例えば他院で手術し、拠点病院で術後放射線療法等を実施し届出された場合、手術実施施設から届出票が提出されなければ、「治療開始後」として患者の治療歴に手術情報は登録されない。佐賀県では上記ケースや、届出票が無く遡り調査に依る情報(DCN)も多いため、治療情報が不明となる登録症例を多々見うける。

今後、初回治療施設からの届出の増加が望まれる。

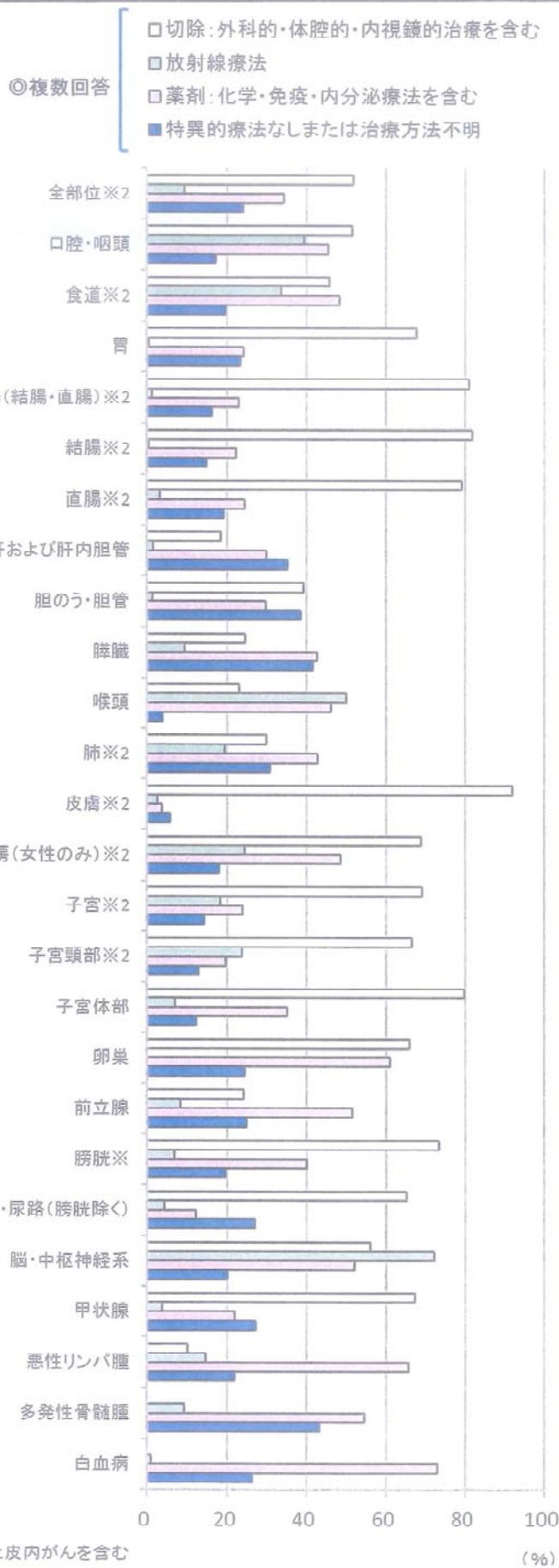


図9 初回治療の方法(%)：対象はDCOを除く届出患者（基データ：表6-A、B）

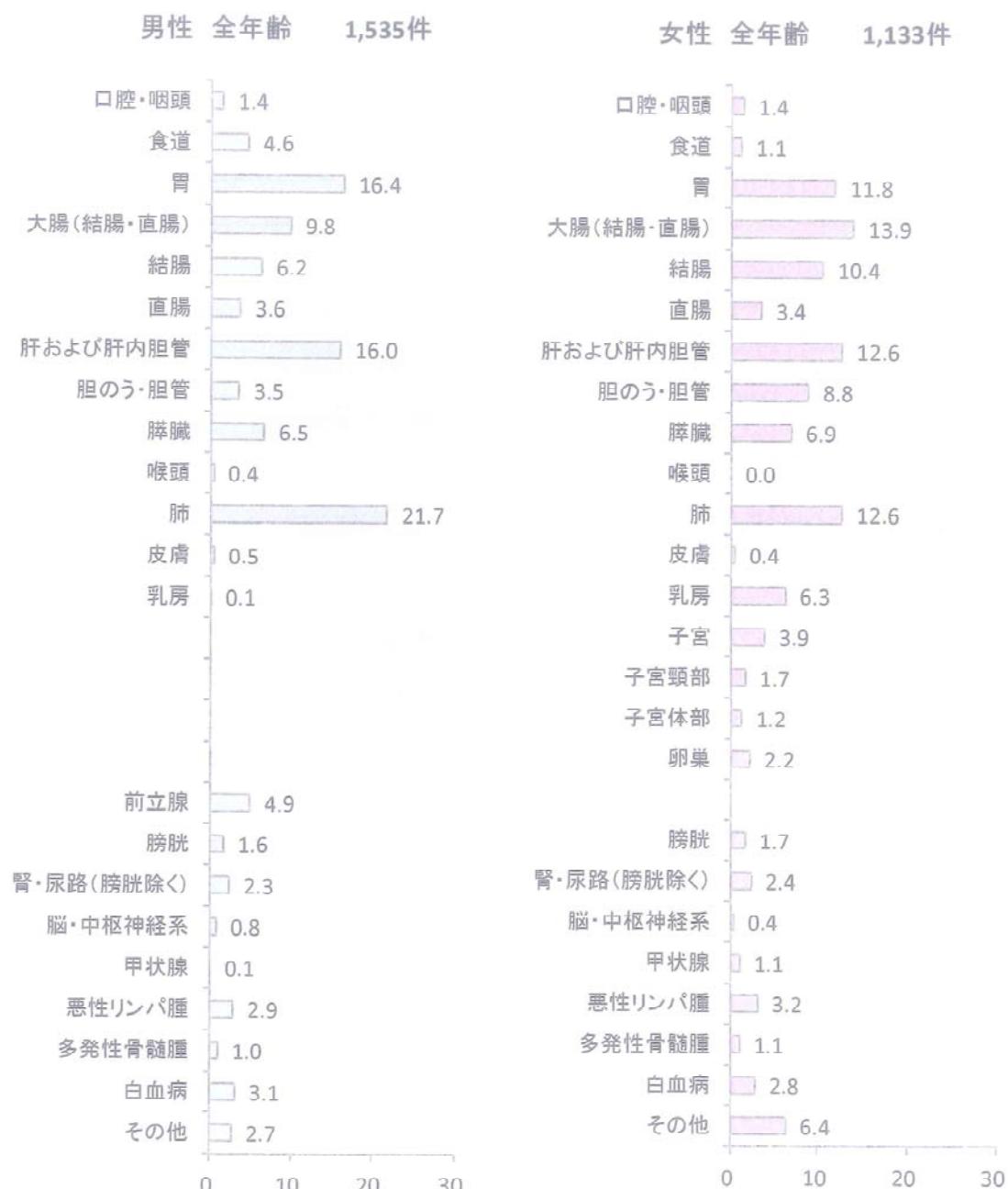
死亡の概要

2009 年に佐賀県においてがんが原因として死亡されたのは、男性 1,535 人、女性 1,133 人、合計 2,668 人であった。 [図10]

死亡の部位別割合は、男性では肺、胃、肝、

大腸、膀胱の順で高かった。女性では、大腸に続き肝と肺、胃、胆のう・胆管の順であった。男性部位と女性部位を除き、男女で同じ様な死亡割合傾向であった。

図10 部位別内訳(%) (基データ:表9)



年齢別に見たがんの死亡

2009年に佐賀県においてがんで死亡された方を年齢別で見ると、高齢者が占める割合が非常に高く、男性で79%、女性の86%が65歳以上であった。

[図11]

殆どあらゆる部位のがんは、年齢が高くなるほど罹りやすくなるため、がん死亡者に高齢者が多い。乳房と子宮については、他の部位と比べ、低い年齢層から死亡率が上昇している。

[図12]

図11 年齢内訳(%) (基データ:表10)

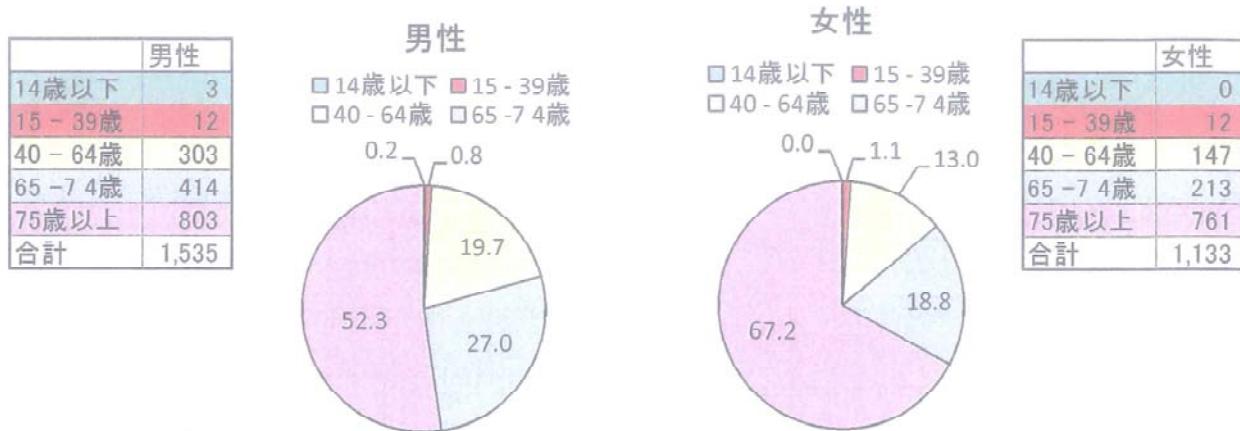
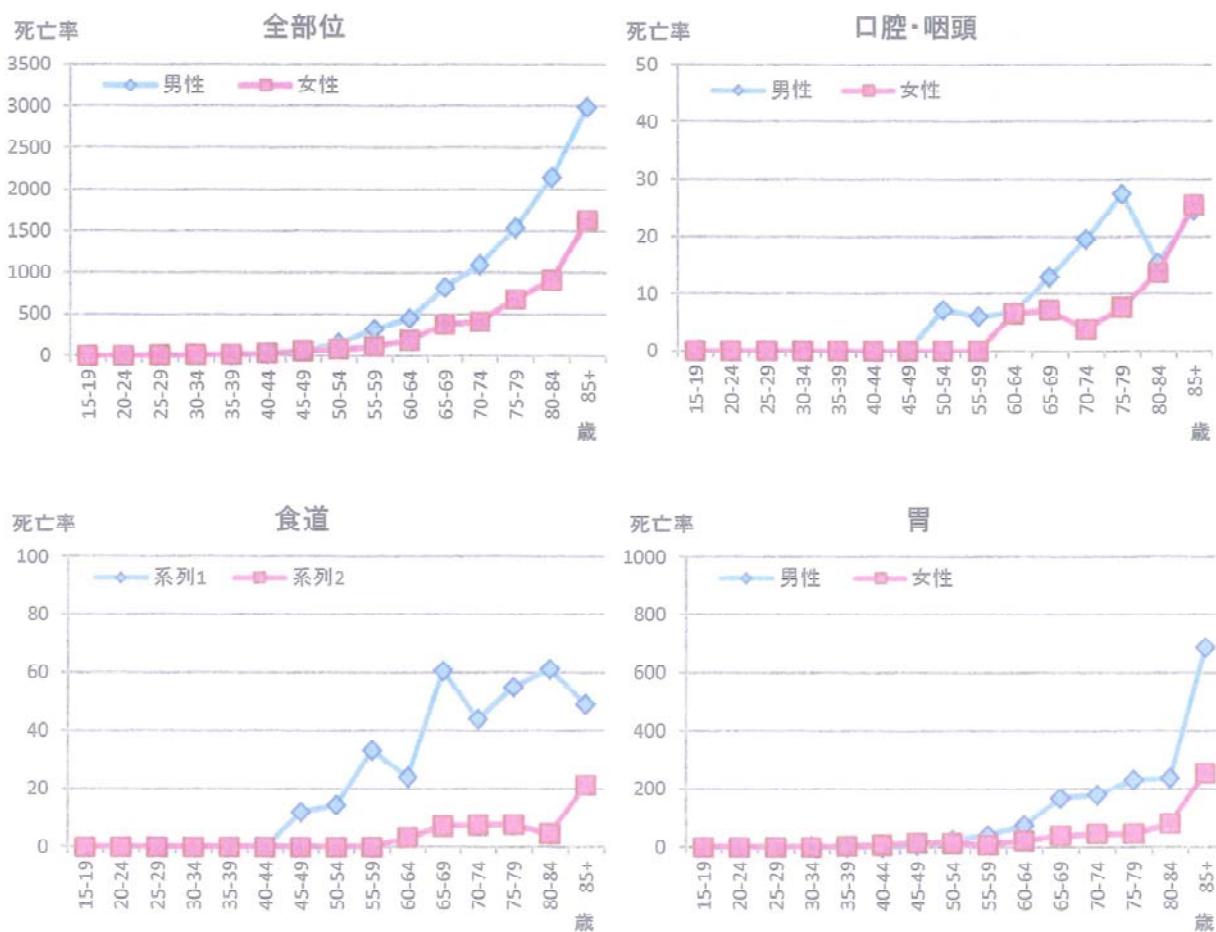
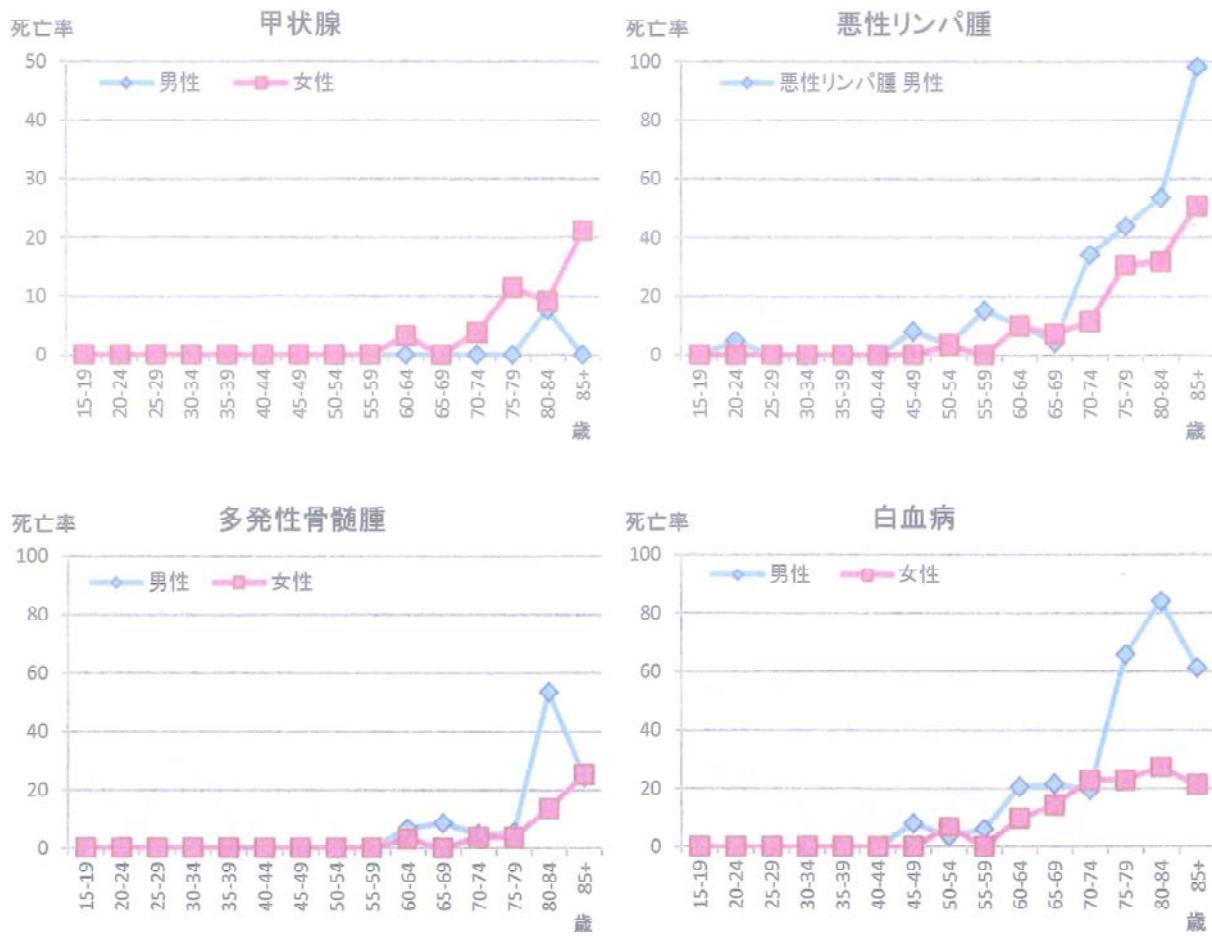


図12 部位別年齢階級別死亡率:人口10万対 (基データ:表11)









佐賀県のがんの死亡の特徴

佐賀県の部位別死亡率を日本全体と比較すると、男女ともに肝において差が大きい。

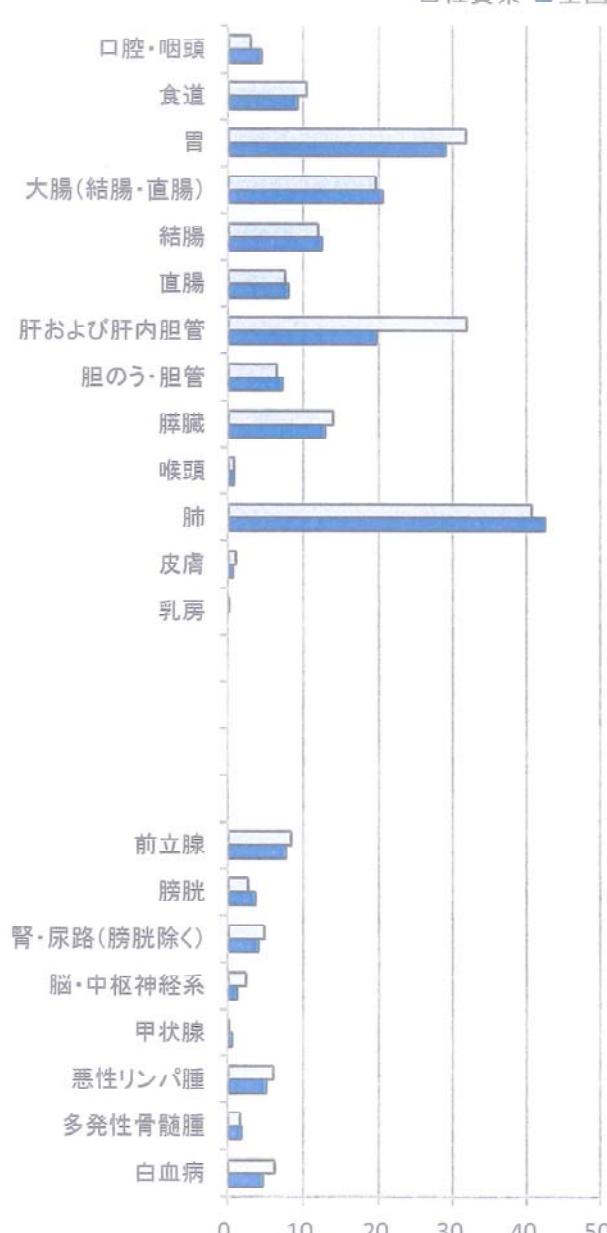
男性では、肝ほどではないが胃、悪性リンパ腫、白血病が全国値より高く、女性では、胆のう・胆管も高かった。

男女の部位別死亡率は、先述の部位を除き概して全国値とあまり大きな差はなかった。

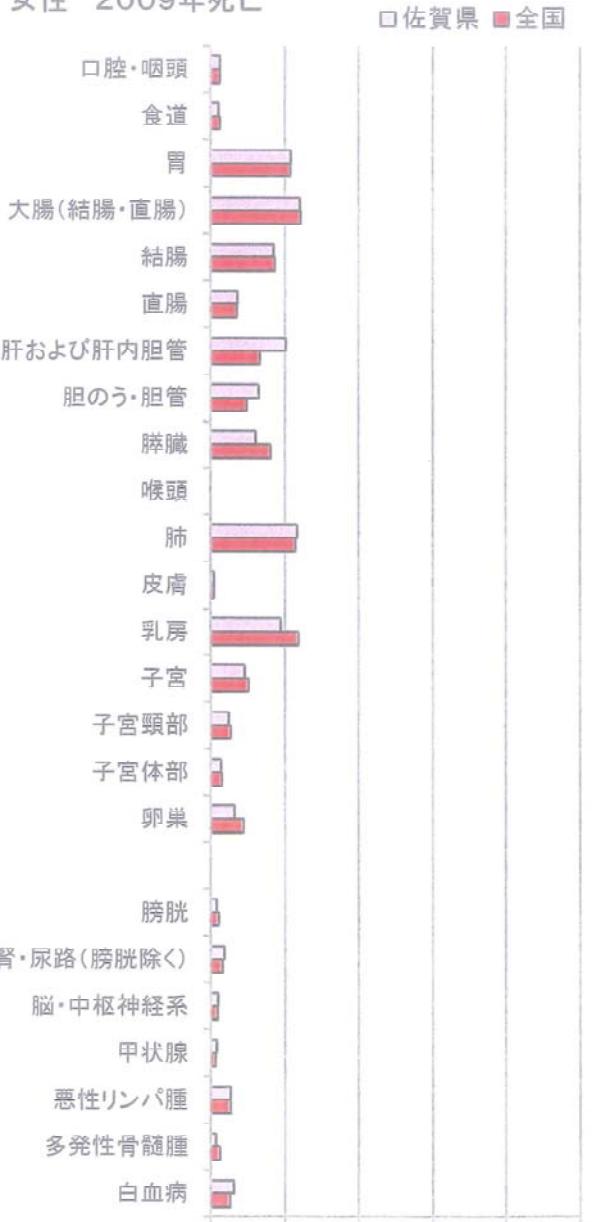
[図13]

図13 部位別がん死亡率内訳(%) (基データ:表9)

男性 2009年死亡



女性 2009年死亡



※全国値=引用:『全国がん罹患モニタリング集計 2009罹患者数・率報告』(国立がん研究センター・がん対策情報センター)の推計値



第Ⅱ章 統計編

Ⅱ-2 年次推移

罹患率と死亡率の年次推移（年齢調整率）

罹患率^{※1}は、年次毎に増加しているように見えるが、がん登録票届出率・収集状況及び集計方法の違いによる影響があるので留意し、「真」の増加傾向と判断するには今後数年の継続観察が必要と思われる。

死亡率^{※2}は、男性では全部位で減少傾向、女性では

横ばいである。部位別では、明らかな減少傾向が観られるのは胃の男女、肝の男性で、その他の部位は男女共にほぼ横ばいか、若干の減少が観られる。[図14]

図14 年齢調整罹患率と死亡率の推移 人口10万対（罹患率：総人口 死亡率：日本人人口）



※1：各年の罹患率・死亡率の出典・引用

(罹患率)

～2005年=「平成24年度佐賀県がん登録年報」値

2006年～=「全国がん罹患モニタリング集計」値

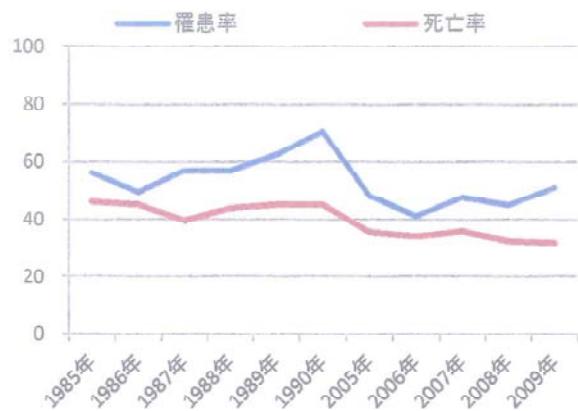
※2009年罹患集計からは標準データベースにより登録・集計しているため、標準集計方法値に合わせた。

(死亡率)

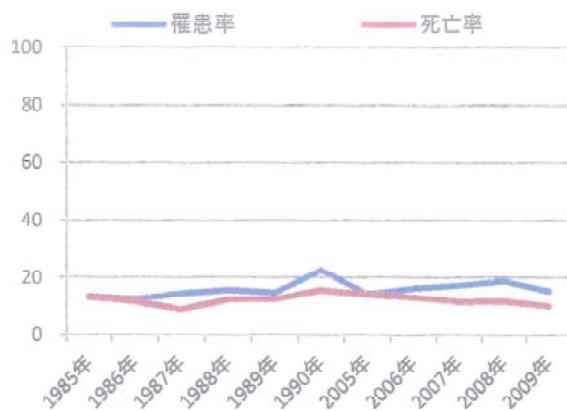
～2004年=「佐賀県保健統計（人口動態統計）」値

2005年～=地域がん登録研究班提供死亡データ

肝：男性



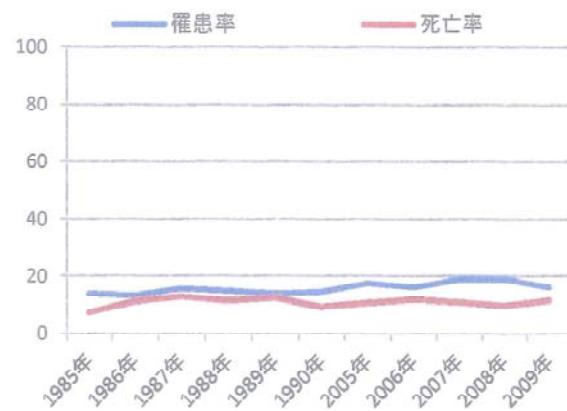
肝：女性



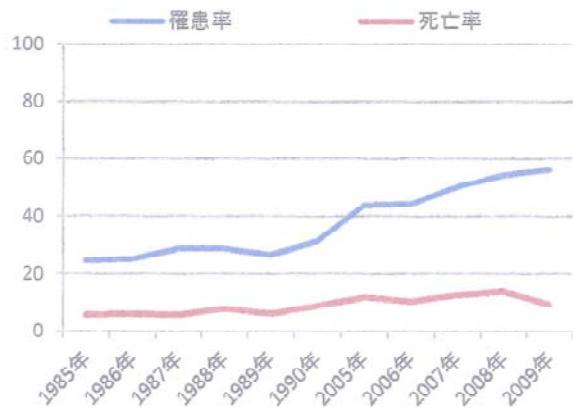
肺：男性



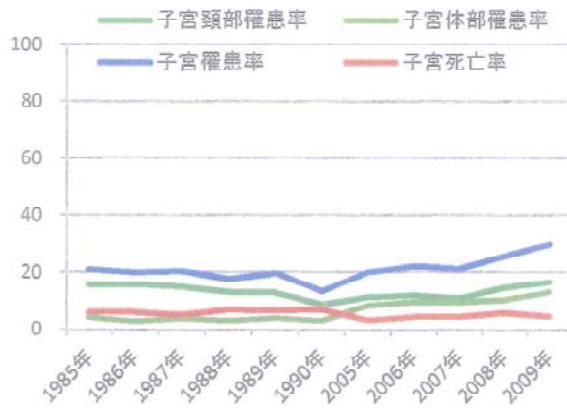
肺：女性



乳房：女性



子宮：女性





第Ⅲ章 集計表

(標準集計表1－A～付表5-B)

- 表 1-A 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)及び累積罹患率(人口100対);部位別、性別(上皮内がんを除く)
- 表 1-B " (上皮内がんを含む)
- 表 2-A 年齢階級別罹患数、罹患割合(%) ; 部位別、性別(上皮内がんを除く)
- 表 2-B " (上皮内がんを含む)
- 表 3-A 年齢階級別罹患率(人口10万対);部位別、性別(上皮内がんを除く)
- 表 3-B " (上皮内がんを含む)
- 表 4-A 発見経緯(%) ; 部位別(上皮内がんを除く)
- 表 4-B " (上皮内がんを含む)
- 表 5-A 臨床進行度分布(%) ; 部位別(上皮内がんを除く)
- 表 5-B " (上皮内がんを含む)
- 表 6-A 受療割合(%) ; 部位別(上皮内がんを除く)
- 表 6-B " (上皮内がんを含む)
- 表 7-A 切除内容(%) ; 部位別(上皮内がんを除く)
- 表 7-B " (上皮内がんを含む)
- 表 8-A 精度指標 ; 部位別、性別(上皮内がんを除く)
- 表 8-A' "
- 表 8-B 精度指標 ; 部位別、性別(上皮内がんを含む)
- 表 8-B' "
- 表 9 死亡数、死亡割合(%)、粗死亡率、年齢調整死亡率(人口10万対)及び累積死亡率(人口100対);部位別、性別
- 表 10 年齢階級別死亡数、死亡割合(%) ; 部位別、性別
- 表 11 年齢階級別死亡率(人口10万対);部位別、性別

(参考資料)

- 付表 1 がん罹患数及び罹患率 ; 詳細部位別、性別
- 付表 2 がん死亡数及び死亡率 ; 詳細部位別、性別
- 付表 3-A 受療割合詳細(%) ; 部位別(上皮内がんを除く)
- 付表 3-B " (上皮内がんを含む)
- 付表 4-A 医療圏別、保健所別罹患数 ; 部位別、性別(上皮内がんを除く)
- 付表 4-B " (上皮内がんを含む)
- 付表 5-A 市区町村別罹患数 ; 部位別、性別(上皮内がんを除く)
- 付表 5-B " (上皮内がんを含む)

表1. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対) 及び累積罹患率(人口100対) ; 部位別、性別
A. 上皮内がんを除く
2009年

部位	ICD-10	罹患数				罹患割合(%)				粗罹患率				年齢調整罹患率				累積罹患率(0-74歳)					
		男		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計	
		全部	C00-C96	3,208	2,271	5,479	100.0	100.0	100.0	798.3	502.8	641.9	445.9	258.2	336.7	316.3	191.9	244.6	36.8	20.7	27.9		
口腔・咽頭	C00-C14	70	32	102	2.2	1.4	1.9	17.4	7.1	12.0	10.9	3.2	6.7	7.9	2.3	4.9	0.9	0.2	0.5				
食道	C15	125	21	146	3.9	0.9	2.7	31.1	4.6	17.1	18.3	1.8	9.3	13.2	1.3	6.8	1.6	0.2	0.8				
胃	C16	608	324	932	19.0	14.3	17.0	151.3	71.7	109.2	83.4	32.4	54.4	59.1	23.0	38.8	7.0	2.6	4.6				
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	415	335	750	12.9	14.8	13.7	103.3	74.2	87.9	59.6	31.8	44.2	42.0	22.7	31.5	5.2	2.5	3.7				
結腸	C18	273	245	518	8.5	10.8	9.5	67.9	54.2	60.7	37.7	22.7	29.2	26.0	16.2	20.5	3.1	1.8	2.4				
直腸	C19-C20	142	90	232	4.4	4.0	4.2	35.3	19.9	27.2	21.9	9.1	15.0	16.0	6.5	10.9	2.1	0.7	1.4				
肝および肝内胆管	C22	368	193	561	11.5	8.5	10.2	91.6	42.7	65.7	51.1	15.3	31.3	36.0	10.1	21.8	4.5	1.2	2.7				
胆のう・胆管	C23-C24	66	112	178	2.1	4.9	3.2	16.4	24.8	20.9	8.5	8.0	8.3	5.9	5.6	5.8	0.7	0.6	0.6				
脾臓	C25	112	83	195	3.5	3.7	3.6	27.9	18.4	22.8	15.8	7.3	11.1	11.3	5.1	7.9	1.3	0.6	0.9				
喉頭	C32	26	2	28	0.8	0.1	0.5	6.5	0.4	3.3	3.8	0.1	1.8	2.9	0.1	1.4	0.4	0.0	0.2				
肺	C33-C34	445	170	615	13.9	7.5	11.2	110.7	37.6	72.1	58.0	16.2	34.1	39.5	11.6	23.7	4.2	1.3	2.7				
皮膚	C43-C44	72	75	147	2.2	3.3	2.7	17.9	16.6	17.2	9.7	6.9	8.1	6.5	5.0	5.6	0.6	0.5	0.6				
乳房	C50	1	335	336	0.0	14.8	6.1	0.2	74.2	39.4	0.1	56.3	29.6	0.1	43.9	23.0	0.0	4.8	2.5				
子宮	C53-C55	-	159	-	7.0	2.9	-	35.2	-	-	29.9	-	-	-	23.5	-	-	2.3	-				
子宮頸部	C53	-	79	79	-	3.5	1.4	-	17.5	-	-	16.5	-	-	13.1	-	-	1.2	-				
子宮体部	C54	-	75	75	-	3.3	1.4	-	16.6	-	-	13.1	-	-	10.2	-	-	1.1	-				
卵巢	C56	-	44	44	-	1.9	0.8	-	9.7	-	-	6.9	-	-	5.4	-	-	0.6	-				
前立腺	C61	433	-	433	13.5	-	7.9	107.7	-	-	55.9	-	-	38.0	-	-	4.9	-	-				
膀胱	C67	88	40	128	2.7	1.8	2.3	21.9	8.9	15.0	11.0	2.8	6.3	7.2	2.0	4.3	0.7	0.2	0.4				
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	98	53	151	3.1	2.3	2.8	24.4	11.7	17.7	14.9	4.8	9.4	11.4	3.4	7.1	1.2	0.4	0.8				
脳・中枢神経系	C70-C72	15	12	27	0.5	0.5	0.5	3.7	2.7	3.2	3.0	1.8	2.4	2.9	1.5	2.2	0.2	0.2	0.2				
甲状腺	C73	11	45	56	0.3	2.0	1.0	2.7	10.0	6.6	1.5	5.9	3.8	1.0	4.3	2.7	0.1	0.5	0.3				
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	86	75	161	2.7	3.3	2.9	21.4	16.6	18.9	12.6	10.3	11.1	9.1	8.7	8.7	1.0	0.9	0.9				
多発性骨髓腫	C88-C90	24	48	0.7	1.1	0.9	6.0	5.3	5.6	3.3	2.1	2.6	2.4	1.4	1.9	0.3	0.2	0.2	0.2				
白血病	C91-C95	76	48	124	2.4	2.3	18.9	10.6	14.5	12.7	5.3	8.7	10.4	4.1	7.0	0.9	0.4	0.6	0.6				

表1. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)及び累積罹患率(人口100対)；部位別、性別
B. 上皮内がんを含む
2009年

部位	ICD-10	罹患数			罹患割合(%)			粗罹患率			年齢調整罹患率			世界人口					
		男		女	男女計	男		女	男女計	男		女	男女計	男		女			
		000-C96 D00-D09	3,408	2,507	5,915	100.0	100.0	100.0	848.1	555.1	693.0	474.1	300.9	371.6	336.2	225.7	271.3		
全部位		135	23	158	4.0	0.9	2.7	33.6	5.1	18.5	19.8	2.1	10.1	14.3	1.5	7.4	1.7	0.2	0.9
食道	C15 D001	511	395	906	15.0	15.8	15.3	127.2	87.5	106.1	74.3	38.8	54.7	52.6	27.9	39.1	6.5	3.2	4.7
大腸(結腸・直腸)*1	C18-D010	340	290	630	10.0	11.6	10.7	84.6	64.2	73.8	48.1	27.7	36.7	33.5	19.8	25.9	4.0	2.3	3.1
結腸*1	C19-C20 D011-D012	171	105	276	5.0	4.2	4.7	42.6	23.2	32.3	26.3	11.2	18.1	19.2	8.1	13.2	2.5	0.9	1.7
直腸	C33-C34 D021-D022	445	170	615	13.1	6.8	10.4	110.7	37.6	72.1	58.0	16.2	34.1	39.5	11.6	23.7	4.2	1.3	2.7
肺	C43-C44 D030-D049	96	97	193	2.8	3.9	3.3	23.9	21.5	22.6	12.5	8.3	10.0	8.3	5.9	6.9	0.8	0.6	0.7
皮膚	C50 D05	1	375	376	0.0	15.0	6.4	0.2	83.0	44.1	0.1	63.4	33.3	0.1	49.2	25.8	0.0	5.4	2.8
乳房	C53-C55 D06	-	254	254	-	10.1	4.3	-	56.2	-	-	55.2	-	-	44.6	-	-	4.1	-
子宮	C53 D06	-	174	174	-	6.9	2.9	-	38.5	-	-	41.8	-	-	34.2	-	-	3.0	-
子宫頸部	C67 D090	147	53	200	4.3	2.1	3.4	36.6	11.7	23.4	18.7	4.1	10.4	12.6	2.9	7.1	1.2	0.3	0.7
膀胱																			

*1 粘膜がんを含む

表2. 年齢階級別罹患数、罹患割合(%) ; 部位別、性別
B. 上皮がんを含む

性別	部位	罹患割合 (%)																			
		10~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	罹患割合 (%)	罹患数割合 (%)	罹患割合 (%)		
男	全部位	G08-C06 001-0049	3 100.0	1 100.0	3 100.0	9 100.0	10 100.0	16 100.0	30 100.0	76 100.0	135 100.0	235 100.0	338 100.0	d14 100.0	5d6 100.0	d40 100.0	d51 100.0	360 100.0	360 100.0		
	食道	C15 0001	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.3	3 3.3	5 6.6	4 7.7	23 6.4	21 4.4	16 2.9	21 3.3	19 3.8	6 1.7		
女	全部位	G08-C06 001-0049	3 100.0	2 100.0	0 0.0	7 100.0	14 100.0	53 100.0	43 100.0	79 100.0	115 100.0	115 100.0	132 100.0	241 100.0	263 100.0	347 100.0	318 100.0	480 100.0	480 100.0		
	食道	C15 0001	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.6	2 0.9	2 0.8	4 1.5	5 1.4	1 0.3	
	大腸(結腸・直腸)*1	G18-C20 0010-0012	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	3 30.0	12 15.8	24 17.8	43 18.3	54 15.1	78 16.5	93 17.0	92 14.4	65 13.0	34 9.4	34 9.4	
	結腸*1	G18 0010	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	2 12.5	6 20.0	14 10.4	25 10.6	32 8.9	48 11.3	46 9.2	27 7.5	27 7.5	
	直腸*1	G19-C20 0011-0012	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	4 13.3	6 7.9	10 7.4	18 7.7	22 6.1	30 6.3	34 6.2	20 3.1	19 3.8	7 1.9
	肺	C13-C24 0021-0022	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 25.0	2 6.7	6 7.9	15 11.1	29 12.3	43 12.0	57 12.0	53 9.7	96 15.0	82 16.4	
	皮膚	C3-C4 0030-0049	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 16.8	1 3.3	0 0.0	6 4.4	6 2.6	3 0.8	7 1.5	13 2.4	22 3.4	18 3.6	17 4.7	
	乳房	G50 0005	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	膀胱	G57 0099	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	4 5.3	1 1.1	4 4.7	18 5.0	15 3.2	13 2.4	32 5.0	35 7.0	17 4.7	
△	子宮頸部	G16-C20 001-0049	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	膀胱	G19-C20 001-0012	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	子宮	G53-55 0006	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 57.1	10 71.4	30 56.6	19 44.2	29 36.7	23 20.0	9 7.8	11 5.7	11 4.9	11 3.3	6 1.2
男女計全部位		G08-C06 001-0049	6 100.0	2 100.0	5 100.0	3 100.0	15 100.0	23 100.0	63 100.0	59 100.0	191 100.0	427 100.0	582 100.0	715 100.0	809 100.0	987 100.0	819 100.0	830 100.0	830 100.0		
△		G15 0001	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7	1 0.9	5 2.6	4 1.6	21 4.9	25 3.2	20 2.5	26 2.6	20 2.4	12 1.4		
△		G18-C20 0010-0012	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 6.3	4 6.3	13 11.9	21 11.0	37 14.8	77 13.0	91 15.6	123 17.2	134 16.6	143 15.5	124 15.1	125 14.7
△		G18 0010	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 6.3	3 5.1	8 7.3	10 5.2	25 10.0	46 10.0	53 10.1	81 11.3	89 11.0	115 11.7	93 11.4	97 11.4
△		G19-C20 0011-0012	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7	5 4.6	11 5.8	12 4.8	31 7.3	32 5.5	42 5.9	45 5.6	38 3.9	31 3.8	28 3.3	
△		G33-C34 0021-0022	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

*1 粘膜がんを含む

表3 年齢階級別罹患率（人口10万対）；部位別、性別

2009年

性別	部位	性別、部位別罹患率（人口10万対）；部位別、性別																	
		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男 全部位	C00-C96 D00-D09	15.3	4.7	12.8	13.8	38.9	39.5	39.5	61.8	128.7	305.7	486.1	710.2	1,227.8	2,049.9	3,516.9	3,834.7	4,418.3	
食道	C15 D001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	4.3	20.1	14.4	54.4	78.9	90.8	78.2	115.4	145.4
大腸（結腸・直腸）*	C18-C20 D010-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	11.6	42.9	48.3	86.4	129.9	185.2	337.3	454.6	505.6	497.5	
結腸 *1	C18 D010	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	7.7	25.7	24.1	50.4	75.5	109.7	207.6	288.4	395.6	352.1	
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	17.2	24.1	36.0	54.4	75.5	129.7	166.2	109.9	
肺	C33-C34 D021-D022	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	8.6	24.1	54.0	87.6	147.5	246.5	259.1	527.5	
皮膚	C43-C44 D030-D049	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	4.3	0.0	21.6	18.1	10.3	30.3	63.5	120.9	
乳房	C50 D05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
膀胱	C67 D090	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
全部位	C90-C96 D00-D09	16.0	4.9	9.1	0.0	32.1	59.1	204.9	160.2	309.3	434.3	392.1	563.3	733.2	870.0	1,007.0	1,332.6	1,447.2	
食道	C15 D001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
大腸（結腸・直腸）*	C18-C20 D010-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	3.7	11.7	34.0	44.3	99.7	121.1	162.4	157.0	
結腸 *1	C18 D010	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	3.7	7.8	15.1	37.5	61.6	88.4	119.1	114.9	
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	18.9	6.8	38.1	
肺	C33-C34 D021-D022	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.7	18.9	13.6	
皮膚	C43-C44 D030-D049	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	3.9	0.0	3.9	7.6	6.8	23.5	9.8	18.0	
乳房	C50 D05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.4	23.2	29.8	97.9	162.4	139.8	176.0	173.5	151.6	
子宮	C53-C55 D06	0.0	0.0	0.0	0.0	18.3	42.2	123.7	78.2	129.2	124.6	68.2	76.3	65.5	57.8	38.3	34.6	31.9	
子宮頸部	C53 D06	0.0	0.0	0.0	0.0	18.3	42.2	116.0	70.8	113.6	86.9	30.7	32.3	36.0	39.7	15.3	11.5	18.2	
膀胱	C67 D090	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6	3.4	8.8	9.8	
男女計 全部位	C90-C96 D00-D09	15.7	4.8	11.1	7.0	35.4	49.5	123.1	111.9	223.2	372.0	437.8	635.6	974.7	1,406.8	1,737.0	2,231.2	2,337.4	2,683.7
食道	C15 D001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	41.9	45.3	42.9
大腸（結腸・直腸）*	C18-C20 D010-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	7.6	26.6	40.9	64.8	114.6	152.4	242.0	287.7	345.9
結腸 *1	C18 D010	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	5.7	16.4	19.5	43.8	68.5	98.8	159.4	191.1	37.9
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	10.2	21.4	21.0	46.1	53.6	82.6	96.6	85.9	394.7
肺	C33-C34 D021-D022	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	33.3	49.1	157.4
皮膚	C43-C44 D030-D049	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.0	5.7	4.1	3.9	14.0	20.8	10.0	23.6	53.7
乳房	C50 D05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	11.7	15.2	51.2	83.8	71.8	89.3	88.8	82.6	63.3
膀胱	C67 D090	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.7	3.5	20.8	35.2	31.5

*1 粘膜がんを含む

表4. 発見経緯(%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	集計対象数	がん検診	健診		他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他・不明 (症状受診を含む)	国内DCOを除く届出患者、男女計 2009年
				人間ドック	2.0				
全部位	C00-C96	5,083	7.1	2.0	11.0	0.1	0.1	79.8	
口腔・咽頭	C00-C14	99	0.0	0.0	10.1	0.0	0.0	89.9	
食道	C15	137	4.4	2.9	8.0	0.0	0.0	84.7	
胃	C16	861	11.7	2.3	8.5	0.1	0.1	77.4	
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	689	5.8	1.9	8.6	0.1	0.1	83.6	
結腸	C18	470	5.7	2.1	9.1	0.2	0.2	82.8	
直腸	C19-C20	219	5.9	1.4	7.3	0.0	0.0	85.4	
肝および肝内胆管	C22	496	0.4	1.2	25.4	0.0	0.0	73.0	
胆のう・胆管	C23-C24	148	0.0	1.4	12.8	0.0	0.0	85.8	
脾臓	C25	171	0.6	0.6	10.5	0.0	0.0	88.3	
喉頭	C32	26	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	92.3	
肺	C33-C34	563	4.6	4.3	11.4	0.2	0.2	79.6	
皮膚	C43-C44	145	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	94.5	
乳房	C50	329	23.4	0.6	7.0	0.0	0.0	69.0	
乳房（女性のみ）	C50	328	23.5	0.6	7.0	0.0	0.0	68.9	
子宮	C53-C55	157	13.4	0.6	5.1	0.0	0.0	80.9	
子宮頸部	C53	78	17.9	1.3	3.8	0.0	0.0	76.9	
子宮体部	C54	74	9.5	0.0	6.8	0.0	0.0	83.8	
卵巢	C56	41	0.0	2.4	9.8	0.0	0.0	87.8	
前立腺	C61	418	19.9	1.9	12.0	0.0	0.0	66.3	
膀胱	C67	123	0.8	3.3	9.8	0.0	0.0	86.2	
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66 C68	141	0.7	4.3	12.8	0.0	0.0	82.3	
脳・中枢神経系	C70-C72	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
甲状腺	C73	55	1.8	1.8	16.4	5.5	5.5	74.5	
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	151	1.3	2.0	10.6	0.0	0.0	86.1	
多発性骨髓腫	C88-C90	44	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	90.9	
白血病	C91-C95	118	0.0	3.4	5.1	0.0	0.0	91.5	

表4. 発見経緯(%) ; 部位別
B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計対象数	がん検診	健診	他疾患の 経過観察中		剖検発見	その他・不明 (症状受診を含む)	国内DCOを除く届出患者、男女計 2009年
					人間ドック	2.0			
全部位	C00-C96 D00-D09	5,519	8.2	2.0	11.2	0.1			78.5
食道	C15 D001	149	4.0	3.4	8.7	0.0			83.9
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	845	8.9	2.4	10.1	0.1			78.6
結腸 *1	C18 D010	582	8.6	2.6	10.7	0.2			78.0
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	263	9.5	1.9	8.7	0.0			79.8
肺	C33-C34 D021-D022	563	4.6	4.3	11.4	0.2			79.6
皮膚	C43-C44 D030-D049	191	0.0	0.0	5.2	0.0			94.8
乳房	C50 D05	369	24.9	0.5	6.5	0.0			68.0
乳房（女性のみ）	C50 D05	368	25.0	0.5	6.5	0.0			67.9
子宮	C53-C55 D06	252	23.8	0.4	7.1	0.0			68.7
子宮頸部	C53 D06	173	30.6	0.6	7.5	0.0			61.3
膀胱	C67 D090	195	1.5	2.1	12.8	0.0			83.6

*1 粘膜がんを含む

表5. 臨床進行度分布 (%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10		集計対象数	限局	所属リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明	17.5
	国内DCOを除く届出患者、男女計	2009年							
全部位	C00-C96	5,083	39.5	7.4	16.4	19.2			
口腔・咽頭	C00-C14	99	45.5	13.1	29.3	4.0			8.1
食道	C15	137	27.0	7.3	32.8	21.9			10.9
胃	C16	861	44.8	8.9	14.3	19.9			12.1
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	689	36.3	16.1	13.6	19.6			14.4
結腸	C18	470	35.7	15.5	15.3	20.9			12.6
直腸	C19-C20	219	37.4	17.4	10.0	16.9			18.3
肝および肝内胆管	C22	496	56.5	1.8	12.5	7.7			21.6
胆のう・胆管	C23-C24	148	10.8	2.7	42.6	27.7			16.2
脾臓	C25	171	6.4	4.1	29.2	45.0			15.2
喉頭	C32	26	65.4	26.9	3.8	0.0			3.8
肺	C33-C34	563	25.0	7.8	15.3	38.0			13.9
皮膚	C43-C44	145	80.7	1.4	9.0	0.7			8.3
乳房	C50	329	52.0	20.7	4.0	6.4			17.0
乳房 (女性のみ)	C50	328	51.8	20.7	4.0	6.4			17.1
子宮	C53-C55	157	46.5	1.9	33.1	11.5			7.0
子宮頸部	C53	78	41.0	2.6	39.7	10.3			6.4
子宮体部	C54	74	55.4	1.4	27.0	12.2			4.1
卵巢	C56	41	12.2	0.0	56.1	17.1			14.6
前立腺	C61	418	50.5	0.0	19.6	14.4			15.6
膀胱	C67	123	54.5	1.6	13.8	8.1			22.0
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	141	51.8	2.8	15.6	13.5			16.3
脳・中枢神経系	C70-C72	25	48.0	0.0	20.0	12.0			20.0
甲状腺	C73	55	56.4	14.5	14.5	7.3			7.3
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	151	17.9	0.7	12.6	56.3			12.6
多発性骨髓腫	C88-C90	44	4.5	0.0	0.0	0.0			95.5
白血病	C91-C95	118	0.0	1.7	3.4	0.0			94.9

表5. 臨床進行度分布 (%) ; 部位別
B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計対象数	上皮内がん	限局	国内DCOを除く届出患者、男女計				2009年
					所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	不明	
全部位	C00-C96 D00-D09	5,519	7.7	36.4	6.8	15.1	17.7	16.3	
食道	C15 D001	149	8.1	24.8	6.7	30.2	20.1	10.1	
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	845	18.3	29.6	13.1	11.1	16.0	11.8	
結腸 *1	C18 D010	582	19.1	28.9	12.5	12.4	16.8	10.3	
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	263	16.7	31.2	14.4	8.4	14.1	15.2	
肺	C33-C34 D021-D022	563	0.0	25.0	7.8	15.3	38.0	13.9	
皮膚	C43-C44 D030-D049	191	24.1	61.3	1.0	6.8	0.5	6.3	
乳房	C50 D05	369	9.5	46.3	18.4	3.5	5.7	16.5	
乳房（女性のみ）	C50 D05	368	9.5	46.2	18.5	3.5	5.7	16.6	
子宮	C53-C55 D06	252	37.7	29.0	1.2	20.6	7.1	4.4	
子宮頸部	C53 D06	173	54.9	18.5	1.2	17.9	4.6	2.9	
膀胱	C67 D090	195	34.9	34.4	1.0	8.7	5.1	15.9	

*1 粘膜がんを含む

表6. 受療割合(%) ; 部位別 *1
A. 上皮内がんを除く

部位	CD-10	集計対象数	国内DCOを除く届出患者、男女計			2009年
			外科・体腔鏡的治療	放射線療法	化学・免疫・内分泌療法	
全部位	C00-C96	5,083	48.5	9.8	36.1	25.5
口腔・咽頭	C00-C14	99	51.5	39.4	45.5	17.2
食道	C15	137	42.3	36.5	52.6	20.4
胃	C16	861	67.5	0.3	24.2	23.3
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	689	77.2	1.5	28.0	19.3
結腸	C18	470	78.3	0.4	27.4	17.7
直腸	C19-C20	219	74.9	3.7	29.2	22.8
肝および肝内胆管	C22	496	18.3	1.4	29.8	35.3
胆のう・胆管	C23-C24	148	39.2	1.4	29.7	38.5
脾臓	C25	171	24.6	9.4	42.7	41.5
喉頭	C26	23.1	50.0	46.2	3.8	3.8
肺	C33-C34	563	29.8	19.4	42.8	30.9
皮膚	C43-C44	145	91.0	3.4	4.8	7.6
乳房	C50	329	68.4	23.7	51.1	18.2
乳房(女性のみ)	C50	328	68.3	23.8	51.2	18.3
子宮	C53-C55	157	58.6	28.7	37.6	15.3
子宮頸部	C53	78	42.3	51.3	42.3	12.8
子宮体部	C54	74	79.7	6.8	35.1	12.2
卵巣	C56	41	65.9	0.0	61.0	24.4
前立腺	C61	418	24.2	8.1	51.4	24.9
膀胱	C67	123	64.2	10.6	32.5	27.6
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	141	65.2	4.3	12.1	27.0
脳・中枢神経系	C70-C72	25	56.0	72.0	52.0	20.0
甲状腺	C73	55	67.3	3.6	21.8	27.3
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	151	9.9	14.6	65.6	21.9
多発性骨髓腫	C88-C90	44	0.0	9.1	54.5	43.2
白血病	C91-C95	118	0.0	0.8	72.9	26.3

*1 重複を含むため合計は100%にならない

表6. 受療割合(%) ; 部位別 *1
B. 上皮内がんを含む

国内DC0を除く届出患者、男女計 2009年

部位	ICD-10	集計対象数	外科・体腔鏡 内視鏡的治療	放射線療法	化学・免疫・ 内分泌療法	特異療法な までは 治療方法不明
全部位	C00-C96 D00-D09	5,519	51.8	9.3	34.3	23.9
食道	C15 D001	149	45.6	33.6	48.3	19.5
大腸（結腸・直腸）*2	C18-C20 D010-D012	845	81.1	1.2	22.8	16.1
結腸 *2	C18 D010	582	82.0	0.3	22.2	14.8
直腸 *2	C19-C20 D011-D012	263	79.1	3.0	24.3	19.0
肺	C33-C34 D021-D022	563	29.8	19.4	42.8	30.9
皮膚	C43-C44 D030-D049	191	92.1	2.6	3.7	5.8
乳房	C50 D05	369	68.8	24.4	48.5	17.9
乳房（女性のみ）	C50 D05	368	68.8	24.5	48.6	17.9
子宮	C53-C55 D06	252	69.0	18.3	23.8	14.3
子宮頸部	C53 D06	173	66.5	23.7	19.7	12.7
膀胱	C67 D090	195	73.3	6.7	40.0	19.5

*1 重複を含むため合計は100%にならない

*2 粘膜がんを含む

表7. 切除内容(%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	国内DCOを除く届出患者、男女計					
		完全切除 内視鏡治療数	不完全切除	治癒度不明	姑息・対症 転移巣切除	不明	3.5
全部位	C00-C96	2,463	82.9	8.2	0.9	4.5	3.5
口腔・咽頭	C00-C14	51	76.5	13.7	2.0	3.9	3.9
食道	C15	58	75.9	8.6	1.7	10.3	3.4
胃	C16	581	86.1	7.2	0.2	3.4	3.1
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	532	83.1	10.0	0.4	5.1	1.5
結腸	C18	368	83.2	11.1	0.3	4.1	1.4
直腸	C19-C20	164	82.9	7.3	0.6	7.3	1.8
肝および肝内胆管	C22	91	80.2	8.8	3.3	3.3	4.4
胆のう・胆管	C23-C24	58	60.3	8.6	0.0	25.9	5.2
脾臓	C25	42	61.9	11.9	0.0	19.0	7.1
喉頭	C32	6	50.0	0.0	0.0	33.3	16.7
肺	C33-C34	168	91.1	1.8	0.0	4.2	3.0
皮膚	C43-C44	132	93.2	1.5	0.0	0.0	5.3
乳房	C50	225	90.7	3.6	0.4	0.4	4.9
乳房(女性のみ)	C50	224	90.6	3.6	0.4	0.4	4.9
子宮	C53-C55	92	95.7	2.2	1.1	0.0	1.1
子宮頸部	C53	33	97.0	3.0	0.0	0.0	0.0
子宮体部	C54	59	94.9	1.7	1.7	0.0	1.7
卵巣	C56	27	81.5	7.4	7.4	3.7	0.0
前立腺	C61	101	75.2	9.9	4.0	1.0	9.9
膀胱	C67	79	65.8	25.3	1.3	2.5	5.1
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	92	84.8	12.0	1.1	0.0	2.2
脳・中枢神経系	C70-C72	14	14.3	21.4	7.1	57.1	0.0
甲状腺	C73	37	83.8	13.5	0.0	0.0	2.7
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	15	46.7	33.3	6.7	0.0	0.0
多発性骨髓腫	C88-C90	0
白血病	C91-C95	0

表7. 切除内容（%）；部位別
B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	外科・体腔鏡 内視鏡治療数	国内DC0を除く届出患者、男女計				不明
			完全切除	不完全切除	治癒度不明	姑息・対症 転移巣切除	
全部位	C00-C96 D00-D09	2,858	84.1	7.3	1.0	4.0	3.5
食道	C15 D001	68	79.4	7.4	1.5	8.8	2.9
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	685	85.5	7.9	0.9	3.9	1.8
結腸 *1	C18 D010	477	86.0	8.6	1.0	3.1	1.3
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	208	84.6	6.3	0.5	5.8	2.9
肺	C33-C34 D021-D022	168	91.1	1.8	0.0	4.2	3.0
皮膚	C43-C44 D030-D049	176	92.6	1.1	0.6	0.0	5.7
乳房	C50 D05	254	91.3	3.1	0.4	0.4	4.7
乳房（女性のみ）	C50 D05	253	91.3	3.2	0.4	0.4	4.7
子宮	C53-C55 D06	174	94.8	2.3	0.6	0.0	2.3
子宮頸部	C53 D06	115	94.8	2.6	0.0	0.0	2.6
膀胱	C67 D090	143	72.0	16.1	1.4	4.2	6.3

*1 粘膜がんを含む

表8. 溝度指標；部位別、性別
A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	罹患／死亡比 (IM比)		死亡情報で初めて 把握された症例 DGN (%)		死亡情報のみの 症例 DGN (%)		国際 DCN (%)		病理学的裏付けの ある症例 MV (%)		組織学的裏付けの ある症例 HV (%)								
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計				
全部位	C00-C96	2.09	2.05	19.6	25.3	22.0	6.2	8.6	7.2	6.0	8.0	6.8	78.7	74.8	77.1	74.2	71.4	73.0		
口腔・咽頭	C00-C14	3.18	2.00	2.68	8.6	6.3	7.8	4.3	0.0	2.9	4.3	0.0	2.9	91.4	96.9	93.1	87.1	96.9	90.2	
食道	C15	1.79	1.62	1.76	13.6	33.3	16.4	4.0	19.0	6.2	4.0	19.0	6.2	92.8	61.9	88.4	92.0	57.1	87.0	
胃	C16	2.42	2.42	2.42	20.4	27.2	22.7	6.9	9.0	7.6	6.7	8.0	7.2	87.5	84.3	86.4	86.5	83.6	85.5	
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	2.77	2.13	2.44	15.7	28.7	21.5	5.8	11.0	8.1	5.3	11.0	7.9	87.5	78.5	83.5	87.0	77.9	82.9	
結腸	C18	2.87	2.08	2.43	17.2	29.8	23.2	7.0	11.8	9.3	6.2	11.3	8.9	84.2	78.0	81.3	83.5	77.6	80.7	
直腸	C19-C20	2.58	2.31	2.47	12.7	25.6	17.7	3.5	8.9	5.6	3.5	8.9	5.6	93.7	80.0	88.4	93.7	78.9	87.9	
肝および肝内胆管	C22	1.50	1.35	1.45	34.8	49.2	39.8	10.3	14.0	11.6	10.3	14.0	11.6	31.3	19.2	27.1	30.2	19.2	26.4	
胆のう・胆管	C23-C24	1.25	1.12	1.16	30.3	47.3	41.0	12.1	19.6	16.9	12.1	19.6	16.9	62.1	36.6	46.1	48.5	29.5	36.5	
脾臓	C25	1.12	1.06	1.10	36.6	42.2	39.0	10.7	14.5	12.3	10.7	14.5	12.3	42.9	32.5	38.5	33.9	27.7	31.3	
喉頭	C32	4.33	...	4.67	7.7	0	7.1	7.7	0	7.1	7.7	0	7.1	92.3	100.0	92.9	92.3	100.0	92.9	
肺	C33-C34	1.34	1.19	1.29	24.9	34.1	27.5	6.7	12.9	8.5	6.5	11.2	7.8	79.8	74.1	78.2	62.5	56.5	60.8	
皮膚	C43-C44	10.29	15.00	12.25	1.4	2.7	2.0	0.0	2.7	1.4	0.0	1.3	0.7	98.6	98.7	98.6	98.6	98.7	98.6	
⑤ 乳房	C50	1.00	4.72	4.67	0.0	8.4	8.3	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	100.0	94.3	94.3	100.0	93.4	93.5	
子宮	C53-C55	-	3.61	-	6.9	6.9	-	1.3	1.3	-	1.3	1.3	-	96.2	96.2	-	94.3	94.3	-	
子宮頸部	C53	-	4.16	4.16	-	3.8	3.8	-	1.3	1.3	-	1.3	1.3	-	98.7	98.7	-	96.2	96.2	-
子宮体部	C54	-	5.36	5.36	-	4.0	4.0	-	1.3	1.3	-	1.3	1.3	-	98.7	98.7	-	97.3	97.3	-
卵巣	C56	-	1.76	1.76	-	20.5	20.5	-	6.8	6.8	-	6.8	6.8	-	84.1	84.1	-	81.8	81.8	-
前立腺	C61	5.77	-	5.77	7.4	-	7.4	3.5	-	3.5	-	3.5	-	89.1	-	89.1	-	88.9	-	
膀胱	C67	3.52	2.11	2.91	9.1	30.0	15.6	2.3	7.5	3.9	2.3	7.5	3.9	87.5	62.5	79.7	85.2	60.0	77.3	
腎・尿路（膀胱除<）	C64-C66 C68	2.72	1.96	2.40	15.3	22.6	17.9	4.1	11.3	6.6	4.1	11.3	6.6	76.5	69.8	74.2	73.5	62.3	69.5	
脳・中枢神経系	C70-C72	1.25	3.00	1.69	20.0	25.0	22.2	6.7	8.3	7.4	6.7	0.0	3.7	86.7	91.7	88.9	86.7	91.7	88.9	
甲状腺	C73	11.00	3.75	4.31	0.0	13.3	10.7	0.0	2.2	1.8	0.0	2.2	1.8	100.0	83.9	91.1	63.6	77.8	75.0	
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	1.95	2.08	2.01	16.3	28.0	21.7	4.7	8.0	6.2	3.5	6.7	5.0	93.0	86.7	90.1	89.5	85.3	87.6	
多発性骨髓腫	C88-C90	1.60	2.00	1.78	29.2	25.0	27.1	12.5	4.2	8.3	12.5	4.2	8.3	75.0	83.3	79.2	66.7	83.3	75.0	
白血病	C91-C95	1.58	1.50	1.55	23.7	6.3	16.9	5.3	4.2	4.8	1.3	0.0	0.8	98.7	100.0	99.2	84.2	85.4	84.7	

表8. 溝度指標；部位別、性別
A'. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	死亡情報で初めて 把握された症例 DCO (%)						国際 ICD (%)						病理学的裏付けの ある症例 W (%)					
		死亡情報のみの 把握された症例 DCO (%)			男女計			男 女 男女計			男 女 男女計			男 女 男女計			男 女 男女計		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	C00-C96	19.6	25.3	22.0	6.2	8.6	7.2	6.0	8.0	6.8	78.7	74.8	77.1	74.2	71.4	73.0			
口腔・咽頭	C00-C14	8.6	6.3	7.8	4.3	0.0	2.9	4.3	0.0	2.9	91.4	96.9	93.1	87.1	96.9	90.2			
食道	C15	13.6	33.3	16.4	4.0	19.0	6.2	4.0	19.0	6.2	92.8	61.9	88.4	92.0	57.1	87.0			
胃	C16	20.4	27.2	22.7	6.9	9.0	7.6	6.7	8.0	7.2	87.5	84.3	86.4	86.5	83.6	85.5			
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	15.7	28.7	21.5	5.8	11.0	8.1	5.3	11.0	7.9	87.5	78.5	83.5	87.0	77.9	82.9			
結腸	C18	17.2	29.8	23.2	7.0	11.8	9.3	6.2	11.8	8.9	84.2	78.0	81.3	83.5	77.6	80.7			
直腸	C19-C20	12.7	25.6	17.7	3.5	8.9	5.6	3.5	8.9	5.6	93.7	80.0	88.4	93.7	78.9	87.9			
肝および肝内胆管	C22	34.8	49.2	39.8	10.3	14.0	11.6	10.3	14.0	11.6	31.3	19.2	27.1	30.2	19.2	26.4			
胆のう・胆管	C23-C24	30.3	47.3	41.0	12.1	19.6	16.9	12.1	19.6	16.9	62.1	36.6	46.1	48.5	29.5	36.5			
脾臓	C25	36.6	42.2	39.0	10.7	14.5	12.3	10.7	14.5	12.3	42.9	32.5	38.5	33.9	27.7	31.3			
喉頭	C32	7.7	0.0	7.1	7.7	0.0	7.1	7.7	0.0	7.1	92.3	100.0	92.9	92.3	100.0	92.9			
肺	C33-C34	24.9	34.1	27.5	6.7	12.9	8.5	6.5	11.2	7.8	79.8	74.1	78.2	62.5	56.5	60.8			
皮膚	C43-C44	1.4	2.7	2.0	0.0	2.7	1.4	0.0	1.3	0.7	98.6	98.7	98.6	98.6	98.7	98.6			
乳房	C50	0.0	8.4	8.3	0.0	2.1	2.1	0.0	2.1	2.1	100.0	94.3	94.3	100.0	93.4	93.5			
① 子宮	C53-C55	-	6.9	6.9	-	1.3	-	1.3	1.3	-	96.2	96.2	-	94.3	94.3				
子宮頸部	C53	-	3.8	3.8	-	1.3	-	1.3	1.3	-	98.7	98.7	-	96.2	96.2				
子宮体部	C54	-	4.0	4.0	-	1.3	-	1.3	1.3	-	98.7	98.7	-	97.3	97.3				
卵巣	C56	-	20.5	20.5	-	6.8	-	6.8	6.8	-	84.1	84.1	-	81.8	81.8				
前立腺	C61	7.4	-	7.4	3.5	-	3.5	3.5	-	3.5	89.1	-	89.1	88.9	-	88.9			
膀胱	C67	9.1	30.0	15.6	2.3	7.5	3.9	2.3	7.5	3.9	87.5	62.5	79.7	85.2	60.0	77.3			
腎・尿路（膀胱除<）	C64-C66 C68	15.3	22.6	17.9	4.1	11.3	6.6	4.1	11.3	6.6	76.5	69.8	74.2	73.5	62.3	69.5			
脳・中枢神経系	C70-C72	20.0	25.0	22.2	6.7	8.3	7.4	6.7	0.0	3.7	86.7	91.7	88.9	86.7	91.7	88.9			
甲状腺	C73	0.0	13.3	10.7	0.0	2.2	1.8	0.0	2.2	1.8	100.0	88.9	91.1	63.6	77.8	75.0			
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	16.3	28.0	21.7	4.7	8.0	6.2	3.5	6.7	5.0	93.0	86.7	90.1	89.5	85.3	87.6			
多発性骨髓腫	C88-C90	29.2	25.0	27.1	12.5	4.2	8.3	12.5	4.2	8.3	75.0	83.3	79.2	66.7	83.3	75.0			
白血病	C91-C95	23.7	6.3	16.9	5.3	4.2	4.8	1.3	0.0	0.8	98.7	100.0	99.2	84.2	85.4	84.7			

表8. 精度指標；部位別、性別
B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	罹患／死亡比 (IM比)			死亡情報で初めて 把握された症例 DCM (%)			死亡情報のみの 症例 DCO (%)			国際 DC0 (%)			病理学的裏付けの ある症例 MW (%)			組織学的裏付けの ある症例 HV (%)		
		男 女 男女計			男 女 男女計			男 女 男女計			男 女 男女計			男 女 男女計			男 女 男女計		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	C00-C96 D00-D09	2.22	2.21	2.22	18.5	23.0	20.4	5.9	7.8	6.7	5.6	7.3	6.3	79.9	77.2	78.8	75.7	74.1	75.0
食道	C15 D001	1.93	1.77	1.90	12.6	30.4	15.2	3.7	17.4	5.7	3.7	17.4	5.7	93.3	65.2	89.2	92.6	60.9	88.0
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	3.41	2.52	2.95	12.7	24.3	17.8	4.7	9.4	6.7	4.3	9.4	6.5	89.8	81.8	86.3	89.4	81.3	85.9
結腸 *1	C18 D010	3.58	2.46	2.96	13.8	25.2	19.0	5.6	10.0	7.6	5.0	10.0	7.3	87.4	81.4	84.6	86.8	81.0	84.1
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	3.11	2.69	2.94	10.5	21.9	14.9	2.9	7.6	4.7	2.9	7.6	4.7	94.7	82.9	90.2	94.7	81.9	89.9
肺	C33-C34 D021-D022	1.34	1.19	1.29	24.9	34.1	27.5	6.7	12.9	8.5	6.5	11.2	7.8	79.8	74.1	78.2	62.5	56.5	60.8
皮膚	C43-C44 D030-D049	13.71	19.40	16.08	1.0	3.1	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	1.0	0.5	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0
乳房	C50 D05	1.00	5.28	5.22	0.0	7.5	7.4	0.0	1.9	0.0	1.9	1.9	1.9	100.0	94.9	94.9	100.0	94.1	94.1
子宮	C53-C55 D06	-	5.77	5.77	-	4.3	4.3	-	0.8	0.8	-	0.8	0.8	-	97.6	97.6	-	96.5	96.5
子宮頸部	C53 D06	-	9.16	9.16	-	1.7	1.7	-	0.6	0.6	-	0.6	0.6	-	99.4	99.4	-	98.3	98.3
膀胱	C67 D090	5.88	2.79	4.55	5.4	22.6	10.0	1.4	5.7	2.5	1.4	5.7	2.5	92.5	71.7	87.0	91.2	69.8	85.5

*1 粘膜がんを含む

表8. 精度指標；部位別、性別
B'. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	死亡情報で初めて把握された症例 DGN (%)			死因情報のみの症例 DCO (%)			病理学的裏付けのある症例 MW (%)			組織学的裏付けのある症例 HV (%)		
		男 女 男女計			男 女 男女計			男 女 男女計			男 女 男女計		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	C00-C96 D00-D09	18.5	23.0	20.4	5.9	7.8	6.7	5.6	7.3	6.3	79.9	77.2	78.8
食道	C15 D001	12.6	30.4	15.2	3.7	17.4	5.7	3.7	17.4	5.7	93.3	65.2	89.2
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	12.7	24.3	17.8	4.7	9.4	6.7	4.3	9.4	6.5	89.8	81.8	86.3
結腸 *1	C18 D010	13.8	25.2	19.0	5.6	10.0	7.6	5.0	10.0	7.3	87.4	81.4	84.6
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	10.5	21.9	14.9	2.9	7.6	4.7	2.9	7.6	4.7	94.7	82.9	90.2
肺	C33-C34 D021-D022	24.9	34.1	27.5	6.7	12.9	8.5	6.5	11.2	7.8	79.8	74.1	78.2
皮膚	C43-C44 D030-D049	1.0	3.1	2.1	0.0	2.1	1.0	0.0	1.0	0.5	99.0	99.0	99.0
乳房	C50 D05	0.0	7.5	7.4	0.0	1.9	1.9	0.0	1.9	1.9	100.0	94.9	94.9
子宮	C53-C55 D06	-	4.3	4.3	-	0.8	0.8	-	0.8	0.8	-	97.6	97.6
子宮頸部	C53 D06	-	1.7	1.7	-	0.6	0.6	-	0.6	0.6	-	99.4	99.4
膀胱	C67 D090	5.4	22.6	10.0	1.4	5.7	2.5	1.4	5.7	2.5	92.5	71.7	87.0

*1 粘膜がんを含む

2009年

表9. 死亡数、死亡割合(%)、粗死亡率、年齢調整死亡率(人口10万対)及び累積死亡率(人口10万対)；部位別、性別

部位	ICD-10	年齢調整死亡率												累積死亡率(0~74歳)					
		死亡割合(%)						粗死亡率						日本人口			世界人口		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	C00-C97	1,535	1,133	2,668	100.0	100.0	100.0	382.0	250.9	312.6	197.9	92.4	137.4	136.3	64.5	95.6	15.0	6.6	10.5
口腔・咽頭	C00-C14	22	16	38	1.4	1.4	1.4	5.5	3.5	4.5	3.1	1.2	2.0	2.1	0.8	1.4	0.3	0.1	0.2
食道	C15	70	13	83	4.6	1.1	3.1	17.4	2.9	9.7	10.4	1.0	5.3	7.5	0.7	3.9	0.9	0.1	0.5
胃	C16	251	134	385	16.4	11.8	14.4	62.5	29.7	45.1	31.8	10.8	19.5	22.3	7.8	13.9	2.5	0.8	1.6
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	150	157	307	9.8	13.9	11.5	37.3	34.8	36.0	19.5	12.0	15.3	13.2	8.3	10.5	1.5	0.8	1.1
結腸	C18	95	118	213	6.2	10.4	8.0	23.6	26.1	25.0	12.0	8.4	10.0	8.1	5.8	6.8	0.9	0.5	0.7
直腸	C19-C20	55	39	94	3.6	3.4	3.5	13.7	8.6	11.0	7.6	3.5	5.3	5.1	2.5	3.7	0.6	0.3	0.4
肝および肝内胆管	C22	245	143	388	16.0	12.6	14.5	61.0	31.7	45.5	31.8	10.1	19.7	21.8	6.5	13.3	2.6	0.7	1.6
胆のう・胆管	C23-C24	53	100	153	3.5	8.8	5.7	13.2	22.1	17.9	6.5	6.4	6.6	4.4	4.4	4.5	0.4	0.4	0.4
脾臓	C25	100	78	178	6.5	6.9	6.7	24.9	17.3	20.9	13.9	5.9	9.6	10.0	4.0	6.8	1.3	0.5	0.8
喉頭	C32	6	0	6	0.4	0.0	0.2	1.5	0.0	0.7	0.8	0.0	0.3	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
肺	C33-C34	333	143	476	21.7	12.6	17.8	82.9	31.7	55.8	40.7	11.6	23.6	27.0	7.9	15.9	2.8	0.8	1.7
皮膚	C49-C44	7	5	12	0.5	0.4	0.4	1.7	1.1	1.4	1.1	0.4	0.7	0.9	0.3	0.6	0.1	0.0	0.0
乳房	C50	1	71	72	0.1	6.3	2.7	0.2	15.7	8.4	0.1	9.4	5.1	0.1	7.0	3.8	0.0	0.8	0.4
○ 子宮頸部	C53-C55	-	44	44	-	3.9	1.6	-	9.7	-	-	4.5	-	-	3.2	-	-	0.3	-
子宮体部	C53	-	19	19	-	1.7	0.7	-	4.2	-	-	2.4	-	-	1.8	-	-	0.2	-
卵巣	C54	-	14	14	-	1.2	0.5	-	3.1	-	-	1.4	-	-	0.9	-	-	0.1	-
前立腺	C56	-	25	25	-	2.2	0.9	-	5.5	-	-	3.1	-	-	2.3	-	-	0.3	-
膀胱	C61	75	-	75	4.9	-	2.8	18.7	-	-	8.3	-	-	5.4	-	-	0.5	-	-
腎・尿路(膀胱除<)	C64-C66 C68	36	27	63	2.3	2.4	2.4	9.0	6.0	7.4	4.8	1.7	3.1	3.3	1.2	2.2	0.4	0.1	0.3
脳・中枢神経系	C70-C72	12	4	16	0.8	0.4	0.6	3.0	0.9	1.9	2.4	0.9	1.6	2.0	0.8	1.4	0.2	0.1	0.1
甲状腺	C73	1	12	13	0.1	1.1	0.5	0.2	2.7	1.5	0.1	0.7	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	44	36	80	2.9	3.2	3.0	10.9	8.0	9.4	6.1	2.6	4.2	4.5	1.7	3.0	0.4	0.2	0.3
多発性骨髓腫	C88-C90	15	12	27	1.0	1.1	1.0	3.7	2.7	3.2	1.7	0.7	1.1	1.1	0.4	0.7	0.1	0.0	0.1
白血病	C91-C95	48	32	80	3.1	2.8	3.0	11.9	7.1	9.4	6.2	3.0	4.4	4.2	2.1	3.0	0.4	0.3	0.3

付表1. がん罹患数及び罹患率； 詳細部位別、性別

2009年

部位	ICD-10	国際疾病分類										年齢調整罹患率										累積罹患率(0-74歳)				
		罹患数				割合(%)				粗罹患率				日本人口			世界人口									
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	
上咽内がん																										
全部位	000-D09	200	236	436	6.2	10.4	8.0	49.8	52.3	51.1	28.2	42.7	34.9	26.0	33.8	26.6	2.3	3.3	2.8							
口腔、食道および咽	000	11	3	14	0.3	0.1	0.3	2.7	0.7	1.6	1.7	0.4	1.0	1.2	0.3	0.7	0.2	0.1	0.1							
食道	0001	10	2	12	0.3	0.1	0.2	2.5	0.4	1.4	1.5	0.3	0.6	1.1	0.2	0.6	0.1	0.0	0.1							
その他および部位不明の消化器	001	96	60	156	3.0	2.6	2.8	23.9	13.3	18.3	14.7	7.0	10.5	10.7	5.1	7.7	1.3	0.7	1.0							
結腸	0010	67	45	112	2.1	2.0	2.0	16.7	10.0	13.1	10.3	5.0	7.5	7.5	3.6	5.4	0.9	0.5	0.7							
直腸5次細部行部	0011	6	2	8	0.2	0.1	0.1	1.5	0.4	0.9	1.0	0.3	0.6	0.8	0.2	0.5	0.1	0.0	0.1							
直腸	0012	23	13	36	0.7	0.6	0.7	5.7	2.9	4.2	3.3	1.7	2.4	2.5	1.3	1.8	0.3	0.2	0.2							
中耳および呼吸器系	002	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
気管	0021	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
気管支および肺	0022	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
上皮内乳頭状	003	2	2	4	0.1	0.1	0.1	0.5	0.4	0.5	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0							
皮膚のその他	004	22	20	42	0.7	0.9	0.8	5.5	4.4	4.9	2.5	1.2	1.7	1.6	0.8	1.1	0.1	0.1	0.1							
乳房	005	0	40	40	0.0	1.8	0.7	0.0	6.9	4.7	0.0	7.0	3.7	0.0	5.4	2.8	0.0	0.6	0.3							
子宮頸部	006	-	95	95	-	4.2	1.7	-	21.0	11.1	-	25.3	13.0	-	21.1	10.8	-	1.8	0.9							
その他および部位不明の膀胱	007	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0							
その他および部位不明	009	68	16	84	2.1	0.7	1.5	16.9	3.5	9.8	9.0	1.5	4.7	6.1	1.0	3.2	0.6	0.1	0.4							
膀胱	0090	59	13	72	1.8	0.6	1.3	14.7	2.9	8.4	7.8	1.3	4.1	5.3	0.9	2.8	0.5	0.1	0.3							
良性腫瘍																										
結膜	032	6	19	25	0.2	0.8	0.5	1.5	4.2	2.9	1.2	2.3	1.8	1.0	1.7	1.4	0.1	0.2	0.2							
脳および中枢神経系	033	3	1	4	0.1	0.0	0.1	0.7	0.2	0.5	0.8	0.1	0.4	0.6	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0							
下垂体、顎蓋咽頭管、松果体	0352-0354	10	10	20	0.3	0.4	0.4	2.5	2.2	2.3	1.8	2.6	2.2	1.3	2.3	1.8	0.2	0.2	0.2							
性状不明または部位不明の腫瘍																										
脳膜	042	0	2	2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0	0.4	0.2	0.0	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0							
脳および中枢神経系	043	12	10	22	0.4	0.4	0.4	3.0	2.2	2.6	2.3	0.8	1.5	2.2	0.5	1.4	0.2	0.0	0.1							
下垂体、顎蓋咽頭管、松果体	0443-0445	3	0	3	0.1	0.0	0.1	0.7	0.0	0.4	0.4	0.0	0.2	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0							
真正赤血球增多症	045	3	3	6	0.1	0.1	0.1	0.7	0.7	0.7	0.6	0.4	0.5	0.5	0.2	0.3	0.1	0.0	0.0							
骨髓異形成症候群	046	29	21	50	0.9	0.9	0.9	7.2	4.6	5.9	3.4	2.1	2.5	2.1	1.6	1.8	0.2	0.1	0.2							
慢性骨髄増殖性疾患	047	5	3	8	0.2	0.1	0.1	1.2	0.7	0.9	0.8	0.6	0.7	0.6	0.5	0.5	0.1	0.0	0.0							

*1 ICD-0-3により性状3に分類される形態

付表2. がん死亡数及び死亡率； 詳細部位別、性別

2009年

部位	国際疾病 分類 ICD-10	年齢調整死亡率						累積死亡率(0-74歳)								
		死亡数			割合(%)			粗死亡率			日本人口			世界人口		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
良性腫瘍																
脳膜	D32	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳脊髄および中枢神経系	D33	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他および部位不明の内分泌疾患	D35	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性状不詳または不明の腫瘍																
腫瘍	D42	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肺および呼吸器系	D43	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内分泌	D44	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
真正赤血球增多症	D45	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨髓異形成症候群	D46	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
リンパ組織、造血組織および間葉組織	D47	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

付表3. 受療割合詳細 (%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

国内DC0を除く届出患者、男女計
2009年

部位	ICD-10	集計対象数	単独療法										併用療法 *1	不明	
			外科	体腔鏡	内視鏡	放射線	化学	免疫	内分泌	切除放射線	切除薬物	薬物+放射線	薬物 *2		
全部位	C00-C96	5,083	22.3	4.1	4.3	2.3	9.9	0.0	3.6	0.9	12.9	4.4	0.2	1.8	7.7
口腔・咽頭	C00-C14	99	24.2	0.0	0.0	3.0	2.0	0.0	0.0	5.1	12.1	20.2	0.0	9.1	7.1
食道	C15	137	11.7	0.0	11.7	1.5	6.6	0.0	0.0	0.0	10.9	26.3	0.0	6.6	4.4
胃	C16	861	25.0	7.8	17.3	0.0	8.6	0.0	0.0	0.0	15.0	0.2	0.0	0.1	2.7
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	689	34.4	11.9	3.9	0.1	3.3	0.0	0.0	0.1	23.1	0.0	0.0	1.2	2.6
結腸	C18	470	36.2	13.4	3.4	0.2	3.8	0.0	0.0	0.2	23.0	0.0	0.0	0.0	2.1
直腸	C19-C20	219	30.6	8.7	5.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	23.3	0.0	0.0	0.0	17.7
肝および肝内胆管	C22	496	10.7	1.2	0.0	0.4	6.7	0.0	0.4	0.2	1.4	0.0	0.0	0.0	22.8
胆のう・胆管	C23-C24	148	8.8	3.4	5.4	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0	12.8	0.0	0.0	0.0	19.3
脾臓	C25	171	10.5	0.0	0.6	0.0	23.4	0.0	0.0	0.0	8.2	6.4	0.0	1.2	3.7
喉頭	C32	26	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.3	0.0	3.8	35.3
肺	C33-C34	563	12.8	4.8	0.2	5.7	17.9	0.0	0.0	0.2	8.9	11.5	0.2	1.2	21.6
皮膚	C43-C44	145	86.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.1	1.4	0.0	1.4	41.5
乳房	C50	329	18.8	0.0	0.0	7.3	2.4	0.0	0.6	4.6	35.3	2.1	0.9	9.7	3.8
⑥ 乳房（女性のみ）	C50	328	18.6	0.0	0.0	7.3	2.4	0.0	0.6	4.6	35.4	2.1	0.9	9.8	30.9
子宮	C53-C55	157	33.8	0.6	0.0	7.0	1.3	0.0	0.6	3.8	18.5	15.9	0.0	1.3	0.0
子宮頸部	C53	78	28.2	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0	0.0	3.8	7.7	32.1	0.0	2.6	1.3
子宮体部	C54	74	41.9	1.4	0.0	2.7	2.7	0.0	1.4	4.1	31.1	0.0	0.0	0.0	12.2
卵巢	C56	41	14.6	0.0	0.0	0.0	9.8	0.0	0.0	0.0	51.2	0.0	0.0	0.0	15.3
前立腺	C61	418	19.9	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	42.8	0.2	2.9	3.6	0.5	0.7	1.0
膀胱	C67	123	17.1	0.0	12.2	3.3	2.4	0.8	0.0	3.3	24.4	0.8	0.0	2.4	24.9
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66 C68	141	44.0	12.8	0.0	2.8	0.7	0.0	0.7	7.8	0.7	0.0	0.0	0.7	27.0
脳・中枢神経系	C70-C72	25	8.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0	20.0	0.0	32.0	0.0
甲状腺	C73	55	47.3	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	16.4	0.0	0.0	1.8	27.3
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	151	3.3	0.0	0.0	6.6	49.7	0.0	0.0	5.3	6.6	2.0	1.3	3.3	21.9
多発性骨髓腫	C88-C90	44	0.0	0.0	0.0	2.3	45.5	0.0	0.0	0.0	6.8	2.3	0.0	0.0	43.2
白血病	C91-C95	118	0.0	0.0	0.0	0.0	68.6	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	26.3

*1 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫・内分泌療法を指す。

*2 化学・免疫・内分泌療法のいずれかの併用

*3 単独療法及び併用療法のいずれかの併用

付表3. 受療割合詳細 (%) ; 部位別
B. 上皮内がんを含む

国内DC0を除く届出患者、男女計
2009年

部位	ICD-10	集計対象数	単独療法										併用療法 *2			
			外科	体腔鏡	内視鏡	放射線	化学	免疫	内分泌	切除+放射線	切除+薬物	薬物+放射線	薬物 *3	切除+放射線+薬物	その他*4	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	5,519	24.2	4.0	6.1	2.2	9.1	0.1	3.4	0.9	12.8	4.0	0.2	1.8	7.2	23.9
食道	C15 D001	149	12.8	0.0	15.4	1.3	6.0	0.0	0.0	0.0	10.1	24.2	0.0	6.0	4.7	19.5
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	845	32.8	10.9	15.0	0.1	2.7	0.0	0.0	0.1	18.8	0.0	0.0	0.9	2.5	16.1
結腸 *1	C18 D010	582	34.2	12.4	14.8	0.2	3.1	0.0	0.0	0.2	18.6	0.0	0.0	0.0	1.9	14.8
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	263	29.7	7.6	15.6	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	19.4	0.0	0.0	0.0	3.8	19.0
肺	C33-C34 D021-D022	563	12.8	4.8	0.2	5.7	17.9	0.0	0.0	0.2	8.9	11.5	0.2	1.2	5.7	30.9
皮膚	C43-C44 D030-D049	191	89.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.6	1.0	0.0	1.0	1.0	5.8
乳房	C50 D05	369	20.9	0.0	0.0	7.9	2.2	0.0	0.5	4.9	33.3	1.9	0.8	9.8	0.0	17.9
乳房（女性のみ）	C50 D05	368	20.7	0.0	0.0	7.9	2.2	0.0	0.5	4.9	33.4	1.9	0.8	9.8	0.0	17.9
子宮	C53-C55 D06	252	52.8	0.4	0.0	4.8	0.8	0.0	0.4	2.4	11.9	9.9	0.0	0.8	1.6	14.3
子宮頸部	C53 D06	173	59.0	0.0	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	1.7	4.0	14.5	0.0	1.2	1.2	12.7
膀胱	C67 D090	195	19.5	0.0	14.4	2.1	1.5	2.6	0.0	2.1	32.8	0.5	0.0	1.5	3.6	19.5

*1 粘膜がんを含む

*2 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫療法・内分泌療法を指す。

*3 化学、免疫、内分泌療法のいずれかの併用

*4 単独療法及び併用療法のいずれの項目にも含まれないものを指す (1) その他の治療 (TAE、PEITなど) の実施 (2) 外科、体腔鏡、内視鏡的療法のいずれかの併用

付表4. 医療圈別、保健所別罹患数；
A 上皮内がんを除く 部位別、性別

2009年

医療圏/保健所	全治癒600-C96		胃 C16		大腸(腺・粘膜) C18-C20		結腸 C18		直腸 C19-C20		肝臓 C22		肺 C33-C34		乳癌 C50		子宮 C53-C55		子宮体部 C56		子宮頸部 C53		前立腺 C61										
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男								
佐賀県	3,208	2,271	5,479	608	324	932	415	335	750	273	245	518	142	90	236	193	561	445	170	615	1	335	336	159	79	75	433						
中部	1,322	—	940	2,262	253	122	305	179	140	319	122	106	228	57	34	167	91	167	95	262	181	72	—	253	—	0	146	62	33	173			
東部	348	261	609	52	25	77	35	33	73	25	29	54	10	9	19	46	29	75	54	18	72	0	37	37	19	5	5	13	46	13	13		
北部	546	380	926	109	65	174	79	52	131	51	35	85	28	17	45	48	25	73	68	30	98	1	53	54	28	15	15	13	70	13	13		
西部	272	199	471	53	27	80	33	27	60	19	21	40	14	6	20	26	16	40	41	13	54	0	38	38	15	6	6	7	40	7	7		
南部	718	491	1,209	141	85	226	89	74	167	56	56	110	33	24	57	31	30	111	101	37	138	0	59	59	35	20	20	13	104	13	13		
県内医療圏不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥栖	348	261	609	52	25	77	35	33	73	25	29	54	10	9	19	46	29	75	54	18	72	0	37	37	19	5	5	13	46	13	13		
唐津	546	380	926	109	65	174	79	52	131	51	35	86	28	17	45	48	25	73	68	30	98	1	53	54	28	15	15	13	70	13	13		
伊万里	272	199	471	53	27	80	33	27	60	19	21	40	14	6	20	26	14	40	41	13	54	0	38	38	15	6	6	7	40	7	7		
佐賀中部	1,372	940	2,262	253	172	375	179	140	319	122	106	228	57	34	91	167	95	262	181	72	253	0	146	146	62	33	33	29	173	29	29		
杵島	718	491	1,209	141	85	226	89	74	167	56	54	110	33	24	57	31	30	111	101	37	138	0	59	59	35	20	20	13	104	13	13		
県内保健所不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

付表4. 医療圈別、保健所別罹患数；部位別、性別
B. 上皮内がんを含む

医療圏/保健所	全部位		大腸(結腸・直腸)		結腸		直腸		肺		乳房		子宮	
	C00-C96 D01-D09		C18-C20 D010-D012 *1		C18 D010 *1		C19-C20 D011-D012 *1		C33-C34 D021-D022		350 D05		C53-C55 D06	
	男女	男女計	男女	男女計	男女	男女計	男女	男女計	男女	男女計	男女	男女計	男女	男女
佐賀県	3,408	2,507	5,915	511	395	906	340	290	630	171	105	276	445	170
中部	1,408	1,051	2,459	222	165	387	154	126	280	68	39	107	181	72
東部	359	286	645	41	44	85	30	34	64	11	10	21	54	18
北部	578	409	987	89	57	146	56	38	94	33	19	52	68	30
西部	291	214	505	39	37	76	25	29	54	14	8	22	41	13
南部	772	547	1,319	120	92	212	75	63	138	45	29	74	101	37
県内医療圏不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥栖	359	286	645	41	44	85	30	34	64	11	10	21	54	18
唐津	578	409	987	89	57	146	56	38	94	33	19	52	68	30
伊万里	291	214	505	39	37	76	25	29	54	14	8	22	41	13
佐賀中部	1,408	1,051	2,459	222	165	387	154	126	280	68	39	107	181	72
杵島	772	547	1,319	120	92	212	75	63	138	45	29	74	101	37
県内保健所不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎ *1 粘膜がんを含む

付表5. 市区町村別罹患数、部位別、性別
A. 上皮内がんを除く

2009年

市区町村	全部位 C00-C96		胃 C16		大腸(直腸・結腸) C18-C20		結腸 C18		直腸 C19-C20		肝臓 C22		肺 C33-C34		乳房 C50		男女合計		男		女		男女合計		子宮 C53-C55		子宮頸部 C53		子宮体部 C54		子宮女		前立腺 C61	
	男	女	男女合計	男	女	男女合計	男	女	男女合計	男	女	男女合計	男	女	男女合計	男	女	男女合計	男	女	男女合計	男	女	男女合計	男	女	男女合計	男	女					
佐賀県	3,708	2,211	5,479	608	324	932	415	335	750	217	91	76	167	26	22	50	99	55	154	120	42	162	0	101	141	40	19	-	-	116				
佐賀市	647	368	1,015	157	76	231	119	93	217	91	76	167	35	47	44	47	24	71	66	29	95	1	52	53	23	15	12	66	56					
唐津市	526	372	898	104	64	168	74	52	126	47	35	82	27	17	3	22	3	5	8	26	14	40	28	12	0	22	12	8	3	3	27			
鳥栖市	176	135	313	24	10	34	14	16	30	11	11	22	11	22	2	2	4	11	7	18	12	40	0	22	12	0	0	0	0	0	0			
多久市	30	74	164	21	14	35	8	19	16	6	8	14	2	2	4	11	7	13	0	9	9	9	0	9	9	3	2	2	1	6	6			
伊万里市	192	145	337	33	22	55	27	17	64	18	13	31	9	4	13	21	11	32	24	9	33	0	23	29	10	10	3	3	5	30				
武雄市	224	150	374	48	27	75	26	27	55	19	16	37	9	9	18	16	7	25	33	12	45	0	23	33	14	9	9	6	6	30				
鹿島市	131	93	224	20	12	32	18	19	37	8	11	19	10	4	13	26	9	35	13	11	24	0	8	8	3	2	2	0	0	13				
小城市	182	107	289	37	14	51	24	16	40	9	11	20	15	5	20	17	9	26	23	11	34	0	19	19	7	4	4	3	3	34				
嬉野市	114	72	166	20	16	36	14	11	25	10	9	19	4	2	6	14	3	17	21	4	25	0	10	10	1	1	0	0	0	16				
神埼市	145	98	243	30	16	46	21	9	30	11	6	17	10	3	13	26	15	41	14	6	20	0	14	14	4	6	6	6	4	14				
神崎町吉野ヶ里町	58	43	101	8	4	12	7	7	14	5	5	10	2	2	4	14	9	23	12	6	18	0	5	5	2	0	0	2	3	3				
三養基郡東畠町	59	41	100	11	2	13	7	8	15	3	7	10	4	1	5	6	4	10	10	2	12	0	8	8	2	0	0	2	2	3				
三養基郡上峰町	20	12	32	4	9	4	1	2	3	1	1	2	0	1	1	3	1	3	6	7	4	1	5	9	2	2	2	1	0	0				
三養基郡みやま町	91	73	164	13	13	76	12	25	46	10	20	3	2	5	11	7	18	12	3	15	0	5	5	8	2	2	5	5	16					
東松浦郡玄海町	27	8	30	5	1	6	5	0	5	4	0	4	1	0	1	1	1	1	2	2	1	3	0	1	1	0	0	0	0	4	4			
西松浦郡由田町	90	54	134	20	5	25	6	10	16	1	8	9	5	2	7	5	3	8	17	4	21	0	9	9	5	3	3	2	2	9				
杵築郡大村町	34	23	57	8	6	14	6	3	9	5	2	7	1	1	2	3	1	4	7	0	7	0	4	4	3	1	2	2	6					
杵築郡江北町	44	25	69	8	3	11	6	2	8	3	2	5	3	0	3	5	1	6	6	2	3	0	4	4	2	2	2	2	5					
杵築郡白石町	126	101	227	28	17	45	12	11	23	8	8	16	4	3	7	11	9	20	16	7	23	0	6	6	7	4	3	3	24					
薩摩郡さきだ町	45	27	72	9	4	13	5	5	10	3	4	7	2	1	3	4	0	4	5	1	6	0	4	4	3	1	1	1	4					
県内市町村未定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

付表5. 市区町村別罹患数；部位別、性別
B. 上皮内がんを含む

市区町村	全部位				大腸(結腸・直腸)				結腸				直腸				肺				乳房				子宮			
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	
佐賀県	3,408	2,507	5,915	511	395	906	340	290	630	171	105	276	445	170	615	1	375	376	254	174	116	116	0	116	116	69	50	
佐賀市	905	689	1,594	151	113	264	112	86	198	39	27	66	120	42	162	0	116	116	69	50	56	57	1	56	57	41	29	
唐津市	555	401	956	84	57	141	52	38	90	32	19	51	66	29	95	1	56	57	41	29	11	11	0	28	28	28	6	
鳥栖市	185	148	333	17	19	36	13	13	26	4	6	10	28	12	40	0	28	28	28	28	11	11	0	10	10	10	5	
多久市	92	81	173	9	13	22	7	11	18	2	2	4	12	7	19	0	10	10	10	10	5	5	5	5	5	5	4	
伊万里市	207	154	361	30	23	53	21	18	39	9	5	14	24	9	33	0	30	30	30	30	10	10	10	10	10	10	3	
武雄市	247	168	415	43	31	74	28	20	48	15	11	26	33	12	45	0	26	26	26	26	22	22	22	22	22	22	17	
鹿島市	135	103	238	22	23	45	10	14	24	12	9	21	13	11	24	0	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	7	
小城市	198	126	324	30	21	51	15	16	31	15	5	20	23	11	34	0	20	20	20	20	16	16	16	16	16	16	13	
嬉野市	128	83	211	20	14	34	14	12	26	6	2	8	21	4	25	0	10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	
神埼市	153	107	260	24	11	35	14	8	22	10	3	13	14	6	20	0	17	17	17	17	13	13	13	13	13	13	9	
神埼郡吉野ヶ里町	60	48	108	8	7	15	6	5	11	2	2	4	12	6	18	0	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	3	
三養基郡基山町	59	43	102	7	8	15	3	7	10	4	1	5	10	2	12	0	9	9	9	9	2	2	2	2	2	2	0	
三養基郡上峰町	21	15	36	1	4	5	1	3	4	0	1	1	4	1	5	0	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	
三養基郡みやき町	94	80	174	16	13	29	13	11	24	3	2	5	12	3	15	0	6	6	6	6	11	11	11	11	11	11	5	
東松浦郡玄海町	23	8	31	5	0	5	4	0	4	1	0	1	2	1	3	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
西松浦郡有田町	84	60	144	9	14	23	4	11	15	5	3	8	17	4	21	0	10	10	10	10	6	6	6	6	6	6	4	
杵島郡大町町	37	25	62	7	4	11	5	2	7	2	2	4	7	0	7	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	
杵島郡江北町	45	26	71	6	2	8	3	2	5	3	0	3	6	2	8	0	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	3	
杵島郡白石町	131	110	241	15	12	27	10	9	19	5	3	8	16	7	23	0	7	7	7	7	10	10	10	10	10	10	7	
藤津郡太良町	49	32	81	7	6	13	5	4	9	2	2	4	5	1	6	0	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	3	
県内市区町村不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

*1 粘膜がんを含む

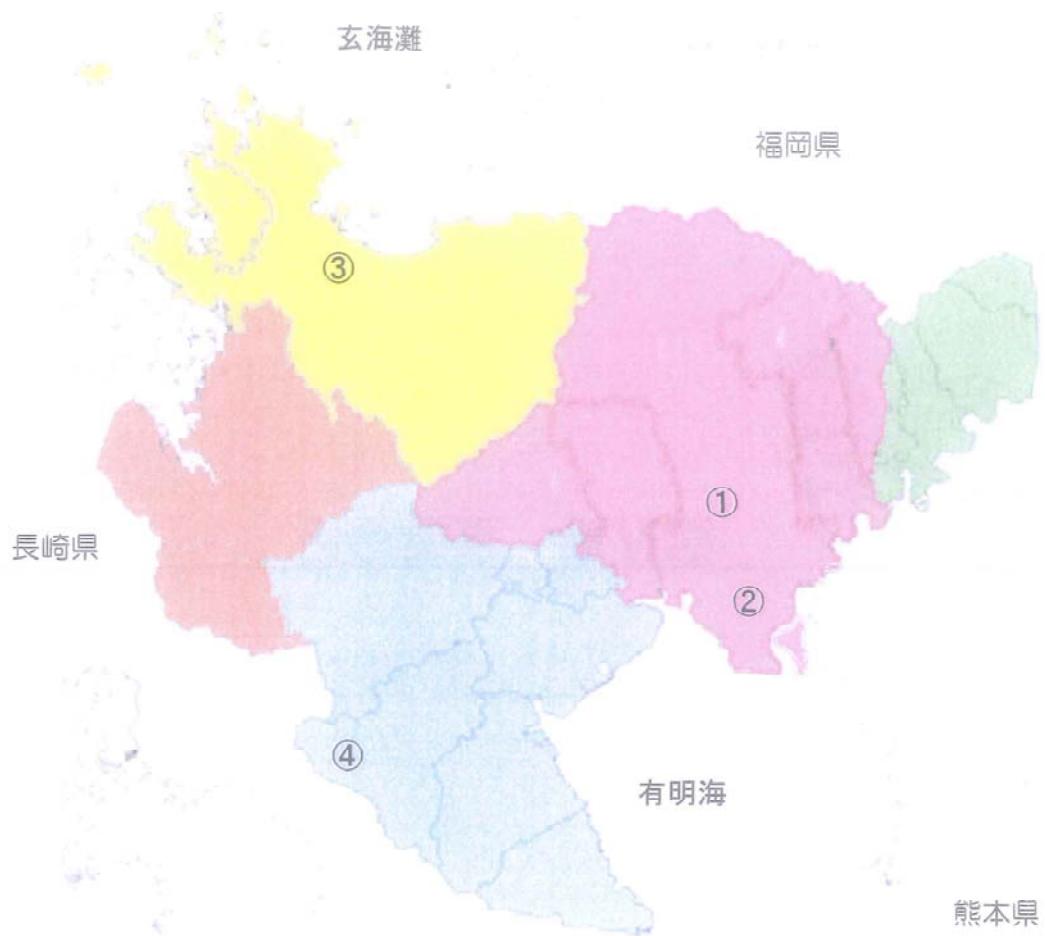


第IV章 事業報告

佐賀県の二次医療圏とがん診療連携拠点病院

佐賀県では5つの医療圏に区分されているが、がん患者が居住する医療圏とは別の医療圏で受診される医療流入出傾向が観られる。

がん診療連携拠点病院は、県内に全4施設あり、中部に2施設、北部と南部に各1施設あるが、東部・西部には拠点病院が無く、がん医療の整備が課題である。



がん診療連携拠点病院(2014年3月現在)

- ① 佐賀大学医学附属病院(都道府県がん診療連携拠点病院)
- ② 佐賀県医療センター好生館
- ③ 唐津赤十字病院
- ④ 嬉野医療センター

医療圏の概況(2012.10.1現在)

二次医療圏 (保健所圏)	面積 (km ²)	人口※1			病院数		一般 診療所	人口10万対施設数		がん診療 連携拠点 病院
		人口 総数	人口割合 (%)	人口密度 (人)	総数	一般 病院		病院	一般 診療所	
中部(佐賀中部)	793.15	350,973	41.6	442.5	39	34	316	11.1	90.0	2
東部(鳥栖)	158.53	123,589	14.7	779.6	14	12	99	11.3	80.1	-
北部(唐津)	523.49	131,754	15.6	251.7	18	15	104	13.7	78.9	1
西部(伊万里)	320.82	77,103	9.1	240.3	12	10	60	15.6	77.8	-
南部(杵藤)	643.66	160,086	19.0	248.7	25	23	114	15.6	71.2	1
県計	2,439.65	843,505	100.0	345.7	108	94	693	12.8	82.2	4

面積・人口等出典:「平成24年度版佐賀県統計年鑑」(佐賀県経営支援本部 統計調査課)

※1:「佐賀県人口移動調査」による、外国人を含む

病院数等情報提供:「佐賀県二次医療圏 平成24年」(佐賀県健康福祉本部 医務課保健統計担当)

年次別各種登録（票）情報の受領・収集状況

登録票 年次	自主 届出票	遡り 調査票	採録票	県間 移送票	計	備考：情報収集の概況・背景
1973年	不明	—	—	—	不明	・「佐賀県新生物調査」開始。集計記録不明(他機関で登録の為)
1978年	271	—	—	—	271	
1979年	233	—	—	—	233	
1980年	117	—	—	—	117	
1981年	329	—	1,091	—	1,420	・がん登録室移転(佐賀医科大学研究室内)、県内外公的医療機関でカルテ採録開始
1982年	734	—	3,602	3	4,339	佐賀医科大学附属病院から届出開始に伴う届出件数増加
1983年	872	—	2,758	—	3,630	
1984年	1,586	—	4,311	—	5,897	・「佐賀県がん登録事業」へ移行(1984/8~)
1985年	2,499	1,681	1,375	72	5,627	・「がん死亡者実態値調査」(佐賀県実施)及び「遡り調査」(補充票)開始
1986年	2,969	551	2,245	176	5,941	
1987年	2,739	195	157	501	3,592	
1988年	2,967	77	474	523	4,041	
1989年	3,533	854	184	390	4,961	
1990年	2,880	429	429	415	4,153	
1991年	2,765	669	469	235	4,138	
1992年	2,943	107	0	500	3,550	・がん登録室移転(総合保健協会内)
1993年	3,283	38	213	553	4,087	
1994年	2,800	810	10	185	3,805	
1995年	3,308	785	291	183	4,567	・がん登録室移転(佐賀医科大学研究室内)：病院カルテ採録再開
1996年	3,120	780	562	289	4,751	
1997年	2,855	742	1,982	731	6,310	
1998年	2,627	1,595	1,960	533	6,715	
1999年	3,419	1,830	726	94	6,069	
2000年	3,972	1,408	558	100	6,038	・がん登録室移転(総合保健協会内)
2001年	3,530	753	778	94	5,155	・がん登録室移転(佐賀医科大学研究室内)
2002年	5,444	190	131	124	5,889	
2003年	5,031	842	0	112	5,985	・がん登録室移転(総合保健協会内)
2004年	4,141	845	514	82	5,582	
2005年	5,345	654	542	217	6,758	
2006年	5,311	2,912	769	115	9,107	がん診療連携拠点病院標準登録様式による院内がん登録開始(2006/01/1症例)
2007年	5,150	1,289	289	183	6,911	
2008年	8,553	1,083	664	162	10,462	
2009年	7,334	427	9	438	8,208	
2010年	8,008	1,908	508	215	10,639	
2011年	7,884	1,263	0	413	9,560	・地域がん登録標準D B S導入、標準様式(届出票)に変更※
2012年	6,909	50	227	22	7,208	・標準DBS導入作業等により、遡り調査実施は休止
2013年	7,042	0	254	460	7,756	・標準DBSによるデータ提出等の為、遡り調査実施は休止
過去10年間 平均	6,568	1,043	378	231	8,219	・2004年～2013年間の平均
拠点病院開始 以降平均	7,024	1,117	340	251	8,731	・2006年～2013年間の平均

注:標準様式では、届出票提出において再入院・再発時届出が不要の為、2011年以降自主届出件数が減少しているが、県外医療機関からの直接届出提出が増加している。

*所在地区＝届出医療機関が所在する地区
※届出＝医療機関自主届出

所在地区	届出年	医療機関種別	届出機関数		罹患者住所別届出件数(保健所管内別)				合計	
			佐賀	鳥栖	唐津	伊万里	杵灘	合計		
福島県	2009年	公的医療機関	1	3	1	35	770	7	866	
		一般医療機関	4		1	86	794	7	891	
	2010年	公的医療機関	5	3	1	83	626	5	718	
		一般医療機関	1	3		86	632	5	85	
宮崎県	2011年	公的医療機関	3	3		84	712	5	804	
		一般医療機関	1	3	2	94	712	2	813	
	2012年	公的医療機関	2	3	1	172	174	1	174	
		一般医療機関	3	4	2	95	884	2	987	
鹿児島県	2013年	公的医療機関	1	5	3	86	632	4	730	
		一般医療機関	1	2	0	86	485	2	104	
	2014年	公的医療機関	1	3	0	86	736	5	835	
		一般医療機関	3	4	0	134	811	2	950	
平均届出数 / 年			3	4	0	1	97	799	4	
2013年										

※届出症例数＝再(発)入院及び重複届出(複数機関での受取症例)を多く含みます。

所在地区	届出年	医療機関種別	届出機関数		罹患者住所別届出件数(保健所管内別)				合計	
			佐賀	鳥栖	唐津	伊万里	杵灘	合計		
福岡県	2009年	公的医療機関	1	3	1	35	770	7	866	
		一般医療機関	4		1	86	794	7	891	
	2010年	公的医療機関	5	3	1	83	626	5	718	
		一般医療機関	1	3		86	632	5	85	
大分県	2011年	公的医療機関	3	3		84	712	5	804	
		一般医療機関	1	3	2	94	712	2	813	
	2012年	公的医療機関	2	3	1	172	174	1	174	
		一般医療機関	3	4	2	95	884	2	987	
熊本県	2013年	公的医療機関	1	5	3	86	632	4	730	
		一般医療機関	1	2	0	86	485	2	104	
	2014年	公的医療機関	2	5	0	86	736	5	835	
		一般医療機関	1	3	0	134	811	2	950	
平均届出数 / 年			3	4	0	1	97	799	4	
2014年										

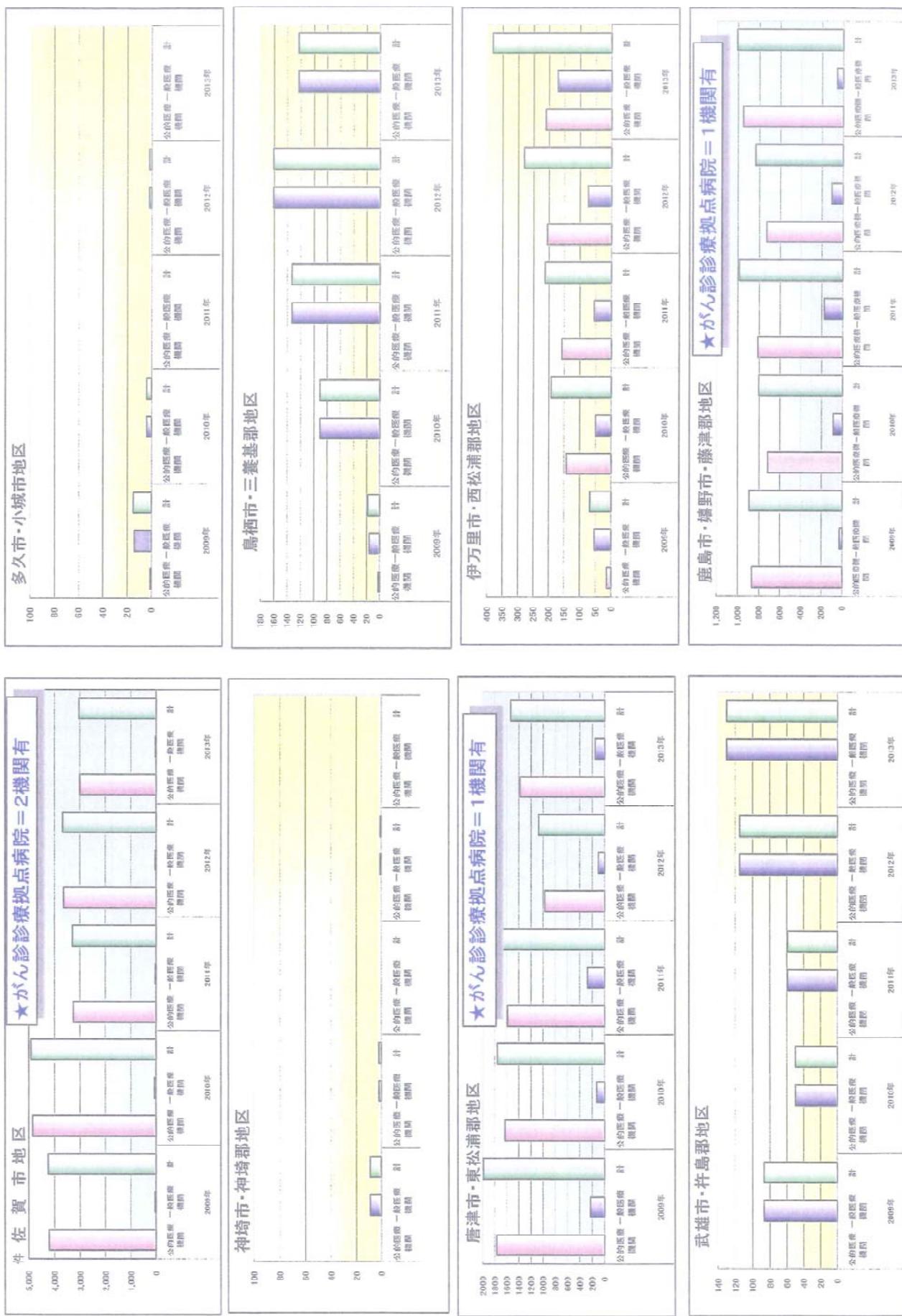
※届出症例数＝再(発)入院及び重複届出(複数機関での受取症例)を多く含みます。

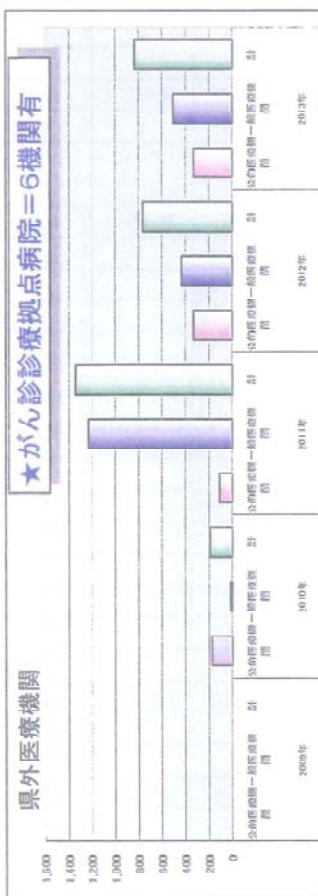
届出年	県内・県外	種 別	罹患者住所別届出件数(保健所管内別)				合計	
			公的医療機関	一般医療機関	年間数の割合%	合計		
佐賀県	2009年	公的医療機関	0	0	0	0	0	
		一般医療機関	0	0	0	0	0	
	2010年	公的医療機関	5	39	15	82	177	
		一般医療機関	1		1	83	14	
長崎県	2011年	公的医療機関	6	39	15	82	151	
		一般医療機関	4	20	16	51	150	
	2012年	公的医療機関	7	153	348	138	1,233	
		一般医療機関	3	23	9	32	330	
大分県	2013年	公的医療機関	10	194	464	94	503	
		一般医療機関	32	689	1,659	423	833	
	2014年	公的医療機関	6	138	332	85	626	
		一般医療機関						
平均届出数 / 年			5	1	202	7	228	
2013年県内・県外医療機関別・患者住所別届出件数(保健所管内別)								

(注1)佐賀県内医療機関改=698機関(佐賀県立厚生局管内)登録へ直接提出：福岡県=9機関、長崎県=1機関

(注2)県外自主届出機関(佐賀県地域から登録へ直接提出)その他、他の県からは各県地域が登録を通じて届出票提供者(別集計)

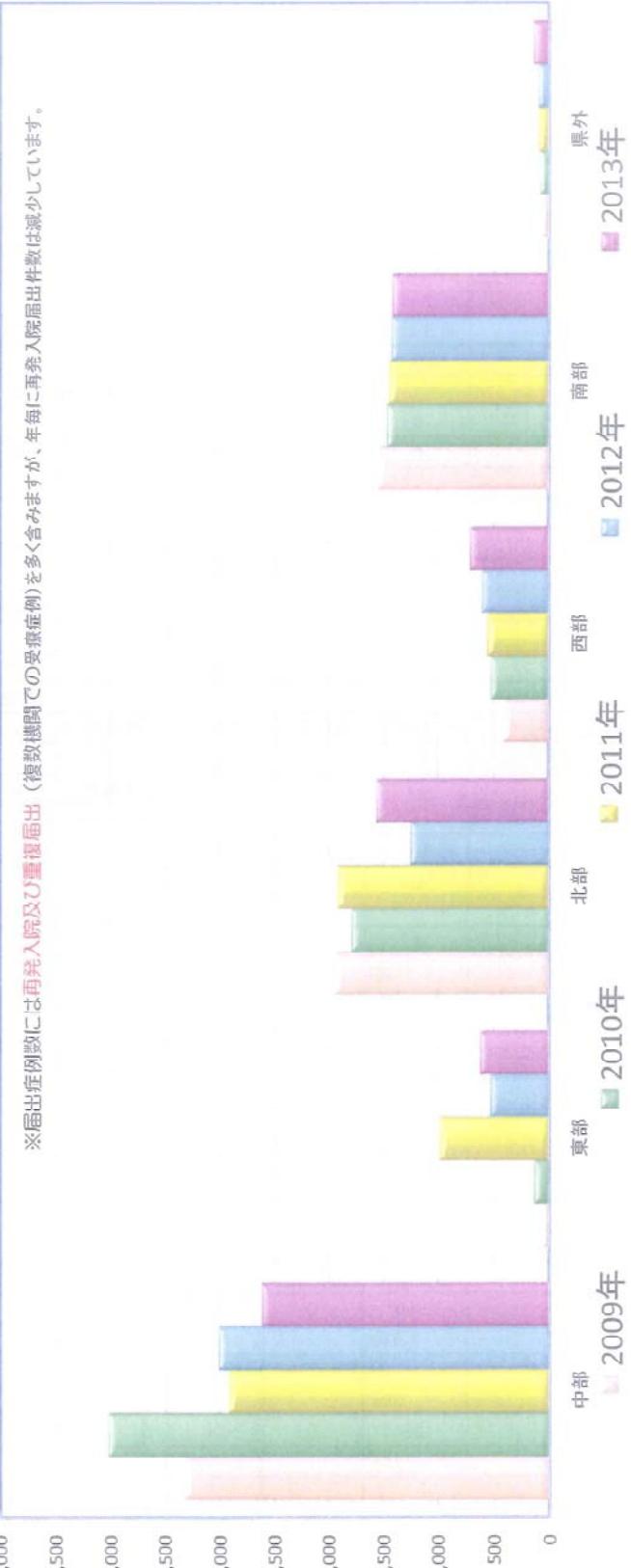
医療機関所在地区別・年別自主届出状況（2009年－2013年）





*県外医療機関（2013年）
 *福岡県：がん診療拠点病院＝6機関を含む9機関から自主届出あり
 *長崎県：長崎県指定がん診療連携拠点病院＝1機関より自主届出あり。
 ○他県地域がん登録室を通じ提供された届出表は当集計に含めず

患者居住地（二次医療圏別）別届出状況



○がん患者居住地区を当該保健所管内別に観ると、各地区とも届出件数は概して増加傾向にある。但し、佐賀中部地区は再入院症例の届出が減少したため、2011年は減少。
 ○鳥栖地区については、同地区医療機関からの届出に併せ福岡県内のがん診療連携拠点病院からの届出が大幅に増加したため、他地区より伸び幅が大きかった。
 ○がん患者の地区毎の把握については未だに格差がありが、徐々には正されできている。

二次医療圏別自主届出件数(2013年)

佐賀市				伊万里西松浦			
医療機関名	自主届出	遡り票※	総数	医療機関名	自主届出	遡り票※	総数
佐賀市(官公立)計	3,001	0	3,001	伊万里西松浦(官公立)計	211	0	211
佐賀大学医学部附属病院	1,156		1,156	伊万里有田共立病院	199		199
佐賀県医療センター好生館	1,347		1,347	社会保険浦之崎病院	12		12
佐賀社会保険病院	250		250	伊万里西松浦(一般)計	172	0	172
NHO佐賀病院	227		227	いまりクリニック	49		49
佐賀市立富士大和温泉病院	21		21	小島病院	1		1
佐賀市(一般)計	31	0	31	山元記念病院	123		123
小野病院	11		11	伊万里西松浦計	383	0	383
さとうクリニック	20		20				
佐賀市計	3,032	0	3,032				

神埼				武雄杵島			
医療機関名	自主届出	遡り票※	総数	医療機関名	自主届出	遡り票※	総数
神埼(官公立)計	0	0	0	武雄杵島(官公立)計	0	0	0
神埼(一般)計	0	0	0	武雄杵島(一般)計	130	0	130
神埼計	0	0	0	順天堂病院	22		22

多久小城				鹿島藤津			
医療機関名	自主届出	遡り票※	総数	医療機関名	自主届出	遡り票※	総数
多久小城(官公立)計	0	0	0	鹿島藤津(官公立)計	950	0	950
多久小城(一般)計	0	0	0	嬉野医療センター	950		950
多久小城 計	0	0	0	鹿島藤津(一般)計	56	0	56

中部(佐賀中部保健所)圏合計				南部(杵藤保健所)圏合計			
医療機関名	自主届出	遡り票※	総数	医療機関名	自主届出	遡り票※	総数
	3,032	0	3,032		1,136	0	1,136

鳥栖三養基				県外医療機関			
医療機関名	自主届出	補充票	総数	医療機関名	自主届出	遡り票※	総数
鳥栖三養基(官公立)計	0	0	0	【福岡県】計	825	0	825
鳥栖三養基(一般)計	123	0	123	九州医療センター	50		50
今村病院	29		29	九州がんセンター	59		59
山津医院	2		2	九州大学病院	90		90
野下医院	2		2	社会保険久留米第一病院	121		121
やよいがおか鹿毛病院	90		90	大牟田市立病院	1		1
鳥栖三養基計	123	0	123	公立八女総合病院	2		2

東部(鳥栖保健所)圏合計				県外医療機関合計			
医療機関名	自主届出	遡り票※	総数	医療機関名	自主届出	遡り票※	総数
	123	0	123		833	0	833

唐津東松浦				年合計			
医療機関名	自主届出	遡り票※	総数	医療機関名	自主届出	遡り票※	総数
唐津東松浦(官公立)計	1,380	0	1,380		7,042	0	7,042
唐津赤十字病院	1,090		1,090				
唐津市民病院きたはた	1		1				
済生会唐津病院	289		289				
唐津東松浦(一般)計	155	0	155				
藤崎病院	154		154				
本吉医院	1		1				
唐津東松浦計	1,535	0	1,535				

※遡り調査:旧データ移行中にて未実施

死亡小票処理件数（2009年死亡）

保健所 死亡月 ※1	佐賀中部保健所		鳥栖保健所		唐津保健所		伊万里保健所		杵籠保健所		全県分	
	全死亡 数	内、がん 死亡 ※2										
1月	347	105	121	40	181	38	90	21	200	60	939	264
2月	314	85	118	32	149	43	89	22	176	41	846	223
3月	292	95	95	39	154	50	65	18	211	55	817	257
4月	308	107	83	27	145	39	77	23	147	49	760	245
5月	331	117	90	37	120	35	72	26	149	44	762	259
6月	260	107	85	29	100	40	65	26	156	62	666	264
7月	301	95	97	36	111	31	83	22	162	60	754	244
8月	273	92	83	32	138	47	81	25	184	56	759	252
9月	285	118	109	39	124	39	79	29	169	55	766	280
10月	303	98	99	37	118	38	84	23	165	45	769	241
11月	345	106	92	26	134	36	85	26	178	59	834	253
12月	400	139	110	39	143	40	69	21	194	59	916	298
県内 年計	3,759	1,264	1,182	413	1,617	476	939	282	2,091	645	9,588	3,080
県外分 ※3	52		34		35		6		3		130	
年合計	3,811	1,264	1,216	413	1,652	476	945	282	2,094	645	9,718	3,080

※1:死亡月には、当月以前の死亡月分(移送票等)を含む

※2:がん死亡には、死亡原因の記載欄に関わらず「がん」・「がん疑い」・「良性」・「性状不詳の新生物」を含む

※3:県外分:佐賀県外の他都道府県・国外の住所者



第V章 佐賀県地域がん登録

佐賀県生活習慣病情報解析事業（がん登録特別強化事業）実施要領

1 目的

本県のがんによる死亡率は常に全国の高位を占めており、しかも年々上昇傾向にある現状にかんがみ、本県におけるがんの実態を把握するためがん患者の登録を行い、それによって得られた各種データをがん死半減対策のための資料として活用する。

また、平成22年度に導入した標準データベースシステムを運用し、より正確で詳細な県内のがん罹患状況を把握することを目標とする。

2 事業主体

この事業の実施主体は、佐賀県（以下「県」という。）とし、事業の運営は、公益財団法人佐賀県総合保健協会（以下「協会」という。）に委託して実施するものとする。

また、実施にあたっては、社団法人佐賀県医師会及び医療機関の協力を得て実施する。

3 登録の対象

登録は、佐賀県内の居住者でがんおよび性質不詳の新生物に罹患しているすべての患者（以下「患者」という。）を対象とする。

4 事業の内容

(1) 各医療機関の医師は、外来患者および入院患者について、それぞれ次の時点において、別紙様式による悪性新生物届出票（以下「届出票」という。）に所要事項を記入のうえ協会に送付する。

- ①外来患者・・・確定診断時及び死亡時
- ②入院患者・・・確定診断時及び退院又は死亡時

(2) 各保健所長は、他の保健所へ移送する分を含むすべての人口動態調査死亡小票（以下「死亡小票」という。）の写しを翌月の25日までに県健康増進課を通じて協会へ送付する。

(3) 協会は、医療機関から送付された届出票及び保健所から送付された死亡小票により、既登録患者との照合を行い、患者ごとに所要事項の登録を行う。

また、死亡小票のみの患者については、別紙様式による補充届出票により医療機関からの情報の収集を行い登録を行う。

なお、県外の医療機関で受療した患者については、医療機関に出向く等により所要事項について情報収集を行う。

(4) 協会は、がん登録標準データベースシステムの円滑な運用を行うとともに、各医療圏、及び医療機関ごとの生存率の把握を行うための予後情報調査について、その方法を検討する。

5 届出の開始時期

医師からの届出は、医療の継続、中断にかかわらず、昭和59年4月1日以降に診断した患者及び死亡について行う。

6 集計、解析及び報告

(1) 協会は、毎月10日までに、前月の医療機関からの届出票の送付状況を県に報告する。

(2) 協会は、患者の登録状況について、集計、解析を行い、その結果報告書を毎年県に提出する。

7 情報の提供

県は、患者の登録状況についての集計、解析結果を県民、医療機関、関係団体等に提供するものとする。

8 秘密の保持

この業務に従事した医師、その他の関係者は、患者について業務上知り得た秘密については、これを厳守しなければならない。

なお、秘密保持のための業務処理及び資料の利用については別途定める。

9 その他

この要領に定めるのものほか、必要な事項はその都度、関係機関と協議のうえ定める。

附 則

この要領は、平成 22 年 4 月 1 日から適用する。

この要領は、平成 23 年 4 月 1 日から適用する。

別紙2 「第11条関係（情報セキュリティ対策）」 情報セキュリティ対策特記事項

（基本的事項）

第1 受託者（以下「乙」という。）は、委託者（以下「甲」という。）の情報資産（ネットワーク及び情報システム、並びにネットワーク及び情報システムの開発、運用及び取扱いに関する情報（以下「情報」という。）であって、電磁的記録及び紙等の有体物に出力された情報をいう。以下同じ。）の重要性を認識し、この契約による業務の実施に当たっては、佐賀県情報セキュリティ基本方針及び佐賀県情報セキュリティ対策基準（以下「情報セキュリティポリシー」という。）、並びに佐賀県情報セキュリティ実施手順を遵守し、適正な情報セキュリティ対策を実施しなければならない。

2 乙は、情報セキュリティポリシーを遵守するためには必要な体制を整備し、情報管理に関する責任者及び担当者を置かなければならない。

（守秘義務）

第2 乙は、この契約による業務に関して知り得た情報（以下「業務上知り得た情報」という。）を他に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても、同様とする。

（目的外利用・提供の禁止）

第3 乙は、業務上知り得た情報及びこの契約による業務を処理するために甲から提供された情報（以下「提供情報」という。）を当該業務の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

（適正管理）

第4 乙は、業務上知り得た情報及び提供情報について、漏えい、滅失又はき損の防止、その他の情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

2 前項の場合のほか、乙は、データバックアップのための外部施設等への搬送時においても、盜難及び不正コピー等の防止措置を厳重に実施しなければならない。

（複写又は複製の禁止）

第5 乙は、甲の承諾があるときを除き、提供情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

（資料等の返還等）

第6 乙は、この契約による業務を処理するために、甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した情報が記録された資料等は、この契約の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

(事故発生時における報告義務)

第7 乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

(報告、監査及び検査)

第8 甲は、乙がこの契約による業務を処理するために取り扱っている情報に対する情報セキュリティ対策の状況について、定期的に報告を徵し、監査又は検査を実施することができる。

(業務従事者への周知)

第9 乙は、この契約による業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても当該業務に関して知り得た情報を他人に漏らし、又は不当な目的に使用してはならないことなど、情報セキュリティ対策のために必要な事項を周知し、また継続的に教育するものとする。

(業務の再委託)

第10 乙は、あらかじめ書面により甲の承諾を得たときを除き、この契約による業務の全部又は一部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。

2 前項の場合、乙は、委託の範囲における情報セキュリティ対策について、乙から委託を受ける者自身に実施義務があることを明示した書面を作成し、乙から委託を受ける者との連名で事前に甲に届け出なければならない。

(指示)

第11 甲は、乙がこの契約による業務を処理するために取り扱っている情報について、その取扱いが不適当と認められるときは、乙に対して必要な指示を行うものとする。

(契約解除及び損害賠償)

第12 甲は、乙が本特記事項の内容に反していると認めたときは、契約の解除又は損害賠償の請求をすることができるものとする。

佐賀県成人病情報調査解析事業（がん登録事業）の業務処理 及び資料の利用に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、佐賀県成人病情報調査解析事業（がん登録事業）実施要領に基づき、同事業（以下「がん登録事業」という。）に関するデータの秘密を保持するため、業務処理及び資料の利用について必要な事項を定める。

(秘密の保持)

第2条 がん登録事業に関与する者及び関与していた者は、業務上知り得た個人及び個々の医療機関情報を他に漏らしてはならない。

(情報の収集等)

第3条 収集する情報は、がん登録事業に必要かつ最小限の範囲にするとともに、常に正確な情報の把握に努めなければならない。

(登録作業)

第4条 収集した情報は、常に正確に処理し、適正に管理しなければならない。

2 帳票その他不要となった用紙等は、裁断、焼却その他復元できない方法によって処分しなければならない。

(原票の保管)

第5条 原票及び電算機用に入力したディスク・テープは、すべて施錠する室内に保管する。

(届出内容の医療機関への問合せ)

第6条 登録作業上、届出内容について問合せの必要が生じたときには、県健康増進課長が承認した職員が行う。

2 電話による問合せの場合は、通話相手が届出医であることを確認した後、問合せを行う。文書による問合せの場合は、必ず書留便によるものとする。

なお、届出医の退職等により届出医との連絡が不能の場合は、届出医療機関の管理者に対し問合せをするものとする。

(予後情報サービス)

第7条 届出医療機関の医師が届出患者の予後情報サービスを受ける場合は、文書等により県健康増進課に申し込むものとする。

2 情報の送付は、予後情報サービス受付簿（様式第1号）に所定の事項を記入した後、手渡し又は、書留便によるものとする。

3 情報を受けた場合は受領後の資料の取り扱いに関する責任の所在を明らかにした受領書（様式第2号）を提出するものとする。

4 予後情報サービスは、患者本人及びその家族を含め第三者に対しては行わない。

(登録資料の利用)

第8条 年報等により公表されている資料以外の資料を、保健、医療及び研究のために利用する場合には、目的、対象等を記載するとともに、この資料により知り得た情報ないし他医療施設に関する情報を利用目的以外に使用しない旨誓約した申請書（様式第3号）を県健康福祉本部長に提出するものとする。

2 県健康福祉本部長は、登録資料の利用について差し支えないと判断したときは、登録資料提供記録簿（様式第4号）に所定の事項を記入した後、申請者に登録資料利用許可書（様式第5号）及び資料を交付する。

3 申請者は、資料を受領したときは、直ちに資料受領書（様式第6号）を県健康福祉本部長に提出するものとする。

なお、申請者は、使用後直ちにその資料を登録室に返還しなければならない。

(他県がん登録との情報交換)

第9条 他県のがん登録室の依頼を受け、本県のがん登録に届出された当該県在住者の情報を当該県がん登録室に提供する場合は、県健康増進課長の承認を得たうえ、原票の複写を書留便で送付する。その際、受領後の資料の取扱いに関する責任の所在を明らかにした受領書の提出を求めるものとする。

(その他)

第10条 報道関係者からの問合せには、原則として県健康増進課が応答するものとする。

2 県健康福祉本部長は、登録資料の利用状況について、佐賀県成人病登録評価部会に報告するものとする。

3 この規程に定めるもののほか、必要な事項はその都度関係機関で協議のうえ定める。

附則

この規程は、平成3年4月1日から適用する。

附則

この規程は、平成5年4月1日から適用する。

附則

この規程は、平成12年4月1日から適用する。

附則

この規程は、平成13年4月1日から適用する。

附則

この規程は、平成16年4月1日から適用する。

(様式第1号)

予後情報サービス受付簿

年月日	所属・職名	氏名	内容	回答月日

(様式第2号)

佐賀県がん登録情報サービス受領書

佐賀県がん登録事業に係る情報サービスNo. の資料を受領しました。
なお、情報の保管及び利用については、十分に意を配します。

平成 年 月 日

佐賀県健康福祉本部長 様

施設名

所在地

受領責任者

所属・職名

氏 名

印

(様式第3号)

佐賀県がん登録資料の利用について（申請）

佐賀県健康福祉本部長 様

申請年月日 平成 年 月 日

施設名 Tel

所属長名 印

申請者・所属（科）

職 名

氏 名

印

私儀、下記の理由により佐賀県がん登録の資料を利用いたしたく許可をお願いします。

資料利用及び研究結果の取りまとめにあたっては、別添「佐賀県成人病情報調査解析事業（がん登録事業）の業務処理及び利用に関する規程」における事項を遵守し、申請理由以外には利用しないことを誓約いたします。

記

新規・継続 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（前回許可平成 年 月 日 佐賀県指令 第 号）
利用目的	
必要とする 資 料	
利用期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
備 考	

(様式第4号)

佐賀県がん登録資料提供記録簿

年月日	所属・職名	氏名	内容	回答月日

(様式第5号)

佐賀県がん登録資料の利用について（許可）

平成 年 月 日

様

佐賀県健康福祉本部長

平成 年 月 日付けで申請のあったことについては、下記のとおり許可する。

ただし、この資料の利用及び研究結果の取りまとめに当たっては、別添「佐賀県成人病情報調査解析事業（がん登録事業）の業務処理及び利用に関する規程」における事項を遵守しなければならない。

記

許可番号	佐賀県指令 健第 号（平成 年 月 日）
新規・継続 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（前回許可平成 年 月 日 佐賀県指令 第 号）
利用目的	
必要とする 資 料	
利用期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
備 考	

(様式第6号)

佐賀県がん登録資料受領書

佐賀県がん登録にかかる佐賀県健康福祉本部長承認（許可番号）の資料を受領しました。

平成 年 月 日

佐賀県健康福祉本部長 様

施設名

所在地

受領責任者

所属・職名

氏 名

印

佐賀県がん対策等推進協議会 がん登録評価部会運営要領

(設置)

第1条 佐賀県がん対策等推進協議会設置要綱第6条の規定に基づき、がん登録評価部会（以下「部会」という。）を設置する。

(審議事項)

第2条 部会は、次の事項について審議する。

- (1) がん患者の登録及びがん患者の動向
- (2) がん登録、死亡統計及び健康診査の実施状況等の情報に基づく健康診査等がん予防対策の総合的評価
- (3) その他、がんの登録及びがん予防対策の評価に必要な事項

(組織)

第3条 部会は、佐賀県健康福祉本部長が依頼する15名以内の委員をもって構成する。

(部会長)

第4条 部会に部会長を置く。

- 2 部会長は委員の互選による。
- 3 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。
- 4 部会長に事故があるとき、又は、部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長の指名するものが、その職務を代理する。

(会議)

第5条 部会は、必要に応じ部会長が召集し主宰する。

- 2 部会は、必要に応じ関係者を会議に出席させ、意見を聴取することができる。

(報告)

第6条 部会は、審議した事項について、適時、佐賀県がん対策等推進協議会長に報告するものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、佐賀県健康福祉本部健康増進課において処理する。

(補則)

第8条 この要領に定めるもののほか、運営に関し必要な事項は、部会における協議により定める。

附 則

この要領は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この運営要領は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この運営要領は、平成 11 年 8 月 1 日から施行する。

附 則

この運営要領は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この運営要領は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 19 年 7 月 3 日から施行する。

佐賀県地域がん登録室における個人情報取扱に関する要綱・規程等

1. 佐賀県地域がん登録室における個人情報等取扱及び保護に関する要綱

事業名称 : 佐賀県生活習慣病情報解析事業（地域がん登録特別強化事業）

主管課 : 佐賀県健康福祉本部健康増進課

事業受託機関 : 公益財団法人佐賀県総合保健協会

1. 目的

佐賀県がん登録室（以下、「がん登録室」という）における個人情報の取扱いに関する基本及び必要事項を定めることにより、登録情報及び届出医療機関等の秘密を保護することを目的とする。

この要項は、別紙1『佐賀県生活習慣病情報解析事業（がん登録特別強化事業』（以下、「がん登録事業」という）ならびに別紙2『佐賀県成人病情報調査解析事業（がん登録事業）の業務処理要領』に基づき、がん登録事業受託機関である公益財団法人佐賀県総合保健協会（以下、「保健協会」という）に於いて定める。

2. 登録室管理者及び作業管理者

佐賀県がん登録室に於ける個人情報の保護及び管理のため、登録室に登録管理者及び作業管理者をおく。現状における登録室管理者及び作業管理者は表2のとおり。

3. がん登録従事者の責務

- 1) がん登録従事者及びがん登録従事者であった者は、本要綱を遵守する責務を負う。
- 2) がん登録従事者及びがん登録従事者であった者は、業務上知り得た個人情報ならびに医療機関の情報を他に漏らしてはならない。
- 3) がん登録従事者は、がん登録業務に従事するにあたり、誓約書（別紙1号様式）を登録管理者に提出しなければならない。
- 4) がん登録従事者は、登録室管理責任者の監督指導のもと、個人情報の保護及び管理対策の維持向上に努めなければならない。業務実施にあたっては、登録資料の取扱いについて、がん登録従事者以外の目に触れたり、紛失、破損したりすることがないよう、最新の注意をはらわなくてはならない。

4. 患者等への接触禁止

がん登録従事者は、登録情報の収集・確認及び管理に際し、患者本人あるいはその家族に直接連絡又は接觸を行ってはならない。

5. 情報の収集

がん登録において収集する情報は、がん登録を実施するために必要な最小限の範囲とする。

6. 登録資料及び個人情報を含む関係帳票等の管理

登録資料の受付に関する管理者は別表2に定め、整理・管理の実施に於いては以下の方法にて行う。

- 1) 登録資料および個人情報を含む関係帳票（以下、「関係帳票」という）は、施錠可能なキャビネット等に保管し、作業時以外は原則として施錠する。

がん登録作業に於いて、必要により一時的に登録資料の内容を保存した記憶媒体についても、上記と同様の取扱いとし、当該作業が終了したら即時に消去する。

- 2) 登録資料及び関係帳票は、登録室管理責任者が作業上必要と認める場合を除き、登録室以外に持ち出してもよい。
- 3) 登録資料の転記及び複写は、登録作業において必要最低限の範囲にとどめ、転写・複写作業における作業過誤等の用紙類は、裁断する。複写・裁断の作業は、登録室内で、がん登録従事者が行い、登録室以外及びがん登録従事者以外の者は行わない。
- 4) 登録資料を転記又は複写した用紙等及びがん登録システムから出力した帳票等、ならびに集計・解析作業、データ利用申請提供時の作業に於いて作成した帳票で、個人が識別されうる情報内容を含む帳票等についても、登録資料と同様の取扱いとする。

7. 登録資料等の廃棄

登録資料は、その種類ごとに保管場所・保管期間を定め、保管期間を経過したものは速やかに裁断または破碎により廃棄しなければならない。登録資料の廃棄に関する管理者は表2に定める。

- 1) 登録票：施錠可能なキャビネットに受付番号順に整理保管する。保存期間は設定しない。
- 2) 死亡小票：施錠可能なキャビネットに受付番号順に整理し、使用許可期間を経過した場合は、速やかに裁断処理し廃棄する。
- 3) 人口動態電子データ：使用期間終了後は速やかに破碎し、併せて健康福祉本部長へ廃棄届を提出する。
- 4) 登録室において作業上発生した個人情報を含む帳票及び電子媒体は、それぞれ、裁断または破碎により適切に処理し、情報の遺漏に十分配慮しなければならない。

8. 届出内容に関する医療機関への照会

- 1) 届出医療機関へ登録票の内容等について問い合わせを行う場合は、原則として届出医師に対し文書照会により行うものとする。
- 2) 電話による問い合わせが必要な場合、下記条件を満たした場合に行う。
 - ①至急の場合、又は電話にて照会事項のより具体的な説明をする方が書面照会より誤解がなく十分な回答が得られると考えられる場合。
 - ②確認件数が少ない場合（5件程度）
 - ③照会内容が軽微なものであること。
- 3) ファクシミリによる照会は、いかなる場合も禁止する。

9. 外部からの問い合わせ

電話による登録票の個人情報を含む内容に関する問い合わせには、当該届出票の届出医師本人あるいは届出医療機関からの場合を除き、対応しない。

10. 媒体に記録された情報の管理

この業務に関する管理者は、表2に定める。登録資料を保存した磁気ディスク等は、事故や故障に備えて、定期的に複写する。

11. 入室等の管理

- 1) 登録室への入室は、特に必要のある場合を除き、原則として登録室管理責任者及び登録従事者以外

佐賀県悪性新生物患者届出票

※ 太枠内を記入し、記入方法については裏面をご参照ください

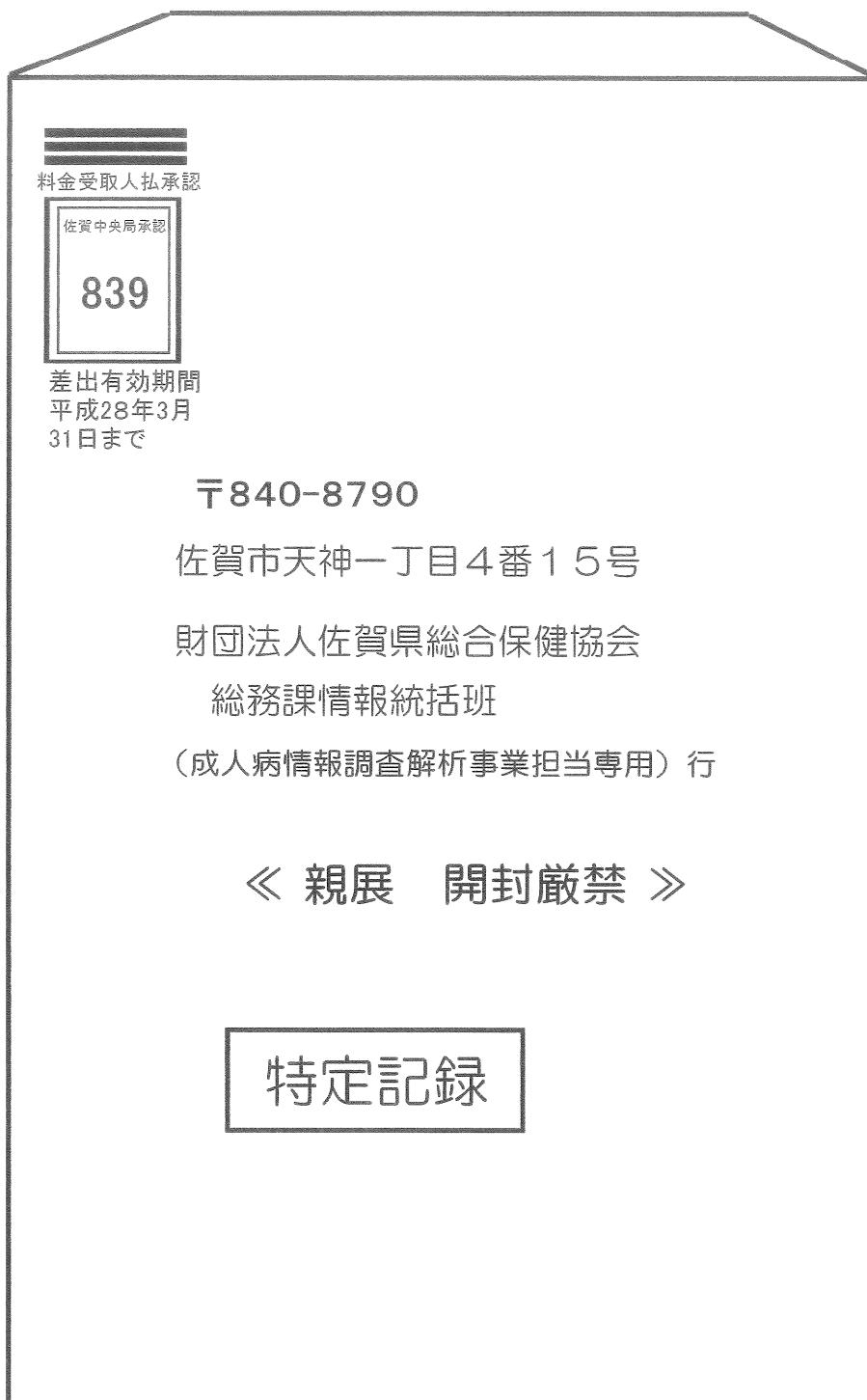
事務局 使用欄	受付番号
	受付年月日

秘

使用
事務
欄局

※ 医療機関	名 称	照会先所属	届出者	事務局 使用欄		
					受付年月日	
貴院患者ID		※ 性別	※ 生年月日			
※ ふりがな		1 男	○ 西暦			
※ 姓・名 (漢字)			1 明治	年 月 日		
診断時住所		2 女	2 大正			
			3 昭和			
		4 平成				
※ 診断名	側性：左右 両側臓器のみ記載	1 右 2 左 9 不明				
		3 両側（卵巣、腎芽腫、網膜芽腫） (例 胃U, 肺S2, など)	病理診断名			
	部位 臓器名と詳細部位		詳細にお願いします			
悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載						
※ 診断情報	初発・ 治療開始後	1 初発（自施設で診断かつ／もしくは初回治療） 2 治療開始後（前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降）			再発	
	診断根拠 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーク (PSA, AFP, HCG, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査 6 臨床診断	患者の全経過を通じて、がんと診断する根拠となった検査に○(★初回治療前の診断に限定しない)			
	診断日	自施設 診断日	○ 西暦 1 昭和 年 月 日 2 平成	・初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日 ・他施設診断の場合、当該腫瘍自施設初診日		
		初回 診断日	○ 西暦 1 昭和 年 月 日 2 平成	他施設診断の場合、その診断日をわかる範囲で必ず記入		
	発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 4 割検 9 自覚症状・その他・不明	3 他疾患の経過観察中			
※ 病期 <small>子宮外妊娠の場合 術後評価を優先 術前化学・放射線 治療後手術の場合は治療前評価を優先 再発では記載不要</small>	病巣の拡がり	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明	初発の場合、病巣の拡がりをICTNMのどちらかは必ず記入			
	UICC TNM*	T <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/> ステージ <input type="checkbox"/>	(★地域がん登録では病巣の拡がりを集計する。病巣の拡がりに記入がなければTNM分類やその他の情報からコード化する。)			
	その他	深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば、ご記入ください。				
初回治療 <small>貴院における初回の一連の治療についてすべてご記入ください。 再発では記載不要</small>	観血的治療	手術	1 有	2 無		
		体腔鏡的	1 有	2 無		
		内視鏡的	1 有	2 無		
		観血的治療を総合した治療結果	原発巣切除 4姑息・対症療法・転移巣切除・試験開腹	1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明	9 不詳	
		放射線	1 有	2 無		
	その他の治療	化学療法	1 有	2 無		
		免疫療法	1 有	2 無		
		内分泌療法	1 有	2 無		
		その他	1 有 ()	2 無		
		死亡年月日	○ 西暦 1 平成	年 月 日		
オプション (自由記載欄)	※患者の照会元・紹介先、病状、治療(初発時)、他のがんの既往歴など参考になる事項がありましたらご記入ください。					

届出票送付用専用封筒



おわりに

今年度報告書から、「地域がん登録標準データベースシステム」を利用した標準方式ならびに集計による報告書様式に改訂しました。

本誌を発行するにあたり、県内外の医療機関・県医師会・他県登録室・県医務課・県内保健所をはじめ、その他多くの関係各位に御協力を頂きました。改めまして深謝し、お礼を申し上げます。

「佐賀県がん登録事業」が充実し、登録データが広く活用して頂けるものとなりますよう、更なる登録精度の向上に努めてまいります。

今後とも、本事業の推進につきまして、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

佐賀県がん登録 平成25年度登録事業報告

— 平成21年（2009年）統計 —

平成26年3月

編集 ◆佐賀県健康福祉本部健康増進課

発行 がん対策推進担当

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号

TEL：0952-25-7074

FAX：0952-25-7268

◆公益財団法人 佐賀県総合保健協会

総務課情報統括班 地域がん登録担当

〒840-0815 佐賀市天神一丁目4番15号

TEL：0952-25-2320

FAX：0952-25-0517